

**平成28年度(平成27年度実施分)
指定管理者管理運営状況評価表**

立川市公の施設指定管理者評価委員会

目 次

平成27年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

－産業文化スポーツ部－

1. 市民会館.....	1
【地域文化課（合人社計画研究所グループ）】	
2. 子ども未来センター.....	5
【地域文化課ほか（合人社計画研究所グループ）】	
3. 柴崎市民体育館.....	18
【スポーツ振興課（住友不動産エスフォルタ・住友不動産建物サービス・鹿島建物総合管理共同事業体）】	
4. 泉市民体育館.....	22
【スポーツ振興課（シンコー・立川体協・アズビル共同事業体）】	

－子ども家庭部－

5. 幸児童館.....	26
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
6. 高松児童館.....	29
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
7. 若葉児童館・若葉学童保育所.....	32
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
8. 西砂児童館・松中学童保育所.....	39
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
9. 羽衣児童館・羽衣学童保育所.....	46
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
10. 富士見児童館・南富士見学童保育所.....	53
【子ども育成課（NPO法人ワーカーズコープ）】	
11. 錦児童館・錦学童保育所.....	60
【子ども育成課（株式会社サクセスアカデミー）】	
12. 上砂児童館・上砂第三学童保育所.....	67
【子ども育成課（シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社）】	

－福祉保健部－

13. 斎場.....	74
【福祉総務課（公益社団法人立川市シルバー人材センター）】	
14. 総合福祉センター.....	77
【福祉総務課（社会福祉法人立川市社会福祉協議会）】	

15. 柏地域福祉サービスセンター.....	81
【介護保険課（社会福祉法人至誠学舎立川）】	
16. 羽衣地域福祉サービスセンター.....	84
【介護保険課（社会福祉法人恵比寿会）】	
17. 上砂地域福祉サービスセンター.....	87
【介護保険課（社会福祉法人桜栄会）】	

－まちづくり部－

18. 自転車等駐車場（第1ブロック）.....	90
【交通対策課（日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社）】	
19. 自転車等駐車場（第2ブロック）.....	94
【交通対策課（日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社）】	
20. 駐車場.....	97
【交通対策課（公益財団法人東京都道路整備保全公社）】	

－教育部－

21. 八ヶ岳山荘.....	101
【生涯学習推進センター（株式会社レストラン・ピガール）】	
22. 学習等公用施設（滝ノ上会館ほか10施設）.....	105
【生涯学習推進センター（各館管理運営委員会）】	
23. 幸図書館.....	138
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
24. 西砂図書館.....	141
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
25. 高松図書館.....	144
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
26. 錦図書館.....	147
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
27. 若葉図書館.....	150
【図書館（株式会社図書館流通センター）】	
28. 柴崎図書館.....	153
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	
29. 上砂図書館.....	156
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	
30. 多摩川図書館.....	159
【図書館（株式会社ヴィアックス）】	

平成27年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

施設名	(1)施設の設置 目的達成に関する取り組み	(2)業務の履行 状況	(3)サービスの 質に関する事項	(4)施設・設備 の維持管理状 況	(5)個人情報保 護規定等の遵 守状況に関する 事項
市民会館	A	A	A	A	A
子ども未来センター ※1	A/A/A/-	A/A/A/A	A/A/A/A	A/A/-/-	A/A/A/A
柴崎市民体育館	A	A	A	A	A
泉市民体育館	A	A	A	A	A
幸児童館	A	A	A	A	A
高松児童館	A	A	A	B	B
若葉児童館・若葉学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
西砂児童館・松中学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
羽衣児童館・羽衣学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
富士見児童館・南富士見学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
錦児童館・錦学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A
上砂児童館・上砂第三学童保育所 ※2	B/A	B/A	A/A	A/A	A/A
斎場	A	A	A	A	A
総合福祉センター	A	A	A	A	A
柏地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
羽衣地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
上砂地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A
自転車等駐車場(第1ブロック)	A	A	A	A	B
自転車等駐車場(第2ブロック)	A	A	A	A	A
駐車場	A	A	A	A	A
八ヶ岳山荘	A	A	A	A	A
立川市滝ノ上会館	A	A	A	A	A
立川市こんぴら橋会館	A	A	A	A	A
立川市高松会館	A	A	A	A	A
立川市若葉会館	A	A	A	A	A
立川市こぶし会館	A	A	A	A	A
立川市羽衣中央会館	A	A	A	A	A
立川市天王橋会館	A	A	A	A	A
立川市柴崎会館	A	A	A	A	A
立川市さかえ会館	A	A	A	A	A
立川市西砂会館	A	A	A	A	A
立川市上砂会館	A	A	A	A	A
幸図書館	A	A	A	A	A
西砂図書館	A	A	A	A	A
高松図書館	A	A	A	A	A
錦図書館	A	A	A	A	A
若葉図書館	A	A	A	A	A
柴崎図書館	A	A	A	A	A
上砂図書館	A	A	A	A	A
多摩川図書館	A	A	A	A	A

※1 評価欄は、左から 施設全般の管理運営に関する業務及び自主事業／子育て支援業務／市民活動支援業務／文化芸術活動支援業務 を表す。

※2 評価欄は、左から 児童館運営管理／学童保育所運営管理 を表す。

(6)安全管理 (苦情・事件・事 故対応)に関する事項	(7)地域貢献に 関する事項	(8)コンプライア ンスに関する事 項	(9)その他特記 事項・追加評価 項目	(10)立川市のコ スト削減状況	総合評価	施設名
A	A	A	A	A	A	市民会館
B/B/A/A	A/-/-/-	A/A/A/A	A/-/-/-	-	A/A/A/A	子ども未来センター
A	A	A	A	A	A	柴崎市民体育館
A	A	A	A	A	A	泉市民体育館
A	A	A	-	A	A	幸児童館
B	A	A	A	A	B	高松児童館
B/A	A/A	A/A	-	A/-	A/A	若葉児童館・若葉学童保育所
A/A	A/A	A/A	-	A/-	A/A	西砂児童館・松中学童保育所
A/A	A/A	A/A	A/A	A/-	A/A	羽衣児童館・羽衣学童保育所
A/A	A/A	A/A	A/A	A/-	A/A	富士見児童館・南富士見学童保育所
A/B	A/A	A/A	-	A/-	A/A	錦児童館・錦学童保育所
A/A	B/A	A/A	-	A/-	B/A	上砂児童館・上砂第三学童保育所
A	-	A	-	A	A	斎場
A	A	A	-	A	A	総合福祉センター
A	A	A	-	A	A	柏地域福祉サービスセンター
A	A	A	A	A	A	羽衣地域福祉サービスセンター
A	A	A	-	A	A	上砂地域福祉サービスセンター
A	A	A	-	-	A	自転車等駐車場(第1ブロック)
A	A	A	-	-	A	自転車等駐車場(第2ブロック)
A	A	A	-	A	A	駐車場
A	A	A	A	A	A	ハケ岳山荘
A	A	A	-	-	A	立川市滝ノ上会館
A	A	A	-	-	A	立川市こんぴら橋会館
A	A	A	-	-	A	立川市高松会館
A	A	A	-	-	A	立川市若葉会館
A	A	A	-	-	A	立川市こぶし会館
A	A	A	-	-	A	立川市羽衣中央会館
A	A	A	-	-	A	立川市天王橋会館
A	A	A	-	-	A	立川市柴崎会館
A	A	A	-	-	A	立川市さかえ会館
A	A	A	-	-	A	立川市西砂会館
A	A	A	-	-	A	立川市上砂会館
A	A	A	-	A	A	幸図書館
A	A	A	-	A	A	西砂図書館
A	A	A	-	A	A	高松図書館
A	A	A	-	A	A	錦図書館
A	A	A	-	A	A	若葉図書館
A	A	A	-	A	A	柴崎図書館
A	A	A	-	A	A	上砂図書館
A	A	A	-	A	A	多摩川図書館

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
たましんRISURUホール(立川市市民会館)	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成25年11月30日～平成36年3月31日(10年4か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	市民の福祉の増進と文化の向上を図るため、公平かつ公正に管理運営を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルの作成・更新を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	施設予約システムを活用し、利用者に公平公正に対応している。	A		
事業の継続性の担保	マナー研修、接遇研修、コンプライアンス研修及び舞台の安全についての研修を行った。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:348日 開館時間:9:00～22:00 職員配置:22人(正社員・パート) 統括責任者1人 舞台技術7人 受付業務10人 維持管理4人 臨時職員賃金: 時給910円以上 (各社規定による)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。
利用状況	【利用者数】 ()内は対前年度比 合計406,785人(104.6%) 大ホール:180,353人(100.9%) 小ホール:45,757人(98.6%) 展示室・サブホール・ギャラリー ・会議室:98,822人(125.0%) 各窓口:46,611人(110.8%) 市民ロビー等その他:35,242人(82.6%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は、前年度より増となった。 市民が文化芸術を楽しむ機会を提供する企画を行った。
運営企画	自主事業 ・東京大衆歌謡楽団コンサート ・避難誘導コンサート 財団との共同主催事業 ・なぞときRISURUザ・ツアーブル 文化芸術を楽しむ機会を提供し、地域のにぎわいを創出するため、指定管理業務仕様書に基づき実施された。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:191,018,520円、支出:191,018,520円 ※指定管理料同額 人件費比率:61.3% 利用者あたり管理コスト:470円 利用者あたり市負担コスト:470円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	公共文化施設賠償責任保険、公共文化施設災害補償保険、公共施設貸館対応興行中止保険 最大 身体5億円、請負賠償10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	受付案内、舞台設備保守点検、清掃、維持管理(受電設備・消防用設備・エレベーター・電話交換設備など)、ごみ収集・運搬、機械警備	A	事業収支は、予算見積に基づき、適正に執行された。 提案内容は着実に実施している。	A
新たな取り組みの状況	市民ロビー及び5階ロビーにデジタルサイネージを設置、正面玄関に門松設置、ロビーに冷水機の設置、トイレ目隠し用衝立設置、盆栽等の展示	A		
提案の実施状況	各種舞台公演の自主事業、舞台設備専門の技術者の配置、緊急連絡網の整備、文化芸術相談窓口の開設、開館スケジュールの周知、ワンストップサービスの実施	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	挨拶・応対等についてマナー研修等を実施し、実践している。	A		
マニュアルの整備	ビジネスマナー・危機管理・受付・施設保全マニュアルを整備し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	マナー研修、コンプライアンス研修及びテロ対策研修等を実施。	A	各種研修を実施し、良好な接客に努めている。	
所管部署との連携・連絡	月1回第3水曜日に連絡調整会議を実施。所管部署との緊急連絡網も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、利用者懇談会の結果をホームページで公表している。	A	主管課及び地域文化振興財団との定期的な連絡調整会議を実施し、連携に努めている。	A
広報・PR等の利用情報の提供	リーフレットを作成し、配布している。ホームページでの周知を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・事業報告書を提出している。	A		
公平・公正利用の確保	施設利用システムを活用し、公平・公正に実施している。	A		
業務の点検	隨時実施している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設保全マニュアルを整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	毎日巡回点検し、適切に管理されている。	A		
小規模修繕	大・小ホール照明備品不具合、小ホールピアノ椅子代替え、小ホール緞帳・客席点検口修繕、小ホール音響備品代替え、大ホール平台代替え	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に施設・設備が維持管理されている。	A
備品管理	備品台帳を作成し、適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	利用申し込みの管理の徹底等、個人情報の適正取り扱いを指導している。	A		
個人情報等秘密の保持	各種条例等に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等は金庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市へ未報告で業務を第三者に委託していない。	A	適切に実施している。	A
研修・教育の実施	コンプライアンス研修の中で個人情報についての研修を行った。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定を整備している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	エントランス南側自動ドアの一部が、開閉不能となった。	A		
事故の予兆に対する対応	危険予知活動表を作成し、未然の事故防止に努めている。		事故に対しては適切に対応した。	
具体的にヒヤリ・ハッとした状況	特になし。		危険予知については、特に注意をしている。	A
事故防止対策の取り組み状況	危険予知活動表を活用し、事故防止対策に取り組んでいる。 市や子ども未来センター、地元警察と情報共有して不審者対応を行った。	A	マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	利用者懇談会やバックステージツアー、中学生職場体験の受け入れなどの実施により、地域との連携、意見交換に努めている。	A	地域や関係機関との連携に努めている。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
受付・設備・清掃の連絡体制強化	受付・設備・清掃それぞれのスタッフの連携不足により、施設内清掃等の不備が発生したことから、連絡票等を用いて強化した。	A	不備が発生しないよう、引き続き改善に努めてほしい。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	56,208,157円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価	
◆ 総合評価				
平成26年1月のリニューアルオープン後から利用率が順調に推移している。特に大きなクレームもなく順調な管理運営が認められる。 冬季のイルミネーションや広告媒体を利用したプロモーション等、施設の価値向上に寄与する取組を実施しており、評価できる。 避難訓練コンサート等、評価できる自主事業を実施しているが、集客に課題が見受けられる。地域団体との更なる連携や情報発信力及び企画力の強化に努められたい。 隣接する子ども未来センターとの一体的活用を図りながら、民間事業者である特性を生かし、南口周辺地域の活性化に寄与する施設として発展するよう管理運営をしていくことを期待する。	A	施設の周知やイメージアップに努め、利用者数の増加につながっている。 施設所管課及び地域文化振興財団との連携も密に行われており、仕様書等の水準に達している。	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成27年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市子ども未来センター	プロポ後の非公募	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日から平成36年3月31日(11年4か月)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	地域文化課	A	A
2	子育て支援業務	子育て推進課・ 子ども家庭支援センター・保育課	A	A
3	市民活動支援業務	協働推進課	A	A
4	文化芸術活動支援業務	地域文化課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

- ・各業務について、仕様書等に基づいて概ね適切に運営されている。
- ・施設全般の管理運営に関する業務・自主事業及び子育て支援業務に一部B評価が見受けられており、改善に向けた努力・工夫が求められる。
- ・市民会館との一体的活用や更なるにぎわい創出など課題があるが、引き続き効率的かつ効果的な施設運営に努め取り組まれたい。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S		仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている	
A		仕様書等で定められた水準に達している	
B		仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない	
C		仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である	

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名		指定管理期間
合人社計画研究所グループ		平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)
事業番号	事業名称	事業担当課
1	施設全般の管理運営に関する業務・自主事業	地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、公共サービスが円滑に提供されている	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解している	業務マニュアルの作成・更新を行った	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応するよう予約システムを運用している	A	
事業の継続性の担保	各種マニュアルを整備し、各自に教育している	A	

(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:360日(まんがぱーくは366日) 開館時間:8:30～22:00(まんがぱーくは夏休み期間中1時間営業時間を延長) 職員配置:正社員及び臨時職員 10人 臨時職員賃金:時給1,000円以上	A	
利用状況	【利用状況】()内は対前年比 用者延べ人数 330,032人(105.5%) 【内訳】施設貸出利用者数 56,212人(80.6%) まんがぱーく利用者数 92,923人(138.3%) 広場イベント来場者数 36,000人(104.3%) 広場来訪者数 51,817人(107.0%) その他利用者数 93,080人(100.2%)	A	基本的事項については、概ね計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。
運営企画	まんがぱーく大市、商店街連携イベント(つまみぐいウォーキング)、観光協会連携イベント(とあるシリーズ展示会)、環境対策課連携イベント(環境フェア)	A	前年度と比較し、利用者数は大きく伸びている。 まんがぱーく大市は、施設の事業として定着しており、また三周年記念イベントを開催するなど、周辺地域のにぎわいづくりに貢献している。
事業収支 経営状況分析指標	収入:47,073,960円、支出:47,073,960円 ※指定管理料同額 人件費比率:48.4%	A	まんがぱーく大市は、施設の事業として定着しており、また三周年記念イベントを開催するなど、周辺地域のにぎわいづくりに貢献している。
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	請負賠償責任保険(子ども未来センター全体が対象) 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案項目については、着実に実施されている。
第三者への委託状況	清掃、廃棄物処理、機械警備、建物定期点検、各種設備保守	A	
新たな取り組みの状況	南口エントランスへの大型テレビ設置、オープン三周年記念イベントの実施。	A	
提案の実施状況	集客力のある自主事業を開催(立川まんがぱーく大市及び三周年記念イベントの開催)	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・応対を実施し笑顔の接客に努めている。利用者アンケートでは満足・おおむね満足が93.5%以上となっている。	A		
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施している。	A	職員の対応は良好に行われている。	
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議を実施している。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等を記載している。	A	各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページにて公表している。	A	月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化がなされている。	A
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成、配布した。ホームページで施設利用案内、行事案内を行った。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築できている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	適切に実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	防犯対策を強化し、保安・警備を行っている。	A
小規模修繕	階段床面張替え、屋内消火栓ポンプ改修、駐車場手摺修繕、照明機器修繕	A	小規模修繕についても、適切に行われている。	
備品管理	備品台帳を作成し適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A		
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付の書庫等に保管している。	A	個人情報保護規程を制定し、概ね、適切に実施している。	
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	・三周年記念イベントのリハーサル実施時の音楽の音量が大きく市の運営事業に支障がでた。 ・屋外敷地内通路で、自転車通行中の来場者が転倒し怪我。	B	市との連絡調整が不十分だったことから市の運営事業に支障をきたしたことについては、再発防止策を徹底されたい。	
事故の予兆に対する対応	事件・事故の予防に関する内容を含んだ危機管理マニュアルを定め、適正に対応するよう努めている。			B
具体的にヒヤリ・ハッとした状況	幼児が中から授乳室の鍵をかけた		マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、周辺関連機関への連絡体制を整備している。 避難訓練(1回)を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	南口商店街連合会との意見交換や懇親会の実施、市や商工会議所との意見交換、地域のにぎわい創出のための人的資源や場所の提供、毎月施設周辺のゴミ拾い清掃を実施	A	地元商店街や地域団体との連携に積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
施設の利便性向上と利用を促進	まんがぱーく運営、小中学校の職場体験への協力、錦みよし会と連携し諏訪祭りの中継地点として施設を開設	A	社会貢献、地域貢献として評価できる活動に取り組んでいる。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
施設の保全業務については仕様書等に基づいて適切に行われている。施設貸出をはじめとする施設運営については、大きなトラブルもなくおおむね良好である。引き続き、利用者目線に立った運営が求められる。	A	まんがぱーく大市をはじめとした各種取組みが成果を上げている。地域との連携は進んでおり、にぎわい拠点として、施設の活用が進んでいる。市との連絡調整不足による事故はあったが、施設管理については、仕様書等に基づき、適切に行われている。総合的な運営の水準は高いと判断し、A評価とする。		A
まんがぱーく大市を中心としたにぎわい創出への取組は、商店街、教育機関、市民団体等との連携協力の下、意欲的に実施されている。また、当施設を拠点に市民団体が商店街との連携事業を実施するなど、立川駅南口周辺地域のにぎわい創出という本事業の主要な目的を果たすべく機能し始めている。				
市民会館との施設の一体的活用について、特筆すべき成果が見られないため、創意工夫をこらした事業の実施が必要である。				

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	子育て支援業務	子育て推進課・子ども家庭支援センター・保育課

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、本施設における子育て支援事業を適切に実施した。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解している	職員全員で施設設置目的を確認し合い、それぞれの業務に必要な研修を実施した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	イベント等の事前告知を行い、利用者に対し公平・公正に対応するようシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	記録や話し合いによる情報共有を図り、引継ぎ期間を設け、事業の継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:348日 開館時間:8:30～17:00(子育て支援事務室は、提案よりも、平日1時間、土日30分開館時間を延長) 職員配置:正職員及び臨時職員 16人 臨時職員賃金: 時給1,010円～1,250円	A	基本的事項については、概ね実施計画どおり実施されている。
利用状況	【利用状況】 ()内は対前年度比 利用者延べ人数 28,524人(90.9%) 【内訳】一時あずかり保育 1,970人(90.7%) 子育てひろば 18,422人(88.4%) 支援啓発 8,132人(97.3%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。
運営企画	グループ活動室管理、子育て講座・子育てイベント、身長体重測定、たにぞう！あそぼう！ブンバボーン、年齢別サークル、子育て情報紙の発行、ボランティアによるサークル、事業協力(見守り保育)、ひまわり種まき、球根植え、各種講座、季節の壁面政策、誕生会、父親向けイベント	A	利用者数は当日キャンセル(一時あずかり保育)、安全確保のための制限(子育てひろば)のため、前年度よりも減少している。
事業収支 経営状況分析指標	収入:66,080,880円、支出:66,080,880円 ※指定管理料同額 人件費比率 : 80.3%	A	さまざまな講座やイベントが実施され、多くの参加者を得ている。
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	団体総合補償制度費用保険 支払限度額:300万円 (センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案項目の一時あずかり保育は、利用者ニーズに応えて実施されている。
第三者への委託状況	印刷業務、丁合・製本業務	A	
新たな取り組みの状況	年齢別サークルへの講師活用、利用者活躍の場の設定	A	
提案の実施状況	子育て支援につながる講座・イベント等 一時あずかり保育 子育てひろば	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇研修を実施するとともに、朝礼で望ましい姿を共有するなど、親切で正確かつ丁寧な対応を心掛けた。	A		
マニュアルの整備	業務マニュアル、防災対応マニュアル、地震対応マニュアル、不審者対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、苦情対応マニュアル、危機管理マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	各種業務研修、接遇研修、危機管理研修、衛生関連研修等を実施した。	A	前年度改善の余地があつた接遇については、研修や朝礼での改善により、適切に対応されるようになった。	
所管部署との連携・連絡	月に1回連絡調整会議を開催している。 緊急時対応マニュアルを事務室内に掲示している。 他の児童館内子育てひろばへの巡回指導に一部課題があつた。	A	月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化をはかっている。	A
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内掲示にて公表した。	A	公平・公正な利用システムが構築されている。	
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットや通信を作成し、配布している。ホームページでも施設利用案内を周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業運営に支障がない範囲で公表している。	A		
公平・公正利用の確保	ホームページ、チラシ等で広く周知するなど、公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
業務の点検	行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外。	一		
施設及び設備の保守・点検	評価対象外。	一		
保安・警備	評価対象外。	一	備品管理は適切に実施されている。	A
小規模修繕	評価対象外。	一		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A		
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例及び法人の個人情報保護規定に基づき、適切に執行している。	A		
適正な管理	記録媒体・個人パソコンの持ち込みを禁止するとともに、入職時に個人情報の取扱いについて誓約書を交わしている。	A	前年度の事故に対し厳重な指導を行っており、条例・規定に基づき適切に個人情報が保護されている。	A
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	責任者を中心に関係機関等研修に参加するとともに、適時研修を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	条例及び個人情報保護規定に基づき、ルールを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価		
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項						
事故・苦情対応状況	3件の事故・苦情があった。 ・職員の態度に対する苦情=適切に対応した。 ・課題のある親への対応=適切に対応した。 ・乗り物玩具で怪我=対応に一部問題があった。	B	乗り物玩具での怪我は、当事者対応に問題はなかったが、当該玩具は市が確認する前に処分されていた。			
事故の予兆に対する対応	・玩具を年齢別に分け、わかりやすくした。 ・転倒等による壁面衝突防止のため、緩衝マットを貼った。 ・指導員2名以上で見守った。			B		
具体的にヒヤリ・ハッとした状況	・保護者が持たせた食品が賞味期限切れだった。 ・安定性に欠けた玩具で子どもが転倒しそうになった。 ・玩具を子どもが噛みちぎり、誤飲しそうになった。		また当該事象の検証から中古の玩具を購入していることが発覚した。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、災害時の避難対応・不審者対応などの取り組みを行っている。	A				
(7)地域貢献に関する事項						
地域及び地域住民との連携	評価対象外。	—	—	—		
(8)コンプライアンスに関する事項						
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A		
(9)その他特記事項・追加評価項目						
		—	—			
(10)立川市のコスト削減状況						
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—	—	—		
施設担当課評価		2次評価	2次評価			
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等			
◆ 総合評価						
<p>【子育て支援啓発】 保護者が孤立化しないための働きかけ、参加意識の向上によるボランティアの定着など、保護者のニーズに寄り添いながら、指定管理者ならではの独自性を生かした取組みを今後とも継続してお願いしたい。 子どもを通したつながりによるグループ活動や社会貢献への楽しさを伝え、子ども会や自治会活動などの地縁に基づく地域活動への参加につなげる意識については、地域力の向上のため、今後とも意識していただきたい。</p> <p>【一時預かり保育】 現場で母子が抱える課題と必要な支援を判断し指示できる職員、現場に共感する能力が高い職員の配置を望む。公平・公正利用の面から、日曜日、祝日の予約方法について課題として捉え、改善する姿勢は評価する。今後、より良い予約方法となる事を望む。</p> <p>【子育てひろば】 特別な配慮が必要な親子に対する見立てができる体制、他機関との連携をマネジメントしていく体制の整備をお願いしたい。</p> <p>【全体評価】 昨年度と同様、利用者からの苦情や要望はあるが、件数が減少傾向にあるとともに、改善に向けた内部努力も見られている。 子育て支援啓発事業では、子育ての孤立化を防ぐような取り組みがなされ、講座によっては定員を上回る応募者が生じる状況も見られた。一時預かり事業では、保育内容においても改善が見られたとともに、担当職員への啓発や研修の努力が見られた。子育てひろば事業では、備品の取扱いについて一部指摘があったものの、より安全な運営を目指しながら市民の利用を重視した運営がなされている。 以上のとおり、一部指摘事項はあるものの、概ね適正な運営ができていたと考えられるため、今年度は上記のとおりの評価する。</p>						

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成26年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課
3	市民活動支援業務	協働推進課

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、本施設における市民活動支援機能が円滑に提供されている。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解している	定期的な研修、教育を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	募集要項に則り、公平に利用登録を行っている。また、5つの活動コンセプトに沿ったプログラムを判断し実施サポートしている。	A		
事業の継続性の担保	全てのコーディネーターに業務内容を安定的に実施するための教育体制をとっている。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:360日 開館時間:9:00～21:30 職員配置:正職員 3人	A		
利用状況	【利用状況】()内は対前年度比 プログラム実施数 283件(89.8%) 利用者数 10,144人(96.3%) 〔内訳〕協働事務室 2,108人(83.2%) プログラム 8,036人(100.5%)	A		
運営企画	登録団体懇親会の実施(8回) 協働事務室へのシェア本棚の設置・運営(2回) 勉強会の実施(1回) DIY講座の実施(2回)	A	基本的事項は、計画通り実施されている。 市民活動プログラム実施数は減少したが参加者数は微増した。協働事務室利用者数は減少した。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:15,498,000円、支出:15,498,000円 ※指定管理料同額 人件費比率:62.9%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	行事参加者にかかる傷害保険 支払限度額:1事故500万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	登録団体懇親会を実施し、団体同士のつながりづくりにも取り組んでいる。	A
第三者への委託状況	第三者への委託は行っていない。	-		
新たな取り組みの状況	協働事務室へのシェア本棚の設置・運営(2回) 勉強会の実施(1回) 地域企業と連携した出張プログラムの実施(2回) 市民ボランティアと連携したプログラム企画・運営(1回) 市民活動協議会の運営方法の変更	A	提案項目については、着実に実施されている。	
提案の実施状況	市民活動プログラムの広報・実施支援、市民参加促進ネットワーク構築事業、市民ボランティア活動支援、市民活動支援協議会の運営、市民活動関連施設等の貸出・管理・運営、活動者数・利用者数の把握、登録団体合同イベントの企画	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適時教育を実施しながら対応。プログラム実施団体からは、94%が満足するなど高い評価を受けている。	A		
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	年1回の社内研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回の連絡調整会議、分科会の他にも適時電話、メールでの連絡・調整を行っている。	A	利用者への対応は良好であり、利用者アンケートでも高い評価を得た。	
利用者アンケート等の実施	プログラム参加者、プログラム実施団体に対してアンケートを行い実施団体に公表している。	A	各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。	A
広報・PR等の利用情報の提供	市民活動支援機能パンフレット、プログラムのカレンダーなどを発行、またホームページでも周知している。	A	月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化を図っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	募集要項に基づき、公平な利用登録を行っている。	A		
業務の点検	毎週定例会を実施し、業務の点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外。	—		
施設及び設備の保守・点検	評価対象外。	—		
保安・警備	評価対象外。	—		—
小規模修繕	評価対象外。	—		
備品管理	評価対象外。	—		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A		
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、厳重に保管している。	A	個人情報保護規程を整備し、適切に実施している。	A
再委託の禁止	業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	—		
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		特に大きな事故や苦情はなかった。	A
事故防止対策の取り組み状況	評価対象外。	—		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外。	—	—	—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—	—	—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>市内外の市民活動団体が、市民活動コーディネーターの助言等により、子どもも未来センターを活用して市民活動プログラムを提供し、団体の活動が活性化した。プログラム実施数は若干減少したが、市民活動プログラムの参加者数は増加しており、にぎわい創出において評価できる。また、登録団体同士の協働プログラムの実施支援や懇親会なども設定して、団体同士のつながりづくりも行っている。</p> <p>近隣の小学校や商業施設等と意見交換を実施するとともに、市民活動センター等と情報交換を行うなど、ネットワークづくりも積極的に行っている。</p> <p>子ども未来センターの運営及び市民活動プログラム実施支援に係るボランティアの育成や活動支援を行い、個人として子ども未来センターに関わりたい人の多様な活動を支援している。</p> <p>市民活動支援協議会を設置し、登録団体や有識者の意見を活かして事業を行っている。</p> <p>市民活動関連施設等の貸出・管理・運営の中で、新たにシェア本棚を導入し、協働事務室の日常的な賑わい創出や登録団体同士の交流を促したほか、スキルアップ勉強会を行うなど、登録団体の活動に役立つ取組として評価できる。</p>		A	<p>市民活動団体の活性化やボランティアの育成など、さまざまな取り組みで市民活動支援に成果があった。</p> <p>施設の目的に沿った、効果的な運営がなされたと判断し、A評価とする。</p>	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課
4	文化芸術活動支援業務	地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	評価対象外。	—	—
職員が施設の設置目的を十分に理解している	評価対象外。	—	—
利用者の公平・公正利用の確保	評価対象外。	—	—
事業の継続性の担保	評価対象外。	—	—

(2)業務の履行状況

基本的事項	評価対象外。	—	—
利用状況	【利用状況】 文化芸術講座参加者数 812人 (前年度比133.6%)	A	—
運営企画	ヴァイオリンググループレッスン、子ども未来センター美術部、カッティングシートで秋をつくろう、この樹はみんなの樹、まんが絵の描き方教室、オリジナルゲームまんがつみつみ、まんが編集会議ワークショップ、マンガ科授業体験講座、ドラムサークル、けん玉教室、スイーツデコ体験教室、なりきりまんが家体験、秋色キャンドルと飾って楽しめるサシェをつくろう	A	年間を通して、まんがを軸に、様々な企画が行われ、好評を得ている。
事業収支 経営状況分析指標	収入:6,480,000円、支出:6,480,000円 ※指定管理料同額 人件費比率:40.0%	A	講座数の増加により利用者数も増となり、市民等が文化芸術に触れる機会が増えたことは評価できる。
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	普通傷害保険 支払限度額:1億5千万円（センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入） 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	—
第三者への委託状況	評価対象外。	—	—
新たな取り組みの状況	特になし。	—	—
提案の実施状況	文化芸術講座を、指定管理業務で定めた30回に対し40回開催し参加者も増となるなど、文化芸術活動に触れる機会を増やした。	A	—

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・応対を実施し、笑顔の接客に努めている姿が見られる。利用者アンケートの結果では回答者の90%が満足・概ね満足と回答。	A		
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議を実施している。 危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等を記載している。	A	利用者の立場に立って接客ができる。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設ホームページにて公表	A	各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。	A
広報・PR等の利用情報の提供	リーフレットを作成し、配布している。 ホームページでの周知も行っている。	A	月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化を図っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築できている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外。	—		
施設及び設備の保守・点検	評価対象外。	—		
保安・警備	評価対象外。	—		—
小規模修繕	評価対象外。	—		
備品管理	評価対象外。	—		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A		
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付の書庫等に保管している。	A	個人情報保護規程を制定し、概ね適切に実施している。	A
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	—		
事故の予兆に対する対応	事故・事件の予防に関する内容を含んだ危機管理マニュアルを定め、適切に対応するよう努めている。			
具体的にヒヤリ・ハッとした状況	特になし。		マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、周辺関連機関への連絡体制を整備している。 年に1回の避難訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>指定管理者が運営する「まんがぱーく」の強みを生かし、多様なジャンルを題材に講座が実施されている。</p> <p>商店街や地域文化振興財団、他の地域団体や地元アーティストと連携、情報交換しながら、工夫して講座等を実施している。</p> <p>短期間に実施する多様な講座とともに、開催期間に幅があり、参加者が施設や他の参加者とのつながりの中で過ごすことができるような講座も実施されている。今後も利用者のニーズを把握しながら、蓄積されたノウハウ、ネットワークを生かし、幅のある企画実施を期待したい。</p>		A	確実に取り組みを推し進め、地域の文化芸術活動拠点としての役割が大きくなっている。	A
			講座数の増により利用者数が増加したこと、利用者の満足度も高いことから、良好に運営されている。	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
住友不動産エスフォルタ・住友不動産建物サービス・鹿島建物総合管理共同事業体	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	事業計画書及び設置目的を十分に理解するため に研修を行い、管理運営にあたった。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	公共施設であることを理解し、設置目的及び第3次スポーツ振興計画などの勉強会を行い理解度の向上を図った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。 A
利用者の公平・公正利用の確保	性別・年齢・国籍・障害の有無などの差別なくすべての利用者が公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A	
事業の継続性の担保	事業が安定的かつ継続的に遂行するために引き継ぎ、連絡体制を構築している。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:345日 開館時間:9:00~23:00 職員配置:正社員・契約社員 7名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給910円~1,250円	A		
利用状況	【利用者数】内は対前年度比 合 計 264,868人(96.1%) 個人利用 108,859人(91.9%) 団体利用 107,034人(96.1%) 教室利用 48,975人(107.3%)	A		
運営企画	オリンピアンイベント、ランニングマシンの増台、 自主事業教室、体組成計、ストレッチャリアに DVD設置	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:219,184,077円、支出:210,467,231円 事業収支:8,716,846円 指定管理料:132,000,000円	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	近隣市体育館の改修工事終了による反動、 大規模な団体利用がなかったことにより利用者数は減となつたが、教室利用は順調に推移している。	A
第三者への委託状況	プール水水質検査・簡易専用水道水検査、電話 交換設備保守、自家用電気工作物保安管理、エ レベータ設備保守、建築設備定期検査、競泳用 自動時計保守、吸収冷温水機保守、スタジオ用 吸収式冷温水器保守、プール水処理設備保守、 プール滅菌装置保守、空調用自動制御装置保 守、ばい煙測定検査、害虫防除及びカラダニ防 除、膜屋根保守、プールクリーナー保守、機械警 備、植栽管理保守、消防用設備保守、放送設備 保守、受水槽設備等清掃	A	収支は、事業者変更 に伴うトレーニングマ シン入れ替え等の初 期費用もあったが、自 主事業収入が大きく 伸びたことより約870 万円の黒字となった。 提案事項は着実に実 施されている。	
新たな取り組みの状況	監視カメラの増設、総合受付の設置、プール更衣 室に脱水機設置、床のタイル貼り	A		
提案の実施状況	ランニング等のステーション機能の設置、誰でも トイレのバリアフリー化、普通救命講習の技能者 の配置、入口に消毒液の設置、インカムを用いた 各セクションの情報共有化、犯罪等未然防止の 施設巡回、プール更衣室の巡回強化、個人情報 の再利用不可措置、利用状況・利用者の声の施 設運営への反映	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	接客接遇マニュアルに基づき、対応されている。	A		
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	社内研修、日常研修を積極的に実施。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは月1回会議を開催し、連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	定期教室参加者に利用者アンケートを実施し、閲覧できるファイルを設置してある。	A	職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそつて業務を実施している。	A
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを施設内に設置するとともに、ホームページにより、適宜情報を発信している。	A		
事業計画・報告書の公表	規定に従い、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システム等により、公平・公正利用を確保している。	A		
業務の点検	定期的なモリタリングを実施し、点検を行っている	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	シフトを作成して対応するとともにチェックリストを作成し、適切に実施された。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき概ね適切に実施されている。	A
小規模修繕	プール温水配管部品交換、湧水槽ポンプ交換、全熱交換機制御用三方弁交換、ボイラーウルトラビジョン交換、MIOX装置水温センサー及び圧力計交換	A	修繕も適切に行われている。	
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	内部監査員による調査・監督を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務を遂行している。	A		
適正な管理	全スタッフと個人情報に関わる同意通知を結び防止策を講じている。	A		
再委託の禁止	主要な業務は共同事業体により実施し、第三者への委託は限定されている。	A	個人情報マニュアルに基づき適切に実施された。	A
研修・教育の実施	社内研修及び施設内での日常的な教育を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の苦情等があったが適切に対応された。 ・トイレに靴のまま履けるスリッパの設置。 ・プールの休憩時間の短縮。 ・トレーニングジムへのマットの設置。 ・スタジオ見学スペースへのイスの設置。	A	意見・苦情に対しても、丁寧な対応がなされた。	
事故の予兆に対する対応	・パンフレットスタンド足場へのつまずきに対し、コンパクトな物へ交換を行った。 ・団体利用者のこむら返りに対し、脱水チェックリストの提示を行った。		マニュアルやフローの作成・運用により事故防止に取り組んでいる。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	急性心筋梗塞の利用者に対し、看護師が診察した結果、救急車を要請した。			
事故防止対策の取り組み状況	災害マニュアルや対応フロー、連絡フローを作成・運用するとともに、3か月に1度の避難訓練実施により事故防止に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の方や来館者と積極的なコミュニケーションが図られている。 調整会議を開催し、体協との連携に努めている。 体協を通した地域への優先貸出(第2・4月曜日) 自主的に根川緑道のゴミ拾いを行っている。	A	近隣住民への配慮や、体育協会との連携が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
選挙開票	選挙開票使用時に管理及び設備員の配置を行った。	A	他の事業に対しても協力的に対応した。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	16,471,884円の削減。(平成20年度決算との比較) この他、544,102円の市への納付金あり。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価			2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>新しい指定管理者に移行して1年目が経過した。現指定管理者は、自主事業の拡大による事業収入増加や人件費等の経費削減から生み出される原資を見込んで、トレーニングマシン全面更新やプール更衣室床修繕、誰でもトイレの設置に投資しつつ、市からの指定管理料を大きく減らす意欲的な提案であった。移行当初、利用者から戸惑いやご意見を頂戴したものの、指定管理者はその都度修正を重ねつつ、利用者自身も、体育館の新しい仕様に慣れて現在に至っている状況である。</p> <p>運営面については、前述のトレーニングマシンの全面更新、プール更衣室床の改良のほか、頂戴したご意見に対する回答の館内掲示、プールに脱水機の導入、利用者トイレや事務室等の館内の美化等、利用者目線での改良や清潔な印象は評価に値する。このほか、オリンピアンを招いてのイベントは、これまでない取り組みであり、参加者からの評判も良い。以上の取り組みのほとんどは、提案書どおりの履行ではあるが、他の指定管理者に対しても良い刺激になっている。今後の留意点として、限られた空間を自主事業と指定管理事業で分け合って実施しているため、自主事業に注力しすぎないよう両事業のバランスに特に気をつけていただきたいこと、また、申し込み手続きや契約手続き等において、厳格な手順を求めるあまり利用者から不便を感じさせる場合があるため、状況によっては柔軟に対処いただきたいことが挙げられる。</p> <p>清掃および設備管理面については、いずれも着実に業務が行われており、休館日(毎月1回)に取り組んだ美化内容の館内掲示をはじめ、老朽化した施設ゆえの相次ぐ設備機器の故障に対し、可能な限りの最良の対応に努めようとする姿勢は評価できる。</p> <p>以上、運営・清掃、設備管理面を総合的に見て、運営面の一部に若干の留意点は残るもの、全体として提案書どおりの内容を着実に実施されており、A評価としたい。</p>		指定管理者更新初年度。 各種のイベントを実施するとともに、地域や体協との連携に努めている。	A	
		A	更新初年度であることから当初は利用者から意見もあったが、適切に対応しており、運営、施設管理等については、良好に行われていることから、A評価とする。	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市泉市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
シンコー・立川体協・アズビル共同事業体	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書及び設置目的を十分に理解するため に研修を行い、管理運営にあたった。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	公共施設であることを理解し、設置目的及び第3次スポーツ振興計画などの勉強会を行い理解度の向上を図った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	性別・年齢・国籍・障害の有無などの差別なくすべての利用者が公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	事業が安定的かつ継続的に遂行するために引き継ぎ、連絡体制を構築している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:336日 開館時間:9:00~23:00 職員配置:正社員・契約社員 8名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給910円~1,250円	A		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計 362,881人(114.3%) 個人利用 134,676人(112.9%) 団体利用 190,654人(109.5%) 教室利用 37,551人(156.1%)	A		
運営企画	ロコモティブシンドローム予防講座(講座・料理・体組成測定)、各種スポーツ教室、季節のイベント	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:208,163,227円、支出:205,256,678円 事業収支:2,906,549円 指定管理料:127,131,428円	A	利用時間の拡大、トレーニング室利用増や各種教室事業の広がりにより、利用者数は全体で前年度より約14%の増となっている。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償責任保険 支払限度額:3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	収支は、利用者数の増加に比例し、収入も増加した。また自主事業の物販が好調であり、84万円の市への納付金が確保された。	A
第三者への委託状況	プール水水質検査・簡易専用水道水検査、電光得点表示システム保守、自家用電気工作物保安点検、直流非常用電源装置保守、冷温水機保守、ボイラー保守、ポンプ類保守、空調機PAC等保守、水槽類設備清掃、消防用設備保守、プールろ過装置保守、プール水殺菌装置保守、エレベーター保守、自動ドア保守、建築設備定期検査、清掃、廃棄物処理、機械警備、電話交換機設備保守、放送設備保守、樹木せん定	A	各種教室により、スポーツをしなかった層を取り込むことができた。	
新たな取り組みの状況	インバーター設置、防犯カメラ、貴重品ロッカー設置、更衣室空調機汚れ点検、フロン排出抑制法に伴う第一種特定製品簡易点検実施	A	提案事項は着実に実施されている。	
提案の実施状況	遠隔監視システム導入、建物管理業務のWEB化、ボルダリングの設置、新規トレーニングマシンへの変更、物販・レンタル、自動販売機設置、スタジオ新設、運動型健康増進施設の認定取得、プール監視システム「ポセイドン」設置	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	接客接遇マニュアルに基づき、対応されている。	A		
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	外部研修、社内研修、日常研修を積極的に実施。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは月1回会議を開催し、連絡・調整を行っている。	A	職員の対応は適切に行われている。	
利用者アンケート等の実施	定期的に利用者アンケートを実施し、結果をホームページで公開した。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルにそつて業務を実施している。	A
広報・PR等の利用情報の提供	折込チラシ、パンフレット、ホームページにより、適宜情報を発信している。	A		
事業計画・報告書の公表	規定に従い、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システム等により、公平・公正利用を確保している。	A		
業務の点検	社で定めるPDCAサイクルにて業務の改善を行い、さらに社内監査により改善に努めている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務漏れがないようにチェックリストを作成し、適切に実施された。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	プール水残留塩素測定センサー交換、パウチ修繕、プール水殺菌装置直流量センサー修繕、第2体育室誘導灯ガード修繕、第1体育室ガラス交換、トイレ部品交換、自動販売機コーナーコンセント交換、コインロッカー修繕、フェンス修繕、トレーニングジムマシーンカバー修繕、プール系統空調機給気ファンベルトベアリング交換、第1体育室自動カーテンリモコン送信機取替、冷水機修繕、プールシャワー女子側自閉バルブ交換、製氷機修繕、体組成計修繕、卓球台修繕、NSP-MIOX流入センサー交換、真空式温水給湯暖房機部品交換、プール用ワイヤレスマイク修繕、残留塩素計修繕、テニス用滑車修繕、機械室排気ファンオーバーホール作業、プールロボットアクアキング修繕	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき概ね適切に実施されている。 修繕も適切に行われている。	A
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	内部監査員による調査・監督を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務を遂行している。	A		
適正な管理	全スタッフと個人情報に関する同意通知を結び防止策を講じている。	A	個人情報保護マニュアルに基づき適切に実施された。	
再委託の禁止	主要な業務は共同事業体により実施し、第三者への委託は限定されている。	A		A
研修・教育の実施	社内研修の実施及び施設内での日々の教育を実施を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	盜難事件が2回発生した。	A		
事故の予兆に対する対応	毎日の朝礼・終礼などで対応策を確認。蓄積・共有することにより事故の未然防止・施設の安全に役立てている。月1回の社員ミーティングでも確認。			A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		マニュアルや訓練を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	
事故防止対策の取り組み状況	安全管理マニュアルや日常の救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の方や来館者と積極的なコミュニケーションが図られている。 体協を通した地域への優先貸出(第1・3木曜日) 自主的に六中、砂川高校、泉野球場付近のゴミ拾いを行っている。	A	地域に配慮した取り組みを行っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
休館日電話対応 節水コマ設置 みるスポーツの実現 トップアスリートによる ジュニア育成教室 障害者スポーツ事業 高齢者教室事業	休館日の電話メッセージによる案内、シャワーと蛇口を節水コマに変更、プロバスケットボールの試合を10試合実施、元日本体操協会ナショナルコーチ指導による機械運動教室の開催、リオ五輪内定選手への練習施設提供、障害者スポーツ教室実施、高齢者対象の教室事業開催	A	問合せ対応の負担軽減や経費削減につながった。 スポーツ振興や競技力の向上に寄与した。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	8,388,554円の削減。(平成25年度決算との比較) この他、842,094円の市への納付金あり。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>指定管理者を導入し、利用時間の拡大をはじめ、水着販売やレンタルロッカー設置、スタジオ教室やボルダリングの新設、トレーニングマシンの全面リニューアル等、数々の事業の遂行により、サービスの質が大幅に向上了り、利用者も増え続け、2年目の27年度は、導入前と比べて全体として5割強の大幅な増加をもたらした。特に、トレーニング室については、3区分入替制の廃止により利便性が向上し、利用者が2.5倍に増加した。また、騒音の心配のない立地ゆえ、体育室についても、フットサルやバスケット・バレーボール等による夜区分の稼働率が高く、スポーツ実施率の低い成年人口(20~50代)の機会創出に大きく寄与している。</p> <p>施設の維持管理についても、日々の適切な維持管理に加え、防犯カメラや貴重品ロッカーの設置等の安全性へのさらなる対応が図られている。</p> <p>加えて、27年度は、オンラインピックパラリンピックムーブメント事業や介護予防推進事業という立川市新規事業に呼応する形で、障害者スポーツ教室事業・介護予防教室事業、オリンピック選手への施設提供に取り組んだ。</p> <p>今後は、体育協会傘下の各種競技団体の協力による球技系スポーツ教室のさらなる展開や、プールでの新たな事業展開が期待されるとともに、市事業に協力する形での新規事業の周知が進むことを期待する。</p>		A	利用時間の拡大や、トレーニング室の利用増、各種教室事業の拡大により、利用者数の大幅増を実現した。 市担当課と密に連携し、市のスポーツ施策に貢献した。	A
			運営、施設管理等については、良好に行われておりA評価とする。	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコーポ	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項を確認した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤3名、非常勤7名(内1名は夜間対応職員) 非常勤賃金 時給1,000円	B		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計 25,791人(101.3%) 個人利用 23,031人(100.9%) 団体利用 1,705人(111.4%) 館外行事 1,055人(95.4%)	A	基本的事項については、常勤職員が計画に比べ▲1名と不足した。早期の補充を望む。	
運営企画	親子参加型企画、子どもの日企画、宿泊企画、子ども実行委員会、地域との連携、近隣学校との連携、乳幼児事業	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：35,339,706円(指定管理料) 支出：32,830,765円 事業収支：2,508,941円 人件費比率 74.5% 常勤職員▲1名を非常勤職員で対応したため支出減	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 利用者数は前年度より増となった。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	多様な運営企画が実施され、多数の参加があった。	
第三者への委託状況	消防設備保守、館内・じゅうたん清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、樹木せん定、非常通報装置保守管理	A	提案事項は着実に実施されている。	
新たな取り組みの状況	利用年齢を超えた子供の利用者ボランティア受け入れ、児童館オリエンテーション、環境学習行事	A		
提案の実施状況	畑づくり、児童館ファミリーカフェの運営、ランチタイム、料理教室、学習ひろば、その道を極めよう教室、子育て講座、保護者向け学習会、企業向け出張講座	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接客対応ともに、適切に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修への参加、自主研修の実施。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示した。	A		A
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信	A	前年度に開設準備中だったホームページも開設し情報の提供を行った。	
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるようになっている。	A		
業務の点検	法人内部監査を実施。適宜行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	ガラス修繕	A	小規模修繕についても、適切に行われている。	
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを設定し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の事故・苦情があった。 ・職員のシフト確認不足による開館時間の遅延＝勤務シフトの確認の徹底を望む。 ・子ども同士の喧嘩＝適切に対応された。 ・子どもの喧嘩に対する保護者からの問い合わせ＝適切に対応された。 ・子どもが押す歩行器が別の子どもに衝突＝適切に対応された。	A	職員の確認不足による開館時間の遅延は発生したが、その他の事故・苦情等には適切に対応された。	
事故の予兆に対する対応	1階遊戯室の床が滑りやすく、怪我につながる恐れがあつたため、裸足で遊ぶよう声かけ、床を水拭きするなどして対応。また遊びにより遊戯室を分けるなど、怪我防止に努めた。			A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・事務室鍵付きキャビネットの退館時の鍵の閉め忘れ。 ・隣接公園にて児童のライター遊び。		マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 避難訓練(2回)、防災講習(1回)の実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の開催や、公園の清掃等を通じ地域との関係を築いている。 また、地域の行事や会議に積極的に参加し、地域の児童館として役立っている。	A	地域住民との連携が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	4,037,415円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
各種機関との連携・協力が増えている、また、企業向けの出張講座など企業との連携も少しずつではあるが始まっている。 多数の地域の会議などに参加することにより、多くの地域行事に参加し、また、共催行事を実施し交流を深めた。 平成21年度指定管理者移行当初から、隣の公園の清掃を毎日行い、周辺住民との関係作りに努め、また、公園で遊んでいる児童のトラブルにも対応している。同時に、公園での夜遊びやごみに関して、児童館へ苦情が寄せられているが、付近の見守り等可能な限り対応している。 子どもの居場所確認の連絡が保護者よりしばしばあり、外で遊ぶときはとりあえず児童館へ、とわが子に伝えているという声もあり、地域の居場所としての役割が大きくなっている。	A	館の管理・運営だけでなく、清掃活動などを通じ地域に溶け込んでおり、地域の児童館として、認知が広がっている。 常勤職員が計画より1名減ではあったが、総合的には管理・運営状況は一定の水準にあると判断し、A評価とする。		A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコーポ	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項を確認した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A	
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤5名、非常勤4名 非常勤賃金: 時給1,000円	A	
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計 25,995人(104.1%) 個人利用 22,330人(99.3%) 団体利用 718人(107.5%) 館外行事 2,947人(162.8%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。
運営企画	子どもの日企画、宿泊行事、季節行事・子ども実行委員会、地域との連携・子ども実行委員会、高松学習館との連携行事、他児童館との合同行事	A	賃金単価については、法令等遵守されている。
事業収支 経営状況分析指標	収入: 34,610,921円(指定管理料) 支出: 34,560,378円 事業収支: 50,543円 人件費比率 77.6% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A	利用者数は学習館との連携による館外行事等により、前年度より増となった。
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	多様な運営企画を実施され、多数の参加があった。
第三者への委託状況	窓ガラス清掃、害虫駆除、非常通報装置、じゅうたん清掃	A	提案された事項は着実に実施されている。
新たな取り組みの状況	中高生と幼児の交流、幼児と高齢者の交流、中高生委員会、児童館運営委員会	A	
提案の実施状況	食育事業(緑のカーテンサポート隊、ランチタイム等)、小学生支援(遊び、工作等)、中高生支援(学習ひろば等)、親支援(子育て講座等)、多世代交流事業、NPO・近隣施設・商店街・会館・学習館祭りとの連携、障害者理解の職員研修、高齢者ボランティア	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接客対応ともに、適切に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、清掃マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルにそつて業務を実施している。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示した。	A		A
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A	前年度に開設準備中だったホームページも開設し情報の提供を行った。	
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるようになっている。	A		
業務の点検	法人内部監査を実施。適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	施設の維持管理において、荒天時の施設管理に注意が不足し屋上設備(支柱)の破損が発生した。適切な管理を望む。	
施設及び設備の保守・点検	積雪による屋上設備の破損が発生した。	B		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		B
小規模修繕	保護クッション設置、カーテン補修・買い替え。	A	小規模修繕については、適切に行われている。	
備品管理	備品台帳により適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	本来と違う場所に申請書を保管し、利用者が本来利用可能だったサービスを受けられない事案が発生した。	B	個人情報の書類の保管において事故が発生した。個人情報の管理については、十分な注意を望む。	B
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人内研修の実施、事業所内プロジェクト会議・研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを設定し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	6件の事故があった。 ・遊戯室の窓の施錠漏れ=適切に対応。 ・男性ボランティアが児童に個人的な連絡先を教えたことへの苦情=適切に対応。 ・子ども同士の喧嘩による怪我=適切に対応。 ・児童のゲームカセットの紛失=適切に対応。 ・宿泊行事での花火により児童が火傷=適切に対応。 ・積雪による防球ネット支柱の倒壊=施設管理について注意不足があった。	B	施設管理について、注意不足の面があり、屋上設備(支柱)が倒壊した。適切な管理を望む。	B
事故の予兆に対する対応	椅子の角等の保護クッションを確認し、新たな個所へクッションを追加。		マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・館内にスズメバチが侵入。 ・児童にボールが当たり、耳鳴りがするとの申し出があった。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 避難訓練を実施、地域の防災訓練に参加。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域懇談会の開催や、高松会館、学習館、商店街との連携に努めている。 地域福祉コーディネーターと連携するとともに、火ばさみ隊によるゴミ拾いなどにより、地域に貢献している。	A	地域との連携が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
児童館の有効活用 地域資源の活用	・壁面でのゴーヤのグリーンカーテン実施。 ・屋上にプランターを置き、野菜の栽培と収穫を実施。 ・行事へのジュニアリーダーの活用。 ・市民リーダーによる親子そば打ち教室の実施。	A	積極的に事業展開に努めている。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	5,706,074円の削減。(平成22年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>27年度は高松学習館と共に青少健などの協力により天体観測の実施、お泊会での銭湯やハロウィンでの仮装パレードなどにより商店街や地域との連携に取り組んだ。また、二小放課後子ども教室との連携など、新たな取り組みも実施した。</p> <p>地域団体の会議に積極的に参加し、商店街との連携、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。</p> <p>歯科講座、マタニティー講座など乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>以上のように、新たな事業を実施し、安定的な運営が行われている。</p> <p>その反面、施設管理や個人情報管理の面においては、注意すべき点や改善すべき課題があった。</p>		B	学習館と連携した天体観測やハロウィンパレードなど、地域と連携した運営を行っている。	B

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成27年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日から平成30年3月31日(5年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
評価理由等：	
<p>平成25年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した若葉児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の若葉学童保育所も土曜日の延長保育を実施した。</p> <p>児童館で児童への見守り不足によるガラス破損など一部不手際等があつたが、ともに安定した運営に取り組んだ。</p>	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S		仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている	
A		仕様書等で定められた水準に達している	
B		仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない	
C		仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である	

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市若葉児童館		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコーポ		平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項を確認した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤4名、非常勤4名 非常勤賃金: 時給1,000円	A		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計 20,797人(96.0%) 個人利用 19,851人(97.6%) 団体利用 656人(79.9%) 館外行事 290人(56.8%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
運営企画	子連との共催(ストラックアウト)、ホリデースクールへの参加、子ども実行委員(夏祭り)、地域との連携(若葉会館まつり、ハロウィンパレード)、多世代交流(猿回しショー)、スポーツフェスタ、お正月遊び、防災イベント(避難訓練等)	A	給与単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入: 51,718,467円(指定管理料) 支出: 50,757,518円 事業収支: 960,949円 人件費比率: 80.0% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A	利用者数は前年度より減となった。 多様な運営企画が実施され、中身の充実が図られた。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案内容については、着実に実施されている。	
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、非常通報装置保守、樹木せん定、建築設備定期検査、カーテンクリーニング、ピアノ調律	A		
新たな取り組みの状況	おばけやしき、中高生の主体的な運営(カードゲーム大会)	A		
提案の実施状況	食育講座、子育て講座、妊産婦講座・座談会、遠足、季節にちなんだ工作	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接客対応ともに、適切に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修・外部研修への参加。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルにそつて業務を実施している。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示した。	A		A
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A	前年度に開設準備中だったホームページも開設し情報の提供を行った。	
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるようになっている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		A
小規模修繕	蛇口の修繕	A	小規模修繕についても、適切に行われている。	
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A	マニュアル等に基づき、適切に個人情報が保護されている。	
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理の徹底。	A		A
再委託の禁止	請け負わせていない。	A	前年度に個人情報の入った記録媒体等の紛失があったが、鍵付き書庫で管理するよう徹底している。	
研修・教育の実施	法人としての研修実施。各現場の事例検討研修実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の事故があった。 ・子どもの階段での怪我＝適切に対応。 ・子ども同士のトラブルによる怪我＝適切に対応。 ・FAX誤送信＝送信時の確認が不足していた。 ・子どもによる窓ガラス破損＝職員が現場に不在のため未然に防止できなかった。	B		
事故の予兆に対する対応	日々の昼礼会議、月1回の職員会議等で職員配置の徹底と、見守り強化・連携に努めた。		マニュアルや会議を通じて事故防止対策に取り組んでいる。	B
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・幼児室玩具内に針が混入。 ・音楽室の網戸がはずれ落下。		大事には至らなかったが、事務ミス、職員不在による事故については、再発防止に努められたい。	
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 避難訓練(3回)及び防災食の試食、防災についての講演会を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の開催や若葉青少健への参加等、常に地域との連携に努めている。 あいあいパトロールや地域夏祭り後の夜回りパトロールにも参加している。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	3,403,282円の削減。(平成23年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
			利用者数は前年度より減少となった。 事故・トラブル等は発生したが、適切に対応され解決が図られた。	
若子連との共催でお楽しみ会、ホリデースクールとの連携事業として工作コーナー、地域との連携としてハロウィンパレードで地域のお店や交番に衣装を着て訪問するなど、地域との連携に取り組んだ。 地域団体の会議に積極的に参加し、商店街との連携、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 乳幼児親子の事業として食育講座、子育て講座としてベビーマッサージ、リズム遊びなど、子育て支援に取り組んでいる。 以上のように、新たな事業を実施し、安定的な運営が行われている。	A	総合的には管理・運営状況は一定の水準にあると判断し、A評価とする。	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市若葉学童保育所		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ		平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月学童団会議、随時児童館・学童保育所の合同団会議において、設置目的や運営事項を確認している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数: 243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤2名、非常勤6名 非常勤賃金: 時給1,000円	A		
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 45人 延べ利用人数 8,316人(102.4%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
運営企画	入所歓迎会、お誕生日会(毎月)、工作、児童館行事(夏祭り)、スポーツ大会、卒所・進級を祝う会、おたのしみランチ、伝承遊び	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (若葉児童館にて一括して評価)	—	児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案内容については、概ね実施されている。	
第三者への委託状況	評価対象外 (若葉児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	全員で協力する大縄跳び大会	A		
提案の実施状況	児童館行事への参加、地域懇談会への参加、子育て広場への参加、児童館との連携行事、地域のボランティア活動への参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接客対応ともに、適切に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、それにそって業務を実施している。	
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—	事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内を設置。 市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
小規模修繕	若葉児童館にて一括して実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	研修を実施した。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		A
研修・教育の実施	法人としての研修、各現場の事例検討研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の事故があつたが適切に対応された。 ・降所時間を誤り、児童を1時間家の前に待たせた。 ・児童が傘掛けを破損。	A		
事故の予兆に対する対応	職員会議で事故事例等を共有。清掃時の点検の徹底、保育室の窓から乗り出さないようストッパーの設置と指導員の見守りの徹底。		事故、苦情に対しては適切に対応されている。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	保育中に児童が施設外へ出たが、すぐに連れ戻した。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 毎月、避難訓練を実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域との連携に取り組んでいる。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	若葉児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>若葉学童保育所では、月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作教室を、季節行事としてお楽しみランチ、伝承遊びとして昔遊び、父母会共催行事として、卒所・進級を祝う会等の行事を実施した。</p> <p>また、夏まつりなど児童館行事や子育てひろばへの参加や、合同避難訓練など連携して行われた。地域との連携については、児童館地域懇談会での学童保育所の活動報告や意見交換が行われた。</p> <p>なお、学童の運営については、土曜日の延長保育が実施され安定した運営に取り組んでいる。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成27年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日から平成30年3月31日(5年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	西砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	松中学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
評価理由等：	
<p>平成25年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した西砂児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の松中学童保育所も土曜日の延長保育を実施し、ともに安定した運営に取り組んだ。</p>	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容		
S		仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A		仕様書等で定められた水準に達している		
B		仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C		仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市西砂児童館		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコーポ		平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号		事業名称	事業担当課
1		西砂児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項を確認している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置：常勤3人、非常勤5人 非常勤賃金：時給1,000円	A		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合計 23,247人(120.3%) 個人利用 22,614人(120.9%) 団体利用 63人(41.7%) 館外行事 570人(122.3%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
運営企画	子どもの日企画、子ども実行委員会によるおばけ屋敷・ハロウィンパーティ・にしづな子どもまつり、児童館に泊まろう、クリスマスパーティ、西砂学習館祭りとの連携、松明祭り	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入：55,596,602円(指定管理料) 支出：54,924,327円 事業収支：672,275円 人件費比率：76.9% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A	利用者は新規企画や地域連携の拡大等により前年度より大幅な増となった。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	多様な運営企画を実施し、多数の参加があった。	
第三者への委託状況	消防設備保守、定期清掃、害虫駆除、非常通報装置保守、樹木せん定、空調機保守、建築設備定期検査、じゅうたん清掃、カーテンクリーニング	A	提案のあった企画等は概ね実施されている。	
新たな取り組みの状況	児童館に泊まろう、移動動物園、中高生クッキング、乳幼児事業(パパママの日・地域ボランティア支援)	A		
提案の実施状況	食育事業、小中学生の学習支援、保護者向け学習会、乳幼児子育て講座、妊産婦支援事業、父親育儿講座、多世代交流、復興支援・募金活動、動物の飼育・自然観察カード、地域ボランティアによる教室	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接客対応ともに、適切に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修への参加、自主研修の実施。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルにそつて業務を実施している。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示した。	A		A
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A	前年度に開設準備中だったホームページも開設し情報の提供を行った。	
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	玄関カーテン取り換え、窓の取り換え、網戸取り付け、非常灯バッテリー交換	A	小規模修繕・備品管理についても、適切に行われている。	A
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 事業所内でのプロジェクト会議、研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	3件の事故があったが適切に対応されている。 ・廊下での転倒による児童の怪我。 ・児童同士での喧嘩による嘔吐。 ・料理行事の際の包丁による児童の怪我。	A		
事故の予兆に対する対応	柱・棚・机の角へのクッション材取り付け。		事故・苦情等に対しては適切に対応している。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 また、学童・児童館合同や単独での避難訓練を実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の実施、地域学習館運営協議会への参加、西砂青少健、西砂子連との連携などにより、情報共有している。 社協や子ども家庭支援センターとの連携に努めている。	A	地域との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	926,739円の削減。(平成23年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
地域団体の会議に積極的に参加し、ふれあい松明まつりや西砂子どもまつり等地域行事にも参加、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 保護者向け学習会としてシングルマザーカフェや子育てサポーター養成講座を行い、子育て支援に取り組んでいる。 老人会ボランティアによる将棋教室など多世代交流に取り組んでいる。 以上のような事業を実施し、安定的な運営が行われている。		A	指定管理者導入3年目。導入前を上回る利用者数であった前年度を大きく上回る利用者数となっており、さまざまな取り組みの成果が表れている。 引き続き良好な運営に努め、さらなるサービス向上に期待する。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容		
S		仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A		仕様書等で定められた水準に達している		
B		仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C		仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市松中学童保育所		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコーポ		平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号		事業名称	事業担当課
2		松中学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月学童団会議、随時児童館・学童保育所の合同団会議において、設置目的や運営事項を確認している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数: 243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤3名、非常勤3名(上期) 常勤2名、非常勤4名(下期) 非常勤賃金: 時給1,000円	B		
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 70人 延べ利用人数 12,660人(127.2%)	A	基本的事項については、常勤職員が下半期は計画に比べ▲1名と不足した。早期の補充を望む。	
運営企画	工作週間、誕生会、夕涼み会、スポーツ大会、子どもカフェ、ハロウィンパーティー、クリスマス会、伝承遊び	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	A
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (西砂児童館にて一括して評価)	—	児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案内容については、概ね実施されている。	
第三者への委託状況	評価対象外 (西砂児童館にて評価)	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
提案の実施状況	食育事業、児童館行事への参加、地域懇談会への参加、乳幼児事業への参加、児童館との連携行事、地域ボランティア活動への参加、小学校との連携(クラス担任との懇談会)	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接客対応ともに、適切に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書、清掃マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修・外部研修への参加、自主研修の実施。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。	
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—	事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内を設置。 市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
小規模修繕	西砂児童館にて一括して実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部が巡回して確認	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修、各現場の事例検討研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	3件の事故があつたが適切に対応された。 ・児童がボール蹴りで空振りし転倒、後頭部をぶつけた。 ・児童が窓ガラスを破損し怪我。 ・児童同士が衝突し転倒、後頭部をぶつけた。	A		
事故の予兆に対する対応	暴力的行為に対し、職員を配置し見守るとともに、三者面談を重ねることで暴力行為が減った。		事故、苦情に対しては適切に対応されている。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		けがの未然防止には、一層努められたい。	A
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 学童・児童館合同や単独の避難訓練を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の実施、地域学習館運営協議会への参加、西砂青少健、西砂子連との連携などにより、情報共有している。 社協や子ども家庭支援センターとの連携に努めている。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	西砂児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>松中学童保育所では、月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作教室を、季節行事としてハロウィンパーティー、伝承遊びとして正月遊び、父母会共催行事として、夕涼み会、クリスマス会などの行事を実施した。</p> <p>また、西砂子どもまつりなど児童館行事や子育てひろばへの参加や、合同避難訓練など連携して行われた。地域との連携については、児童館地域懇談会での学童保育所の活動報告や意見交換が行われた。</p> <p>なお、学童の運営については、土曜日の延長保育が実施され安定した運営に取り組んでいる。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様書の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成27年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
羽衣児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日から平成31年3月31日(5年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	羽衣児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	羽衣学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成26年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した羽衣児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の羽衣学童保育所も土曜日の延長保育を実施した。学童保育所で常勤職員1名を非常勤職員で対応した時期があったが、ともに安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市羽衣児童館		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコーポ		平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
1	羽衣児童館運営管理	子ども育成課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や運営事項を確認した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	児童館利用についての話し合いや利用案内の配布、利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤2人、非常勤9人 非常勤賃金: 時給1,000円	B		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計 24,627人(88.5%) 個人利用 23,560人(87.4%) 団体利用 621人(92.3%) 館外行事 446人(237.2%)	A	基本的事項については、常勤職員が計画に比べ▲1名と不足した。早期の補充を望む。	
運営企画	子どもの日企画、宿泊企画、学童父母会共催夏まつり、あむあむルーム、館対抗ドッジボール大会、地域連携子どもまつり、親子でアート、星空観測会	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入: 54,883,578円(指定管理料) 支出: 53,018,546円 事業収支: 1,865,032円 人件費比率: 78.6% 常勤職員の減を非常勤職員で対応したため支出減	A	利用者は前年度より減少した。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	多様な運営企画を実施し、多数の参加があった。	
第三者への委託状況	床・窓ガラス・エアコンフィルター清掃、害虫駆除、消防設備保守、じゅうたん・カーテンクリーニング、非常通報装置保守、建築設備定期検査、ピアノ調律	A	提案のあった企画等は概ね実施されている。	
新たな取り組みの状況	他館との連携(デイキャンプ)、社協との連携(めだかのがっこ)、館内通貨、復興支援(千羽鶴の贈呈)	A		
提案の実施状況	宿泊行事、食育事業、工作行事、交流会行事、スポーツ行事、伝統文化・芸術行事、子どもスタッフによる企画運営行事、館外行事、乳幼児親子向け行事	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接客対応ともに、適切に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加している。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルにそつて業務を実施している。	A
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示している。	A	前年度に開設準備中だったホームページも開設し情報の提供を行った。	
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		A
小規模修繕	遊戯室壁クッション固定補修、コンセント修繕、卓球台修繕、時計の取り付け	A	小規模修繕についても、適切に行われている。	
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 事業所内でのプロジェクト会議、研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを設定し、全職員が徹底。定期的に責任者が確認。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	5件の事故があつたが、適切に対応された。 ・遊び中のけが(4件) ・発作による嘔吐、意識混濁により救急搬送。	A		
事故の予兆に対する対応	ドアや蝶番設置箇所への指はさみガードの取り付け。 柱や棚などの角へのクッション材の取り付け。 ピアノ等の足元に転倒防止シート設置。 棚等の両開き扉にフック取り付け。		事故防止への取り組みは行われている。 児童のけがの際には、速やかな対応を心掛けられたい。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	外構部にガラス片・陶器片・針金等が落ちており、その都度職員が改修・破棄している。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 また、学期ごとの訓練や立川警察署の協力による不審者対応研修を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域定例会議へ参加、文化部への協力依頼、地域まつりでの準備・片付け、地域清掃活動などにより、地域や関係機関との連携を進めている。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
学童保育所との連携 他児童館との連携	・学童保育所児童が児童館でも遊べるよう環境整備、職員間の情報共有、連携強化 ・錦児童館共催行事「炭焼き体験」の継続実施、合同卓球大会(2回実施)、ボーリング講習会 ・幸児童館との合同デイキャンプ	A	近隣児童館と幅広い連携を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	3,348,726円の削減。(平成24年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
子どもの居場所づくりと学習支援として、子どもの未来を考える会、立川市社会福祉協議会との共催で、子どもの学習支援事業(めだかのがっこう)の実施、小学生に対する取り組みとして子ども会議の実施、第六小学校への出張児童館を行った。 地域団体の会議に積極的に参加し、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。 利用者については26年度に比べ27年度は減少したが、なお、25年度以前の直営時に比べ利用者は多く、新たな事業を実施し、安定的な運営が行われている。		A	指定管理者導入2年目。初年度であった前年より利用者数は減少したが、導入以前よりは多く、さまざまな取り組みの成果が表れている。 引き続き良好な運営に努め、さらなるサービス向上に期待する。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣学童保育所	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	羽衣学童保育所運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数: 243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤2名、非常勤4名 非常勤賃金: 時給1,000円	B		
利用状況	【学童保育所利用者】内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 11,085人(105.6%)	A	基本的事項については、常勤職員が計画に比べ▲1名と不足した。早期の補充を望む。	
運営企画	新入生歓迎会、子ども喫茶、誕生会、工作週間、スポーツ大会、学童父母会共催夏まつり、ハロウィンパーティ	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (羽衣児童館にて一括して評価)	—	児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案内容については、概ね実施または実施に向けた準備が進んでいる。	
第三者への委託状況	評価対象外 (羽衣児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	自然観察、学童子ども会議	A		
提案の実施状況	館内職員同士の連携、児童館行事への参加・合同行事の実施、児童館地域懇談会への参加、地域ボランティアへの参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適正に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引きを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加している。	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。	
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。	A
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—	事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	
広報・PR等の利用情報の提供	入所案内を常時設置している。市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	年間事業計画を利用者に配布。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	取扱者を限定し、使用時には複数で確認している。鍵書庫での管理を徹底している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。各現場の事例検討研修実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の事故があつたが適切に対応された。 ・児童同士の喧嘩。 ・児童同士の喧嘩による怪我。	A		
事故の予兆に対する対応	ドアや蝶番設置箇所への指はさみガードの取り付け。 柱や棚などの角へのクッション材の取り付け。 片開きドアへのストッパー設置。 スライドドアへの板挟みガード取り付け。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	降所時、児童が道路を左右を確認せず横断し、自転車と接触しそうになった。		事故・苦情等に対しては適切に対応している。	A
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 また、学期ごとの訓練や羽衣児童館との合同訓練を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携に努めている。シルバー人材センターと子ども喫茶を行った。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
児童館との連携 父母会との連携 地域との連携	・学童保育所児童が児童館でも遊べるよう環境整備、職員間の情報共有、連携強化 ・羽衣夏まつりの実施 ・進級お楽しみ会の実施 ・地域と協力しハロウィンパーティーを実施	A	児童館・父母会・地域と幅広い連携を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	羽衣児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>羽衣学童保育所では、月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作教室を、季節行事としてハロウィンパーティー、父母会共催行事として、羽衣夏まつり等の行事を実施した。</p> <p>また、避難訓練、大掃除、豆まきなど児童館行事や合同行事に参加した。</p> <p>地域との連携については、児童館地域交流会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。</p> <p>なお、学童の運営については、安定した運営に取り組んでいる。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成27年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
富士見児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成26年4月1日から平成31年3月31日(5年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	富士見児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	南富士見学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）

A

評価理由等：

平成26年度から児童館、併設学童保育所を一体で指定管理者制度を導入した富士見児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の南富士見学童保育所も土曜日の延長保育を実施した。児童館の利用者が平成27年度減少しているが、ともに安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市富士見児童館		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコーポ		平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
1	富士見児童館運営管理	子ども育成課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	ガイドライン並びにマニュアルを基準として運営。事業計画書に基づき計画的に実施した。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項を確認している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合い、おたよりや利用案内の配布により利用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤3人、非常勤5人 非常勤賃金: 時給1,000円	A		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計 14,449人(88.2%) 個人利用 13,841人(88.3%) 団体利用 187人(165.5%) 館外行事 421人(70.4%)	A		
運営企画	子どもの日企画、宿泊行事、季節行事(ハロウィンパーティ・クリスマスパーティ・伝承遊び大会)、学童父母会共催児童館まつり、他館との合同行事(アイススケートに行こう)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入: 50,952,913円(指定管理料) 支出: 50,189,573円 事業収支: 763,340円 人件費比率: 79.8%	A	利用者は前年度より減少した。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案のあった企画等は概ね実施されている。	
第三者への委託状況	館内・窓ガラス清掃、害虫駆除、非常通報装置保守、カーテン清掃、消防設備保守、建築設備定期検査	A		
新たな取り組みの状況	中高生に対する取り組み(ゲーム大会) 他学童との連携(けん玉教室・昔遊び)	A		
提案の実施状況	畑作り、乳幼児と保護者の居場所、食育事業、各種子育て講座、工作行事、子ども会・青少健・学校等との連携、児童館対抗ドッジボール大会	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接客対応ともに、適切に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルにそつて業務を実施している。	A
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットの発行。市ホームページへのおたより掲載、児童館独自ホームページによる情報発信。	A	前年度に開設準備中だったホームページも開設し情報の提供を行った。	
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
小規模修繕	一輪車修理、ドアのクローザー交換	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、事業本部、事業所長、事業所副所長、エリアマネージャーが巡回して確認している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報取り扱い規程の実施、複数人での確認、鍵付き書庫での管理。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施。 事業所内でのプロジェクト会議、研修の実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	5件の事故があったが適切に対応されている。 ・遊び中の怪我(4件) ・児童同士の喧嘩。	A		
事故の予兆に対する対応	体を動かして遊ぶ中で、子どもが感情的になるケースもあり、職員同士で連携して対応するようにした。		事故・苦情等に対しては適切に対応している。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	鍵の受渡しが不十分のため、早出職員が開館できなかった。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 学童保育所との合同避難訓練を2回実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域懇談会の開催、富士見青少健、富士子連との連携、たまがわ未来パークまつりへの出店などにより、地域との連携を進めている。	A	地域との連携は図られた。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
子ども主体の運営 児童館の有効活用 乳幼児事業の拡大 地域団体との連携	・子ども会議の定期的な実施 ・子育てひろばとの連携による貸館利用 ・保護者の多様なニーズに応える講座の実施 ・祭り等への地域(自治会等)の参加	A	地域や様々な団体等と幅広い連携を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	3,549,523円の削減。(平成24年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
自然に触れる機会として、畑づくりを行い子どもたちと土を耕すところから一緒に行った。また、毎月工作行事として母、父の日工作などを身近な材料を使い工作を行った。			利用者数が減少していることから、行事等の企画について検討していただきたい。	
乳幼児親子の事業として子育て講座を実施するなど力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。		A	総合的には管理・運営状況は一定の水準にあると判断し、A評価とする。	A
地域団体の会議に積極的に参加し、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。				
小学生に加え中高生や乳幼児親子の利用により、異年齢同士の交流ができた。				
以上のように、新たな事業を実施し安定的な運営が行われているが、平成26年に比べ27年は利用者が減少しており、さらに行事等企画を検討する必要がある。				

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市南富士見学童保育所		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコーポ		平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
2	南富士見学童保育所運営管理	子ども育成課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	全職員が設置目的を理解し運営事項を行えるよう、定期的に確認している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を図っている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数: 243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤2名、非常勤7名 非常勤賃金: 時給1,000円	A		
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 46人 延べ利用人数 8,506人(93.1%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
運営企画	入所歓迎会、進級を祝う会、誕生日会、買い物おやつ、スポーツレク、子ども喫茶、工作週間、季節行事(ハロウィンパーティ・クリスマス会)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (富士見児童館にて一括して評価)	—	児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案内容については、概ね実施されている。	
第三者への委託状況	評価対象外 (富士見児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	ハロウィンパーティー、買い物おやつ、たまがわ・みらいパークへ行こう	A		
提案の実施状況	館内職員同士の連携、児童館行事への参加、合同行事の実施、子ども喫茶、児童館の地域交流への参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の手引書を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内研修、外部研修に参加。	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。	
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。	A
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—	事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	
広報・PR等の利用情報の提供	入所案内を常時設置している。市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	館内に常設している。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、定期的に所長及び事業本部が巡回して確認している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報に関わるものは鍵付金庫に保管し、データはパスワードを付けて保護している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修、事業所内でのプロジェクト会議、研修を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の事故があつたが、適切に対応された。 ・遊具からの落下による怪我。	A		
事故の予兆に対する対応	保育室内の家具の整備、高い位置の本棚の配置換え、工具の放置がないようチェック管理簿の徹底。		事故・苦情等に対しては、適切に対応された。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	児童が本棚から飛び降りると同時に乗っていた板が抜けた。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理担当を設け、責任者、担当を中心に防止のための取り組みを図っている。 児童館との合同避難訓練を2回実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携に努めている。	A	地域や関係機関との連携構築に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
子ども主体の運営・活動	ルールやトラブル等に対し、子ども達自身で考え解決できるようしている。また行事も子どもたちが運営・活動できるようにしている。	A	子どもの自主的な運営・活動の推進を促した。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	富士見児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>南富士見学童保育所では、月毎に誕生日会、スポーツ大会、工作教室を、季節行事としてハロウィンパーティー・クリスマス会、買い物おやつ等の行事を実施した。</p> <p>また、手芸の日、おりがみの日など児童館の行事に合同行事として参加した。地域との連携については、子ども喫茶の実施や児童館地域交流会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。</p> <p>なお、学童の運営については特に問題なく実施された。</p>		A	児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成27年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
錦児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社サクセスアカデミー	平成27年4月1日から平成32年3月31日(5年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	錦児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	錦学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

平成27年度から、児童館と併設学童保育所を一体として指定管理者制度を導入した。

錦児童館は、日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の錦学童保育所も土曜日の延長保育を実施した。

児童館では地域連携でのPR不足等、学童保育所では食品の提供で管理不十分や連携不足等があったが、ともに安定した運営に取り組んだ。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容		
S		仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A		仕様書等で定められた水準に達している		
B		仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C		仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市錦児童館		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
株式会社サクセスアカデミー		平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	
事業番号		事業名称	事業担当課
1		錦児童館運営管理	子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。また計画段階で利用者のニーズに応え、柔軟な計画・立案を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	ミーティングでの伝達及びガイドラインを確認している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	行事を多くし過ぎず、いつでも誰もが遊べる空間作りを念頭に置いている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は21:00まで) 職員配置: 常勤5人、非常勤5人 非常勤賃金: 時給910円以上	A		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計 22,722人(134.8%) 個人利用 21,652人(143.9%) 団体利用 1,026人(74.1%) 館外行事 44人(10.3%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	運動会、宿泊行事、進級お祝い会、まんぼうまつり、おやこ交流会、地域交流会、マイキャラバトル、他児童館合同行事(炭焼き体験)	A	利用者は多様な企画の実施等により指定管理者導入前よりも大幅増となった。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入: 49,294,520円(指定管理料) 支出: 50,603,433円 事業収支: ▲1,308,913円 人件費比率: 76.5%	A	導入初年度であるため、収支はマイナスとなった。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	傷害・賠償保険 支払限度額: 5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。 ※傷害保険が市直営時に比べやや少ない保障内容	B	損害保険等については、市直営時と同程度の内容までの引き上げを図られたい。	
第三者への委託状況	臨床心理士巡回、エレベーター定期点検、空調清掃、建物検査、カーテンクリーニング、樹木せん定、じゅうたんクリーニング、シンクロヒーター点検、受水槽タンク清掃	A	提案のあった企画等は概ね実施されている。	
新たな取り組みの状況	企業とのコラボレーション(マイキャラバトル)	A		
提案の実施状況	地域在住の積極的採用、年齢に合わせた行事企画、進級お祝いパーティ、まんぼうまつり、1年目指導員ガイド研修、臨床心理士巡回、情報の共有・研修参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	ガイドラインに従い、挨拶・応対等がきちんとできるよう常に心がけている。	A		
マニュアルの整備	「にじいろ育成ガイド」	A		
研修・教育の実施状況	ガイド研修、ステップアップ研修、レベルアップ研修、マネジメント研修	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルにそつて業務を実施している。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に掲示している。	A	利用者アンケートを実施し、結果を館内で掲示している。	A
広報・PR等の利用情報の提供	オリジナルパンフレットを作成している。また、児童館独自ホームページにより周知している。	A	オリジナルパンフレットの作成、ホームページでの施設案内等の周知を行っている。	
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	年に2回総括を行い、業務の反省、見直しを実施。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	トイレの便座交換、自動ドア修理、空調冷却装置修理、漏電修理、ガラス交換	A	小規模修繕についても、適切に行われている。	
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内の規定に従って指揮監督している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	社内の規定に従って措置を講じている。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	職員研修において実施するとともに、教育を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「にじいろ育成ガイド」でルールを定めている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の苦情があったが、適切に対応された。 ・指導員の対応に対する不満(2件)	A		
事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハット事例集を作成し、全員で共有している。		苦情等に対しては適切に対応している。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	夜間に高校生がバスケットボール中にガラスを割った。		事故防止への取り組みは行われている。	
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを作成し、事故防止に取り組んでいる。 避難訓練(4回)を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会を実施し、意見交換を行うとともに、近隣施設との意見交換、遊戯室の貸出、学習館事業への協力を実行している。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	11,127,372円の削減。(平成26年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>小学生事業として「じどうかんに泊まろう」、中高生事業として「進級お祝い会」を実施、児童館全体として「まんぼうまつり」、また、企業とコラボレーションした事業等を実施した。</p> <p>毎月、自治会や学校など地域団体の会議に積極的に参加し、情報交換に努め、また、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。</p> <p>乳幼児親子の事業として保護者と参加できる運動会や子育てひろば以外の時間にも利用できる「ゆ一かりタイム」等を実施し子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>以上のように事業を実施し、安定的な運営が行われている。</p>		A	<p>指定管理者導入初年度。利用者数は導入前よりも大幅に増加しており、さまざまな取り組みの成果が表れている。</p> <p>引き続き良好な運営に努め、さらなるサービス向上に期待する。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市錦学童保育所		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
株式会社サクセスアカデミー		平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称		事業担当課
2	錦学童保育所運営管理		子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。また計画段階で利用者のニーズに応え、柔軟な計画・立案を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	ミーティングでの伝達及びガイドラインを確認している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	行事を多くし過ぎず、いつでも誰もが遊べる空間作りを念頭に置いている。	A		
事業の継続性の担保	情報共有化と記録に努め、職員の退職や異動時の引継期間を十分とり、事業継続性を確保している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数: 243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間: 放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置: 常勤4名、非常勤3名 非常勤賃金: 時給910円以上	A		
利用状況	【学童保育所利用者】()内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 10,353人(94.6%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	お誕生日会、工作行事、自作工作物での遊び、まんぽうまつり、季節行事(ハロウィンパーティー、クリスマス会)、クッキング、おはなし会、映画会・観劇会	A	児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。	A
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (錦児童館にて一括して評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	傷害・賠償保険 支払限度額: 5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。 ※傷害保険が市直営時に比べやや少ない保障内容	B	損害保険等については、市直営時と同程度の内容までの引き上げを図られたい。	
第三者への委託状況	評価対象外 (錦児童館にて一括して評価)	—	提案内容については、概ね実施されている。	
新たな取り組みの状況	保護者会でのスライドショー上映、映画会、進級を祝う会への保護者参加	A		
提案の実施状況	地域在住者の積極的な採用、1年目指導員ガイド研修、臨床心理士巡回、情報の共有・研修参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	ガイドラインに従い笑顔で元気に挨拶を心掛けている	A		
マニュアルの整備	にじいろ育成ガイド	A		
研修・教育の実施状況	ガイド研修、ステップアップ研修、レベルアップ研修、マネジメント研修	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。	
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。	A
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—	事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	
広報・PR等の利用情報の提供	入所のしおりに併せオリジナルパンフレットを配布。	A		
事業計画・報告書の公表	おたよりや保護者会で報告。	A		
公平・公正利用の確保	公正・公平に利用できている。	A		
業務の点検	年に2回総括を行い、業務の反省、見直しを実施。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内の規定に従って指揮監督している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A	書類の取扱いについては適切な管理をするよう改善を図られたい。	
適正な管理	利用者からの申請書類を紛失する事象が発生した。	B		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A	その他研修及び取扱いのルール等についてはマニュアルに基づき、適切に実施されている。	A
研修・教育の実施	職員研修において実施するとともに、教育を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「にじいろ育成ガイド」でルールを定めている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	5件の事故があった。 ・降所中の怪我=適切に対応。 ・降所時間間違い=適切に対応。 ・未加熱の食品の提供=職員の連携を図ること。 ・賞味期限切れの食品の提供=食品の管理を徹底すること。 ・利用者からの申請書類の紛失=文書の管理を徹底すること。	B	食品の提供・書類の管理については、職員の管理の徹底を求める。	
事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハット事例集を作成し、全員で共有している。		安全管理に関する事項は利用者の生命・身体に関わる事項であることを、改めて認識していただきたい。	B
具体的にヒヤリ・ハットした状況	交通機関の遅延による常勤職員の開館時間への遅れにより、他の指導員が児童を受け入れた。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを作成し、事故防止に取り組んでいる。自然災害、机上訓練等の避難訓練(4回)を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	児童館と協力し、地域住民や関係機関との連携に努めている。	A	地域住民との連携は図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—	—	—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	錦児童館にて一括して記載。	—	—	—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
錦学童保育所では、月毎に誕生日会、工作教室を、季節行事としてハロウインパーティーやクリスマス会、バレンタイン工作等の行事を実施した。また、まんぼうまつりなど児童館の行事に合同行事として参加した。地域との連携については、錦まつりや映画会、おはなし会への参加や児童館地域交流会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。なお、学童の運営については、おおむね順調に実施されたが、衛生管理や情報管理については、注意すべき点や改善すべき課題があった。		A	指定管理者導入初年度。食品の提供等の管理が行き届いていない部分はあったが、児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様の水準に達している。	

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成27年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
上砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	平成27年4月1日から平成32年3月31日(5年)	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	上砂児童館運営管理	子ども育成課	B	B
2	上砂第三学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	B
評価理由等：	
平成27年度から、児童館と併設学童保育所を一体として指定管理者制度を導入した。	
上砂児童館は日曜開館、利用時間の延長、事業の充実や地域との連携等に取り組み、併設の上砂第三学童保育所も土曜日の延長保育を実施した。	
児童館で年度初期に一部児童のトラブルへの不手際、地域から連携不足の指摘、また、短期間での館長の交代など一時安定的な運営が損なわれた。	

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市上砂児童館		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
1	上砂児童館運営管理	子ども育成課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議や連絡票で周知を図った。	A	施設の設置目的は十分理解されているが、責任者である館長の不在期間があるなど、適正に管理・運営されていない部分があった。	B
利用者の公平・公正利用の確保	共通ルールを作成し、有効利用できるよう掲示した。	A		
事業の継続性の担保	事務引継書を作成し運営したが、館長交代時に不在期間(1か月)があった。	B		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00 職員配置: 常勤4人、非常勤9人 非常勤賃金: 時給920円以上 館長退任による不在期間あり	A		
利用状況	【利用者数】()内は対前年度比 合 計 25,039人(99.6%) 個人利用 24,305人(105.2%) 団体利用 0人(皆減) 館外行事 734人(75.5%)	A	基本的事項については、館長の不在期間はあったが、概ね事業計画どおり実施されている。	
運営企画	宿泊行事、季節行事(夏まつり・ハロウィンパーティ・クリスマス会・正月すごろく大会)、じゃが芋焼き、カフェ、WakuWakuまつり	A	給与単価については、法令等遵守されている。	B
事業収支 経営状況分析指標	収入: 49,566,800円(指定管理料) 支出: 50,807,894円 事業収支: ▲1,241,094円 人件費比率: 77.7%	A	利用状況については、利用者数は減少した。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	提案の実施状況については、バス事業について未実施であった。	
第三者への委託状況	カーペットクリーニング、非常通報装置点検、窓ガラス清掃、樹木のせん定・草刈り	A		
新たな取り組みの状況	新規利用者に対する取組(ゲーム形式の施設案内) サッカー大会 季節行事(凧揚げ・節分)	A		
提案の実施状況	バス事業(工場・水族館等の見学)の未実施。	B		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接客対応とともに、マニュアルを用いて行っている。	A		
マニュアルの整備	児童館マニュアル、児童館の職務、児童館ガイドライン、虐待防止マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	連絡・報告・相談研修、リクリエーション研修、個人情報に関する研修	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A	業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内に表示している。	A	利用者アンケートを実施し、年度中に結果を公表した。	A
広報・PR等の利用情報の提供	市の児童館だよりの発行、ホームページの掲載は行っているが、独自の利用案内は準備中であり、ホームページ等での周知も検討中である。	A	利用案内・独自ホームページの立ち上げについては、早期の実施が望まれる。	
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	公正・公平に利用できるシステムが構築されている。設置目的外の利用はない。	A		
業務の点検	点検表に基づき、週1回程度行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
小規模修繕	トイレ個室ドア修繕、給湯室鍵の取り付け	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護管理者を設置し、チェック体制を確立している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報は施錠できる場所に管理し、保存期限が過ぎたらシュレッダーで廃棄している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報研修及び年1回のテストを義務付けてい る。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、社内に掲示している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	7件の事故・苦情があつたが適切に対応されている。 ・児童の怪我(4件) ・団地内で鬼ごっこへの苦情。 ・児童館の子供が玄関を蹴り、石を投げてきたとの苦情。 ・中学生が入室禁止の事務室奥から包丁を持ち出した。	A		
事故の予兆に対する対応	卓球台、水飲み場の角に養生を行い、利用中は指導員が声かけ・指導を行っている。		事故防止への取り組みは行われている。 児童の怪我の際には、速やかな対応を心掛けられたい。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルや施設点検表を使用し、事故防止に取り組んでいる。防犯訓練(2回)、学童との合同防災訓練(2回)を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	運営協議会を開催するとともに、地域の協議会へ参加した。また地域パトロール、清掃活動も実施した。ただし一時期地域から連携が図れていないとの声があった。	B	当初、地域から連携が図られていないとの声があつたことから、円滑な連携を図られたい。	B
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。			
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	9,978,952円の削減。(平成26年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>児童館に泊まろうでは地域のジュニアリーダーの協力により、昭和記念公園へのフィールドワークなどを実施した。また、毎月の行事として各種のスポーツや工作を行った。季節行事としてはハロウィン、クリスマス、正月の行事を実施した。</p> <p>上砂児童館夏まつりを図書館、地域住民、学童保育所保護者と連携し実施した。児童館では運営協議会を開催し、地域連携に努めているが、一時期地域から連携等について不満の声があつた。</p> <p>27年度初期、一部児童によるトラブルの扱いへの不手際について、地域から連携不足の指摘もあり、また、短期間での館長の交代など、一時安定的な運営が損なわれた時期があつた。</p>		B	指定管理者導入初年度。各種の取り組みを実施したが、地域連携での不満の声、館長の交代及びその間の不在期間、提案のあつたバス事業の未実施など、仕様書等で定められた水準に達成していない部分が認められ、B評価とする。指摘事項については、改善を行い、事業の安定運営を図っていただきたい。	B

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市上砂第三学童保育所		公募	子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社		平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
2	上砂児童館運営管理	子ども育成課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月1回の職員会議や連絡票で周知を図った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	共通ルールを作成し、有効利用できるよう掲示した。	A		
事業の継続性の担保	事務引継書を作成し適正に運営した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間: 放課後～19時(学校休業日は10時～19時) 職員配置: 常勤3名、非常勤2名 非常勤賃金: 時給920円	A		
利用状況	【学童保育所利用者】内は対前年度比 定員数 60人 延べ利用人数 8,055人(80.3%)	A		
運営企画	お誕生日会、三期休業前のお楽しみランチ、伝承遊び、ハロウィン工作、バスボム作り	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外 (上砂児童館にて一括して評価)	—	賃金単価については、法令等遵守されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。	
第三者への委託状況	評価対象外 (上砂児童館にて一括して評価)	—		
新たな取り組みの状況	特になし。	—		
提案の実施状況	特になし。	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話応対・接遇対応ともに、マニュアルを用いて行っている。	A		
マニュアルの整備	学童保育所の職務	A	利用者に対しては、丁寧な対応を心掛けている。	
研修・教育の実施状況	連絡・報告・相談研修、リクリエーション研修、個人情報に関する研修	A	業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。	
所管部署との連携・連絡	定期的、また随時連絡が行われている。非常時の連絡体制も整備されている。	A		A
利用者アンケート等の実施	市直営の学童保育所と合わせて、市が実施。	—	事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	
広報・PR等の利用情報の提供	毎月のおたより発行は行っているが、独自の利用案内は準備中であり、ホームページ等での周知も検討中である。	A	利用案内・独自ホームページの立ち上げについては、早期の実施が望まれる。	
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムが構築されている。設置目的外の利用はない。	A		
業務の点検	点検表に基づき、週1回程度行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護管理者を設置し、チェック体制を確立している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	個人情報は施錠できる場所に管理し、保存年限が過ぎたらシュレッダーで廃棄している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報研修及び年1回のテストを義務付けてい る。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、社内に掲示している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	1件の事故があつたが、適切に対応された。 ・遊び中の怪我。	A		
事故の予兆に対する対応	卓球台、水飲み場の角に養生を行い、利用中は指導員が声かけ・指導を行っている。		事故・苦情等に対しては、適切に対応された。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	研修・会議での確認により、事故防止に取り組んでいる。 避難訓練、児童館合同避難訓練、防犯訓練を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	運営協議会を開催するとともに、放課後クラブや地域の行事やお祭りに参加した。	A	地域や関係機関との連携構築に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。	—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	上砂児童館にて一括して記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
	上砂第三学童保育所では隔月毎に誕生日会を、季節行事としてハロウィンパーティー やクリスマス会、三期休業前にはお楽しみランチ等の行事を実施した。 また、上砂児童館夏祭りなど児童館の行事に合同行事として参加した。地域との連携については、児童館運営協議会に参加し、学童の普段の様子を地域の方々へ伝えた。 なお、学童の運営については特に問題なく実施された。	A	指定管理者導入初年度。児童館との併設のメリットを生かしながら、運営されており、仕様の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容		
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている			
A	仕様書等で定められた水準に達している			
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない			
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である			

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市斎場	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
公益社団法人 立川市シルバー人材センター	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	斎場使用や料金など斎場設置条例や規則に基づき、適正に管理した。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	葬祭事業所長と本部事務局事業係担当者との定期的なミーティングを通じ、理解の浸透に取り組んだ。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	式場及び葬儀日程の予約はすべて先着順とし、公正・公平を期すよう努めた。	A		
事業の継続性の担保	職員等の退職・異動には十分な引継期間を設けるとともに、引き継ぎ後もサポートの取れる体制を確保した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開業日数:366日 開業時間:8:30～20:00 職員配置状況:葬祭事業所長1名、管理・市営葬儀受付・従事就業会員17名 賃金単価:嘱託 月額200,000円 会員 時給930円～1,300円	A		
利用状況	()内は対前年度比 斎場利用件数:320件(102.9%) 市営葬儀利用件数:288件(122.6%) 1階式場:貸出数286回(101.1%) 2階和室:貸出数165回(85.1%) 靈安室:貸出数902回(116.4%)	A		
運営企画	市民マップへ紹介記事を記載(3万枚) 市営葬儀案内チラシを配布(市内全戸・2回) 市営葬儀説明会の実施(13回) 希望団体への出張市営葬儀説明会の実施(2回)	A	適切に人員を配置している。女性会員について人数増や従事業務の拡大など活用をさらに進めている。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入:156,400,507円、支出151,885,916円 (うち指定管理料10,303,000円) 事業収支:4,514,591円 人件費比率:23.6% 外部委託費比率:3.4% 利用者あたり管理コスト:474,643円 利用者あたり市負担コスト:32,197円	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 提案のあった企画等は概ね実施されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	シルバー人材センター総合保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、施設警備、定期清掃、自動ドア保守、冷暖房器具点検、施設検査、ごみ収集、電気設備保守、安全運転講習、コピー機保守、布団カバー等洗濯	A		
新たな取り組みの状況	女性会員の登用	A		
提案の実施状況	葬儀方法の知識習得、市営葬儀の情報提供、女性会員の積極的な登用、自宅葬に対応した体制づくり	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に対応している。アンケート結果でも良好な結果となっている。	A		
マニュアルの整備	業務マニュアル「立川市の葬儀」を整備し、これに基づき、適切に対応している。	A		
研修・教育の実施状況	会議やミーティングを通じ、啓発と指導を行っている。	A	遺族の立場に立って接客を行っており、アンケート結果も良好である。職員の対応は適切に行われている。	
所管部署との連携・連絡	所管部署とは業務連絡会議等により随時、連絡・調整を行っている。 本部事務局担当職員への連絡は、常時可能。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、市に報告している。	A	業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。	A
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行するとともに、チラシの全戸配布、センターホームページ等で周知している。	A	利用は申し込みの先着順としており、公平・公正になされている。	
事業計画・報告書の公表	シルバー人材センター全体の事業計画・報告書を事務所に備えている。	A		
公平・公正利用の確保	式場予約等、全て先着順としている。	A		
業務の点検	会員との会議や面談にて実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき適切に実施しており、常に衛生的な状態となっている。	A		
施設及び設備の保守・点検	マニュアル等の整備をし、事業計画書・協定書に基づき適切に実施している。	A	マニュアル等も整備されており、事業計画書・協定書に基づき、清掃や施設、設備の保守点検が適切に実施されている。	
保安・警備	適切に管理・運営されている。	A		
小規模修繕	ドア交換、襖・障子張替え、置表替え、外壁塗装・屋上防水工事、祭壇用スポットライト修理	A	小規模修繕についても、適切に行われている。簡易な修繕は、隨時対応している。	
備品管理	備品台帳を作成し、常時点検を行っている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	葬祭事業所長の指導の下、適切に実施している。	A		
個人情報等秘密の保持	法人として、個人情報保護要綱を制定し、業務執行している。	A		
適正な管理	一定期間を経過した書類は、本部事務局事業係において管理している。	A	個人情報保護要綱を制定し、要綱に沿い、適切に実施している。	A
再委託の禁止	市の承諾のない再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	会議やミーティングを通じ、啓発を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護要綱を制定している	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A		
事故の予兆に対する対応	照明器具の配線が歩行者等に危険なため、一部を埋設し危険個所を低減させた。		施設や備品の老朽化による事故の予兆、ヒヤリハットの状況はあったが、適切に対応された。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	雨漏り(屋上部分の防水等工事の実施) 急階段(手摺の設置)		マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを整備し、会議・ミーティング・講習会への参加を通じて対応策を指導するとともに、葬祭事業所長を中心にした対応体制を確立している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	施設の性格上、地域に開かれた運営は難しい。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	13,304,814円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
斎場の利用者数については、26年度に比べ27年度は9件増の320件と安定的に推移しており、市民への斎場の周知が行き届いていることが伺える。			毎月の市営葬儀説明会や出張説明会の実施により利用者拡大に向けた努力がなされている。	
施設・設備については、老朽化が進んでおり、定期的に点検・修繕を行ながら使用している状況である。		A	A	
市営葬儀利用者のアンケートにおいては、葬儀の事前打合せに関しては、「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」と回答している方の割合は94%以上と高い支持を得ている。一方、葬儀のお手伝いや司会進行、および返礼品・生花等の品質、通夜ぶるまいの料理の内容については「やや不満」と回答している人の割合も2%弱いる等、改善の余地も残されている。			施設老朽化などの課題に対応しながら、利用者に寄り添った丁寧な運営がなされており、A評価とする。	
斎場や各地の公民館等での「市営葬儀説明会」の開催によって、民間葬儀社と同等の葬儀を安価に行うことができる市営葬儀のメリットを積極的にPRしている。			A	
ここ数年の傾向として、「家族葬」が増加しており、今後もこの傾向は続くと予想される。そのため葬儀規模の縮小傾向により葬祭関連商品取扱手数料収入の減少が予想されるが、引き続き広告掲載やチラシ配布などを通じて、市民に対する市営葬儀周知に取り組むとともに、指定管理費及び使用料収入の効率的な使用を目指し、諸経費の節減等に取り組んでいただきたい。				

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容
S		仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A		仕様書等で定められた水準に達している
B		仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C		仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市総合福祉センター	非公募・特命	福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
立川市社会福祉協議会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画や設置目的に沿って、適切に管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理部門係内での定期的な会議等で、基本的な事項の理解を図った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	館の利用目的に合わせて公平・公正に利用できるよう、申込み開始時期を設定した。	A		
事業の継続性の担保	専任職員以外にも、兼任の職員を置き、業務の共有を行い、事業の継続性を担保した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	【センター管理業務】 開所日数:294日 開所時間:8:30~19:00 嘱託1名:月給185,000円 【身体・知的障害者デイサービス事業】 開所日数:243日 開所時間:9:00~15:30 正規3名、嘱託12名 非常勤16名:時給985円 【高齢者デイサービス事業】 開所日数:243日 開所時間:9:15~16:30 正規1名、嘱託3名 非常勤20名:時給985円	A		
利用状況	【センター管理業務】()内は対前年度比 延べ利用者数33,034名(108.8%) 【知的障害者デイルーム】()内は対前年度比 延べ利用者数:4,971名(99.6%) 【身体障害者デイルーム】()内は対前年度比 延べ利用者数:4,976名(98.1%) 【高齢者デイサービス】()内は対前年度比 延べ利用者数:5,386名(85.1%)	A		
運営企画	【知的障害者デイルーム】 理学療法、作業療法、言語訓練、音楽療法、調理・お菓子作り、臨床美術、1日外出、健康相談、健康診断、避難訓練、家族懇談会 【身体障害者デイルーム】 理学療法、作業療法、プール活動、調理活動・お菓子作り、足浴、一日外出、音楽活動、避難訓練、レクリエーション、臨床美術、季節行事、健康相談、健康診断、家族懇談会 【高齢者デイサービス】 体操、書道、音楽、作品展、花見・紅葉狩り・新年お参り、敬老会	A	基本的事項については、計画通り実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	【センター管理業務】 収入:69,023,978円(指定管理料69,019,600円) 支出:68,960,495円 事業収支:63,483円 【身体・知的障害者デイサービス事業】 収入:169,628,554円、支出:152,825,271円 事業収支:16,803,283円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 【高齢者デイサービス事業】 収入:59,736,127円、支出:60,150,853円 事業収支:▲414,726円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし)	A	運営企画は、利用者や家族のニーズに応え、様々なものを実施した。 全館避難訓練の他、初期消火訓練・参集訓練・備蓄品の取扱い訓練を実施するなど災害対策も強化している。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	介護保険・社会福祉事業者総合保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	警備業務、自家用電気工作物保安管理、消防用設備保守、発電設備保守、エレベーター保守、空調設備保守、自動ドア保守、日常清掃、定期清掃、送水管防食装置定期保守、中央監視盤保守、給排水設備清掃、衛生設備保守及び給湯ボイラー設備保守運転、プール運営、プール可動式床システム保守、建築設備定期検査、運営一般管理、送迎運行、樹木管理	A		
新たな取り組みの状況	災害対策として全館避難訓練を年2回実施したほか、初期消火消防訓練、参集訓練、災害備蓄の取扱い訓練を実施	A		
提案の実施状況	総合福祉センター探検ツアー、共生社会推進のための啓発イベント	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇マニュアルに基づき、適切に対応するとともに、総合受付窓口案内を設置した。	A		
マニュアルの整備	接遇マニュアル、電話受付マニュアル、出退勤時館内点検・手順マニュアル、介護職員業務マニュアルを整備し、適切に対応している。	A	接遇に関しては、良好に行われている。	
研修・教育の実施状況	年に3回研修を行っている。介護職員は別途介護研修も実施。	A	各種法令を遵守するとともに、関係組織に加盟し研修等に参加している。	
所管部署との連携・連絡	定期的な報告のほか連絡・調整を月に数回行っている。また、非常時等は、ただちに市へ連絡する体制が取られている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回実施し、公表している。	A	利用者アンケートを年1回実施し、結果を公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行するとともに、ホームページにも施設案内・事業所を事業ごとに掲載している。	A	施設利用についての広報・情報提供にも取り組んでいる。	
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を公表している。	A		
公平・公正利用の確保	利用申し込み日を定めることで、公平・公正に利用できるようにしている。	A		
業務の点検	常に点検している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている。	A	施設が老朽化しているものの、清掃や施設・設備の保守点検は、事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。	
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	電灯スイッチの移設、床下収納型コンセントの交換、畳の交換、壁紙・障子の貼り替え、排水管水漏れ修繕、トイレ修理、配水管水漏れ修繕、縁石交換、雨漏り修繕、エアコン修繕、雑用水給水ポンプ部品交換、受水槽ポンプ部品交換、送風機部品交換、エレベーター部品交換、排煙灯部品交換、蛍光灯照明安定器交換	A	小規模修繕についても、迅速な対応に努めている。	
備品管理	適切に管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		
適正な管理	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A	立川市社会福祉協議会個人情報保護規程を制定し適切に実施している。	
再委託の禁止	個人情報に関する再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	職員会議等の場において、個人情報保護規程を周知している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程に基づき適切に実施されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由・状況等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	誤飲や転倒、食材の放置、利用者の服の取り違え、送迎車両の軽微な自損事故が複数回発生した。 事情に応じて、適切に処理した。	A		
事故の予兆に対する対応	「ヒヤリ・ハット報告書」の会議での読み上げや閲覧等により、職員間で共有している。		ヒヤリ・ハット事例は職員間で共有し、事故防止に努めている。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	転倒や軟膏の取り違え、車いすの固定不足など、9件の事例があった。 職員間で共有化し、事故の未然防止に生かしている。		災害発生時や事故発生時に備え、避難訓練を定期的に実施し、体制を構築している。	A
事故防止対策の取り組み状況	立川市社会福祉協議会職員募集マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを定め、立川市及び関係機関との連絡体制を整備している。 避難訓練については、全館で年1回実施。生活介護支援事業所にて月1回実施、高齢者デイサービスでは年数回実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川市社会福祉協議会として、関係機関との連携を強化し、地域福祉の推進拠点として施設を有効に活用するとともに、地域での懇談会などを実施し、地域課題を把握し運営に生かしている。	A	積極的に地域や関係機関との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし	特になし。			—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	【施設管理経費】 5,684,886円の削減。(平成23年度決算との比較)		導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由・状況等	
◆ 総合評価				
法令等を遵守し、実施計画に基づき管理・運営が行われている。 計画のとおり事業を実施できている。 職員の接客・電話対応等の接遇は良い。 屋内外の様々なイベントや健康相談・診断等の企画運営のメニューが豊富である。 利用者からのアンケート調査やセルフモニタリング、第三者評価の導入など事業の点検を実施している。 各種マニュアル等が整備されていて、それに基づき事業を実施している。 利用者の安全性確保や安心利用を含め、効率的、効果的な管理運営がなされている。 地域への参加やボランティアの受け入れなどで地域や関係機関との連携を図っている。		A	利用者ニーズ等に応え、多くの運営企画が実施されている。 積極的に福祉体験やボランティアの受け入れなどに取り組み、地域の福祉向上に貢献している。 管理運営は適切にされたと判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柏地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 至誠学舎立川	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	立川市との基本協定に基づき設置目的に沿った通所介護事業の管理運営のために、年度事業計画を作成し、実施している。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	指定管理者としての業務内容を年度事業計画に明記した上で、日々の業務連絡会や朝礼等において職員に対し説明を実施している。	A	
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法・関連法令を遵守した人員・運営基準に則り運営している。具体的なサービス提供に当っては介護支援専門員の作成する「居宅サービス計画」に基づき「通所介護計画」を作成し、利用者の同意の上でサービスを提供している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。 A
事業の継続性の担保	全職員対象の勉強会や新任研修の実施、業務チェックシートの活用などにより、事業の継続性を確保した。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	営業日数: 一般 296日 認知症対応型 311日 営業時間: 8:30～17:30 職員配置: 25人(正規4人、臨時21人) 時給: 介護 910～1,020円 看護 1,370～1,670円 療法士 2,020円	A	
利用状況	()内は対前年度比 一般型通所介護: 6,904人(98.7%) 認知症通所介護: 2,568人(102.7%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。
運営企画	お花見ドライブ、初夏のお出かけ、夏祭り、長寿お祝い会、秋のお出かけ、作品展示会、初詣、地元交流会	A	賃金単価については、法令等遵守されている。
事業収支 経営状況分析指標	収入: 96,153,420円、支出: 96,033,936円 事業収支: 119,484円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率: 63.5%	A	利用者数は、前年度とほぼ同水準となっている。
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額: 1.5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	多くの企画を行い参加が多く、利用者から好評を得ている。
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務、空調設備及び給湯設備保守点検、消防設備保守点検、床・窓ガラス清掃、機械警備、自動ドア保守点検、入浴用リフト保守点検	A	
新たな取り組みの状況	通所介護における機能訓練サービス利用者に対する職員の自宅訪問による自宅での生活状況の把握	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	「ホームの手引き」に基づき適切に対応している。アンケートでは、94.6%の利用者・家族が「満足」「まづまず満足」と評価した。	A		
マニュアルの整備	ルーチン業務マニュアル、相談員業務マニュアル、配膳マニュアル、服薬手順マニュアル、連絡係業務マニュアル、感染予防対策マニュアル、送迎マニュアルなどを整備。	A		
研修・教育の実施状況	事業所・至誠ホームの年度研修計画に則り実施。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。	
所管部署との連携・連絡	月次報告や随時の報告を行っている。非常時・事故等の連絡体制は、取り扱い要綱に基づき実施している。	A	毎日業務終了後、自己点検票にて業務点検を行っている。	A
利用者アンケート等の実施	アンケートを実施し、結果を利用者・家族へ発行している「柏だより」にて報告している。	A	利用者アンケートを年1回実施し、結果を利用者・家族へ発行している「柏だより」にて公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	利用者用・ケアマネジャー用のパンフレットを作成し、見学時等に渡している。HPでも公表。	A		
事業計画・報告書の公表	閲覧用として施設内に設置している。	A		
公平・公正利用の確保	介護保険法を遵守し、公平・公正にサービスを提供している。	A		
業務の点検	毎日業務終了後、自己点検票にて行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒を行っている。環境美化担当職員を定めている。	A		
施設及び設備の保守・点検	年度計画やマニュアルに基づき、業務を行っている。	A	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒を行っている。	
保安・警備	保管箱を設置し、鍵を管理している。夜間は委託により機械警備を行っている。	A		A
小規模修繕	利用者車椅子用トイレ内洗面台修繕、エアコン修繕、浴室シャワー水栓修繕、駐輪場地面(タイル面)止水弁修繕	A	小規模修繕について、適切に行われている。	
備品管理	備品台帳を作成・管理し、年1回確認作業を実施。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人「個人情報に関する基本規程」に則り、管理人の監督をしている。	A		
個人情報等秘密の保持	市個人情報保護条例を遵守し、日々の業務を遂行している。	A	年1回の研修会を実施している。	
適正な管理	法人「個人情報に関する基本規程」「個人情報に関する文書等管理規程」に基づき適正に管理している。	A	個人情報に関する取り扱いについては、法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応している。	A
再委託の禁止	第三者への委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	年1回研修会を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	転倒が1件発生したが、適切に対応された。	A		
事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハット報告書を作成の上、連絡会で報告し、要因分析と防止策を検討し実施している。		大きな事故・苦情は特になかった。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	3件のヒヤリ・ハットがあった。 ・認知症利用者の無断外出未遂。 ・退勤時の窓の施錠忘れ。 ・転倒リスクが高い利用者がベッドから車いすへ自力で移動。		手引きやマニュアルにて責任者の明確化、連絡・対応体制や取り組みを定めて実施している。	A
事故防止対策の取り組み状況	「ホームのてびき」「柏センターセクションマニュアル」に基づき、事故防止に取り組んでいる。 年3回の防災訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	シルバーピアとの情報交換や、地域包括支援センター主催の会議出席、ボランティアの受け入れを行っている。また自治会の納涼祭り等に参加するとともに、福祉用具の貸し出しを行っている。	A	地域の自治会・地域包括支援センター、シルバーピア等との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前決算額との比較	5,107,756円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
利用者アンケートの実施結果では、サービスの利用については95%の方が「満足」「まずまず満足」と答えており、各サービス内容では入浴・送迎、職員の勤務態度・ケア姿勢、施設・設備について90%を超える方が「満足」「まずまず満足」と答えている。指定管理者内外での研修会・勉強会への参加により、サービス満足度を高める努力をしている点は評価したい。		A	施設の老朽化に適切に対応し、運営されている。 丁寧な応対を心掛け、アンケートでも良好な結果となっている。 仕様書等の水準に達していると判断し、A評価とする。	A
施設設備については定期的な点検、小規模の修繕を計画的に行っており、適切な維持管理を行っている。また、リフト付き送迎車両の購入をし、利用者の通所の安全性・快適性を図っている。				
安全管理についてはマニュアルを作成し、業務連絡会等で情報共有を行つており、事故防止・再発防止に努めている。防災訓練に関しても、年3回実施している。				
地域及び地域住民との連携についても、夏祭り等の行事等を積極的に実施し、複数のボランティアを受け入れるなど、地域貢献も行っている。				
以上のことから、仕様書に定められた基準に達していると判断し、総合評価はAとする。				

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容		
S		仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A		仕様書等で定められた水準に達している		
B		仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C		仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 恵比寿会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	運営方針・規定に基づき、人員配置や施設管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入社時に施設の説明や地域特性を説明している。内部監査・第三者評価機関監査を実施し、目的に沿った取り組みが行われているか調査し改善につなげている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	市内の利用希望者に適切に対応できるよう、居宅事務所との連携を緊密に図っている。	A		
事業の継続性の担保	ベテラン職員を法人内異動により配置し、業務を安定的に実施できるよう努めるとともに、業務平準化を図るためマニュアルを更新した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:一般・予防通所介護 259日 認知症通所介護 310日 営業時間:8:30～18:00 (サービス提供時間 9:00～17:00) 職員配置:23名(正規:5名 臨時:18名) 時給:介護職 910～1,000円 介護福祉士 950～1,060円 看護師・准看護士 1,650～1,800円 その他職員 950～1,000円 障害者雇用での自立訓練対象者 910円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実行されている。	
利用状況	()内は対前年度比 一般・予防通所介護:7,303人(94.6%) 認知症通所介護:1,825人(89.2%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	お花見、体力測定会、夏祭り、敬老会、作品展示会、初詣、節分、雛祭り	A	多くの企画を行い参加が多く、利用者から好評を得ている。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入:92,805,872円、支出:86,476,608円 事業収支:6,329,264円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:77.7%	A	利用者数は、前年度と比較して減少した。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	電気設備保守、警備設備保守、清掃業務、消防設備点検、貯水槽点検、自動ドア保守、リハビリ機器点検、植栽せん定・除草	A		
新たな取り組みの状況	配膳専門職員の導入、自立支援に向けたレイアウト変更、経営品質向上セミナーの実施	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者、来所者への挨拶を徹底している。 相手の気持ちを考えての言葉使い、マナー全般においては、概ね好評である。	A		
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置するとともに内部監査を実施し、適宜見直しながら業務を実施している。	A		
研修・教育の実施状況	経営品質セミナーや研修会を実施し、それを職員へ周知するための勉強会、ミーティング時の教育を実施。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。	
所管部署との連携・連絡	緊急連絡の体制を整備し、適宜、市と連絡・調整している。	A	経営品質セミナー・ミーティングを通じ、教育等を意欲的に実施している。	
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果の公表をしている。	A	利用者アンケートを年1回実施し、結果を施設内掲示・ホームページ掲載等により公表している。	A
広報・PR等の利用情報の提供	広報紙の発行、パンフレットやホームページによる情報提供を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設内に掲示し、公表している。	A	第三者評価制度を実施し、業務の改善に取り組んでいる。	
公平・公正利用の確保	要介護度による区別を行わず、順次希望者を受け付けている。 通常営業に支障のない時間帯に、勉強会・会議等に無償で場所を提供している。	A		
業務の点検	第三者評価制度を実施し、改善に取り組んでいる。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	清掃年間計画に基づき実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	利用者の安全を第一に施設状況を把握し、設備維持管理計画に基づき実施している。	A		
保安・警備	定位位置での鍵の保管及び鍵保持者をチェック表で管理している。 毎日チェック表で施錠等の保安点検を行っている。	A	施設状況を把握し、対応しながら管理・運営を行っている。	A
小規模修繕	ボイラー故障	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理している。備品は良好な状態を保持している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人の個人情報管理規程により、各部署責任者を明確化している。	A		
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報保護条例」を準用。	A		
適正な管理	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適正に管理している。	A	市個人情報保護条例を準用し適正に管理するとともに、学習会等で職員への周知に取り組んでいる。	A
再委託の禁止	第三者への委託は、行っていない。	A		
研修・教育の実施	法人学習会を行い、再確認している。また、新人には入社時研修で認知させている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	法人の個人情報取り扱い規定に則り、適切に運用している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の事故・苦情等があったが、適切に対応された。 ・イスの肘掛けの間に指を挟んだ。 ・帰宅後、表皮剥離の報告(確認するも原因不明) ・送迎待ち時に車いすごと後方へ転倒。 ・自転車を勝手に移動し、サドルを汚した。	A		
事故の予兆に対する対応	事故発生時に報告書を作成し、改善策を全職員で情報共有し、事故防止を図っている。		事故・苦情については、適切に対応され、解決している。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	利用者が来所時より体調不良のため緊急搬送を行った。 送迎ポイントに不在のため、包括職員とともに利用者を発見し緊急搬送。		ヒヤリ・ハット事例を全職員で共有し、事故防止に取り組んでいる。	
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき緊急連絡体制を確立している。 年2回センター全体での避難誘導訓練、自衛消防訓練に沿った毎月の訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域住民のボランティアを通じて情報を発信・受信し、民生委員や行事を通じて地域と関わりを持っている。 地域関係機関との連携に努めるとともに、施設外構や近隣公園の清掃を定期的に行っている。	A	積極的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
地域との関わり 福祉教育への貢献	介護ボランティア、教職課程の介護体験、小学校総合学習による高齢者交流体験の受け入れ、羽衣センター祭りでの地域住民及び利用者の作品展示等の企画の提案	A	福祉人材の育成に貢献し、地域との連携も深めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	6,032,349円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者アンケートの実施結果では、活動内容について98%の方が「満足」「概ね満足」「やや満足」と答えている。職員の接遇についても90%を超える方が「満足」「概ね満足」と答えている。利用者アンケートのフィードバック、研修等の実施によりサービスの質の向上を図る努力をしている点は評価したい。</p> <p>施設整備については、適切に維持管理がなされていて、活動室の雨漏れ対策は市と調整を重ねて年度内に実施された。この他、ボイラ一本体の修理を指定管理者において行っている。</p> <p>安全管理については、事故防止について全体共有しており、マニュアルの整備も行っており、防災訓練も定期的に実施している。</p> <p>備品管理においては、市立ち会いによる検査を実施し、台帳どおりであることを確認している。</p> <p>地域及び地域住民との連携についても、羽衣センター祭りやボランティア、小学校の総合学習の受け入れを行っており、交流の場として地域住民に親しまれている。</p> <p>以上のことから、仕様書に定められた基準に達していると判断し、総合評価はAとする。</p>		A	利用者アンケートの評価は高く、良好な運営がされている。 新たな取り組みも積極的に行い、サービスの向上に努めている。 仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容	
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂地域福祉サービスセンター	非公募・特命	介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 桜栄会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価 評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ほぼ計画通り達成できた。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	スタッフミーティングの度に基本的な事項の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法を厳守し、利用者の公平・公正利用の確保に努めている。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職後も新任職員に対しオリエンテーション・研修等を行い業務を継続して行えた。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:一般・予防・認知症通所 259日 営業時間:9:00～18:00 (通所サービス提供9:00～16:30) 職員配置:22人(正規7人、臨時15人) 時給:ケアワーカー 930円 介護福祉士 970円 看護師 1,500円 生活相談員 975円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
利用状況	()内は対前年度比 一般・予防通所介護:7,074人(92.2%) 認知症通所介護:831人(87.7%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	盆踊り、夏祭り、敬老会、落語会、クリスマス会、オペラ、芸術祭	A	利用者数は、近隣にデイサービスが増え選択肢が広がったこと等から、前年度と比較して減少している。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入:67,550,779円、支出:71,218,628円 事業収支:▲3,667,849円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:77.7%	A	多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みも行われている。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:1.5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	前年度・前々年度、車両事故が発生したことから、交通安全指導教室を実施した。	
第三者への委託状況	警備、清掃、自家用電気工作物保安管理、消防用設備保守点検、空調設備保守点検、受水槽清掃、植木せん定	A		
新たな取り組みの状況	交通安全指導教室の実施	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・対応等が出来ている。	A		
マニュアルの整備	業務に応じた様々なマニュアルを設置し、業務を実施している。	A		
研修・教育の実施状況	適宜実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署と連絡・調整・連携がされている。 非常時・事故等の連絡体制が整備されている。	A	業務マニュアルを設置し、適正に事業実施されている。	
利用者アンケート等の実施	年1回アンケートを実施し、結果を施設に設置して公表している。	A	利用者アンケートを年1回実施し、結果を施設に設置して公表している。	A
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットや法人ホームページで情報提供している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設に設置して公表している。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムが構築されている。設置目的以外の利用はない。	A		
業務の点検	職員会議、ミーティングで行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画に基づき実施している。	A		
施設及び設備の保守・点検	適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A	事業計画等に基づき、適切に実施している。	
小規模修繕	入浴用リフト修繕、浴室引き戸修繕、浴室業務用ガス給湯器修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう管理している。	A		
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例等の規定に基づき、秘密の保持がされている。	A		
適正な管理	適正に管理している。	A	研修・教育を実施している。個人情報に関する取り扱いマニュアルに基づき実施している。	
再委託の禁止	第三者への委託は、行っていない。	A		
研修・教育の実施	研修・教育を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報の取り扱いに関するマニュアル等が整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	3件の事故・苦情があったが、適切に対応された。 ・帰宅後、残薬が見つからないとの連絡。 ・体操時の転倒。 ・帰りの送迎時の転倒。	A		
事故の予兆に対する対応	朝夕のミーティングでの伝達、注意喚起、対応の徹底を行う。 原因・状況を調べ、職員ミーティングで対応策等を話し合い、事故防止に努めている。 継続的に安全運転会議を行い、事故防止に努めている。		事故・苦情に対する対処は適切に行われた。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・代替食と常食の取り違え。 ・利用者が立ち上がる際によろけた。 ・利用者が勘違いし扉に向い小走りした。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルの作成、研修の実施、立川・国立地区高齢者救急業務連絡会への参加等で、事故防止に取り組んでいる。年2回避難訓練を実施、立川警察による交通安全指導を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	体操教室への場所提供、車いす等の貸出、施設周辺の清掃などにより、地域貢献に努めている。	A	地域への溶け込み、連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	4,406,429円の削減。(平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者アンケートの実施結果では、サービスの利用についてはほぼ8割の方が「満足」と答えている。食事・送迎に関しては7割の方が「満足」と答えている。利用延べ人数に減少傾向が見られるが、サービスの維持・向上に取り組んでることにより、満足度を高める努力をしている点は評価したい。</p> <p>施設設備については定期的な点検、小規模の修繕を計画的に行っており、適切な維持管理を行っている。</p> <p>安全管理については、職員ミーティングで情報共有を行っており、事故防止・再発防止に努めている。また、平成27年度は高齢者の事故防止を目的とした交通安全指導教室を実施している。</p> <p>地域及び地域住民との連携についても、夏祭り等の行事等を積極的に実施し、地域の一員として親しまれている。</p> <p>以上のことから、仕様書に定められた基準に達していると判断し、総合評価はAとする。</p>		A	利用者ニーズ等に答え、多くの運営企画が実施されている。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容
S		仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A		仕様書等で定められた水準に達している
B		仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C		仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第1ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社	平成26年4月1日から平成31年3月31日(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例・規則や事業計画書に準じて適切に実施した。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	現場責任者によるOJTや統括・副統括の相互巡回により、逐次指導を行っている。	A	施設の設置目的を理解して適正に管理・運営されている。	
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入や、一時利用満車時の場内空きスペースの有効活用により、公平・公正に利用できる環境を整備した。	A		A
事業の継続性の担保	新人時のOJT研修後、常に経験者がフォローする体制で業務を行っている。雇用の安定のため、勤務シフトの対応に努めている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:366日 営業時間:24時間利用 職員数:正規2人、契約18人、パート37人 契約・パート社員 時給930円～1,050円	A		
利用状況	<p>【定期利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 5,660台 (101.7%) バイク合計 97台 (88.2%) 立川駅南口第一:自転車135台 (106.3%) 立川駅南口第二:自転車1,026台 (103.0%) 立川駅南口第三:自転車128台 (84.8%) 立川駅南口第四:自転車157台 (90.2%) 立川駅南口立体:自転車323台 (89.2%) 立川駅南口第一タワー:自転車180台 (129.5%) 立川駅南口第二タワー:自転車280台 (140.0%) 立川駅北口第一:自転車638台 (112.7%) 立川駅北口第三:自転車369台 (110.5%) バイク93台 (97.9%) 立川駅北口臨時:自転車1,513台 (102.9%) 西地下道:自転車433台 (101.4%) 西国立駅第一:自転車121台 (89.6%) 西国立駅第二:自転車103台 (45.2%) バイク4台 (26.7%) 西国立駅第三:自転車59台 (84.3%) 西立川駅:自転車195台 (104.3%)</p> <p>【一時利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 4,811台 (194.8%) バイク合計 184台 (100.0%) 立川駅南口第二:自転車579台 (103.4%) バイク133台 (98.5%) 立川駅南口立体:自転車117台 (97.5%) 立川駅南口第一タワー:自転車34台 (89.5%) 立川駅南口第二タワー:自転車55台 (110.0%) 立川駅北口第一:自転車285台 (154.9%) 立川駅北口第三:自転車551台 (111.1%) バイク47台 (104.4%) 立川駅北口臨時:自転車496台 (112.5%) 西地下道:自転車156台 (123.8%) 西国立駅第二:自転車223台 (112.1%) バイク4台 (100.0%) 西国立駅第三:自転車149台 (96.8%) 西立川駅:自転車109台 (106.9%) 立川北駅下:自転車1,590台(皆増) 立川北駅西臨時:自転車139台(皆増) あけぼの口南臨時:自転車328台(皆増)</p>	<p>基本的事項については、概ね仕様書及び事業計画どおり実施されている。</p> <p>賃金単価については、法令等遵守されている。</p> <p>料金体系の見直しに伴い、1日の平均利用台数は定期利用と一時利用の合計で、前年度と比較し自転車は増、バイクは減となっている。</p> <p>A</p> <p>管理する自転車駐車場が3か所増加したことによる経費等により、事業収支はマイナスになっている。次年度の改善が望まれる。</p> <p>売り上げは管理する自転車駐車場が3か所増加したことから、前年度と比較して増となつた。</p> <p>A</p>		
運営企画	自転車安全点検キャンペーンの実施	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:145,876,690円 支出:154,229,675円 事業収支:▲8,352,985円 人件費比率:48.09% 使用料収入 212,633,760円(前年度195,809,350円)	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	動産総合保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
第三者への委託状況	緊急出動対応、集金回収、ごみ回収、定期更新機・電磁ロック駐輪機・ゲート等保守・メンテナンス	A		
新たな取り組みの状況	自転車安全点検キャンペーン、職場体験学習、こども110番の登録、ホームページリニューアル、駐車時間確認打刻器の設置、雨水浸透枠の設置、AED配備施設マークの設置、スロープ乗車走行禁止看板の設置、音声アナウンス機器の設置	A	提案に基づき、様々な新たな取り組みを実施し、利用者サービス向上に努めた。	
提案の実施状況	新料金への移行、電磁ロック式駐輪機器設置、管理室機械警備設置、満空WEBシステム、各種マニュアル整備、サポートセンター対応、防犯カメラ設置、空気入れ・チェーン用オイル等の設置、場内掲示物の設置、プリペイドカード導入、レンタサイクルの実施、交通系ICへの対応、定期更新システム導入、利用者アンケート、管理員研修、歩道上駐車場の整備	A		A
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	OJTや外部講師による接客接遇研修を実施し、適切な対応に努めた。	A		
マニュアルの整備	緊急対応マニュアル、接客/接遇マニュアル、駐車場機器対応マニュアル、管理PCマニュアル、個人情報保護マニュアル、危機管理マニュアル、自転車駐車場管理マニュアルを整備している。	A	マニュアルを整備し、適切に業務を行った。	
研修・教育の実施状況	本社にて、外部講師による研修を実施した。	A	利用者アンケートを年1回実施し、結果を接遇の参考にしている。	
所管部署との連携・連絡	毎月、業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策について共有した。	A		A
利用者アンケート等の実施	全駐車場で実施し、結果を場内掲示により公表した。	A	機械式駐輪機の導入により、公平・公正な利用が確保されている。	
公平・公正利用の確保	定期空台数の掲示等により、公平・公正利用に努めた。	A		
業務の点検	第三者機関による点検を実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施した。	A	仕様書どおり、適切に管理されている。	
小規模修繕	蛍光灯/安定器の交換	A		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理した。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	本社にて個人情報取扱研修を実施した。	A		
個人情報等秘密の保持	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A	マニュアルの整備や研修は実施されている。	
適正な管理	還付申請書を移送中に紛失する事象が発生した。	B	個人情報の運搬において明確な手順が無く紛失事故が発生したことから、個人情報の管理について改善を図られたい。	
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A		B
研修・教育の実施	個人情報保護マニュアルを整備し、本社で個人情報取り扱い研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	全管理室へマニュアルを配備した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	還付申請書を移送中に紛失する事業が発生した。 その他、以下の事案、苦情、要望等があったが、概ね適切に対応された。 ・事前精算機の手元が暗いという苦情。 ・場内のブロック表示が無いという苦情。 係員の説明誤りによる苦情。 機器の故障(ゲートが開閉しない等)。 落ち葉による駐輪ラックの不具合。 ・近隣の家屋火災による電話回線の不通。	A	個人情報記載の書類の紛失事故が発生したが、その後の処理については適切に対応された。 苦情・要望等に対しては、適切に対応されており、利用者への声かけ注意喚起等、事故防止対策にも取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	場内走行禁止掲示物による注意喚起、降雪予報時の除雪作業員・スコップ・融雪剤の配置			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・南口立体工事における鋭利な資材の露出、封鎖の不備 ・駐輪場近隣民家火災			
事故防止対策の取り組み状況	利用者への声かけ注意喚起、消防訓練の実施、消火器配備の実施、深夜巡回の実施	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	周辺施設の清掃、放置自転車クリーンキャンペーンへの参加などにより地域連携に取り組んだ。	A	地域との連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	機械式駐輪機の導入やブロック構成の変更などのため、比較は困難である。	—		—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
指定管理2年目を迎え、初年度と比較して管理運営が円滑に進んだことを評価したい。一方で、危機管理案件に該当する事象の発生もあり、現場管理員の教育、能力向上には一層の取り組みを期待したい。日々、様々な事象が起こり得る自転車(等)駐車場事業において、対策を迅速に計画して実行する姿勢は高く評価したい。		A	機械式駐輪機の導入やコールセンター設置により、効率的で均質なサービス提供に努めている。 個人情報の紛失事故は発生したが、適切に対応しており、再発防止策にも取り組んでいる。 以上より、水準通りの運営が行われていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク		評価内容		
S		仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A		仕様書等で定められた水準に達している		
B		仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C		仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第2ブロック)	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社	平成26年4月1日から平成31年3月31日(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に沿って、適切に運営した。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	現場責任者によるOJTや統括・副統括の相互巡回により、逐次指導を行っている。	A	
利用者の公平・公正利用の確保	24時間稼働の機械式駐輪機の導入や、一時利用満車時の場内空きスペースの有効活用により、公平・公正に利用できる環境を整備した。	A	施設の設置目的を理解して適正に管理・運営されている。 A
事業の継続性の担保	新人時のOJT研修後、常に経験者がフォローする体制で業務を行っている。雇用の安定のため、勤務シフトの対応に努めている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	営業日数:366日 営業時間:24時間利用 職員数:正規2人、契約2人、パート13人 契約・パート社員 時給930円～1,050円	A	基本的事項については、概ね仕様書及び事業計画どおり実施されている。
利用状況	【定期利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 1,428台 (112.9%) バイク合計 56台 (98.2%) 西武立川駅北口:自転車295台 (104.2%) 武藏砂川駅第一:自転車661台 (104.8%) バイク29台 (100.0%) 武藏砂川駅第二:自転車472台 (134.5%) バイク27台 (96.4%) 【一時利用 平均利用台数】 ()内は対前年度比 自転車合計 605台 (108.2%) バイク合計 17台 (141.7%) 西武立川駅北口:自転車161台 (108.8%) 武藏砂川駅第一:自転車395台 (107.9%) バイク10台 (125.0%) 武藏砂川駅第二:自転車49台 (108.9%) バイク7台 (175.0%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。 料金体系の見直しに伴い、1日の平均利用台数は定期利用と一時利用の合計で、前年度と比較し自転車、バイクとも増なっている。 A
運営企画	自転車安全点検キャンペーン	A	事業収支は利用数増に対応するための人事費等の増加によりマイナスになっている。次年度の改善が望まれる。
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:28,203,000円 支出:31,784,550円 事業収支:▲3,581,550円 人件費比率:44.7% 使用料収入 41,409,530円(前年度45,763,050円)	A	売り上げは料金体系の見直しに伴い、前年度と比較して減となった。
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	動産総合保険・施設賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	
第三者への委託状況	緊急出動対応、集金回収、ごみ回収、定期更新機・電磁ロック駐輪機保守・メンテナンス	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
新たな取り組みの状況	自転車安全点検キャンペーン、こども110番の登録、ホームページリニューアル、駐車時間打刻器設置	A		
提案の実施状況	新料金への移行、電磁ロック式駐輪機器設置、管理室機械警備設置、満空WEBシステム、各種マニュアル整備、サポートセンター対応、防犯カメラ設置、空気入れ等の設置、場内掲示物の設置、プリペイドカード導入、交通系ICへの対応、定期更新システム導入、利用者アンケート、管理員研修	A	提案に基づき、様々な新たな取り組みを実施し、利用者サービス向上に努めた。	A
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	OJTや外部講師による接客接遇研修を実施し、適切な対応に努めた。	A		
マニュアルの整備	緊急対応マニュアル、接客/接遇マニュアル、駐車場機器対応マニュアル・管理PCマニュアル、個人情報保護マニュアル、危機管理マニュアル、自転車駐車場管理マニュアルを整備している。	A		
研修・教育の実施状況	本社にて、外部講師による研修を実施した。	A	マニュアルを整備し、適切に業務を行った。	
所管部署との連携・連絡	毎月業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策について共有した。	A	利用者アンケートを年1回実施し、結果を接遇の参考にしている。	A
利用者アンケート等の実施	全駐車場で実施し、結果を場内掲示により公表した。	A	機械式駐輪機の導入、満車時の空きスペースの利用により、公平・公正な利用が確保されている。	
公平・公正利用の確保	定期空台数の掲示、電磁ラックが満車の際の空きスペースの利用等により、公平・公正利用に努めた。	A		
業務の点検	第三者機関による点検を実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
保安・警備	仕様書のとおり適切に実施した。	A	仕様書どおり、適切に管理されている。	A
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	備品台帳に基づき、適切に管理した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	本社にて個人情報取扱研修を実施した。	A		
個人情報等秘密の保持	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A		
適正な管理	マニュアルの配備、鍵付キャビネットの導入等、適切に実施した。	A	研修やマニュアルにより、適切に実施された。	A
再委託の禁止	市の承諾のない再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	個人情報保護マニュアルを整備し、本社で個人情報取り扱い研修を実施。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	全管理室へマニュアルを配備した。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	・休暇中の係員による管理事務所の鍵の紛失 その他、以下の事案、意見・要望等があつたが適切に対応された。 ・雑草などのせん定管理の要望。 ・不正利用車両への対策の要望。 ・職員対応についての苦情。	A	管理事務所の鍵の紛失事故は発生したが、その後の処理については適切に対応された。	
事故の予兆に対する対応	場内走行禁止掲示物による注意喚起、降雪予報時の除雪作業員・スコップ・融雪剤の配置		苦情・要望等に対しては、適切に対応されており、利用者への声かけ注意喚起等、事故防止対策にも取り組んでいる。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	利用者への声かけ注意喚起、駅前の放置自転車駐車禁止区域への警告札貼付の実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	周辺施設の清掃、放置自転車クリーンキャンペーンへの参加などにより地域連携に取り組んだ。	A	地域との連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題なし	A	特に問題なし	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	機械式駐輪機の導入やブロック構成の変更のため、比較は困難である。	—		—
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価		
◆ 総合評価				
指定管理2年目を迎える初年度と比較して管理運営が円滑に進んだことを評価したい。一方で、危機管理案件に該当する事象の発生もあり、現場管理員の教育、能力向上には一層の取り組みを期待したい。日々、様々な事象が起こり得る自転車(等)駐車場事業において、対策を迅速に計画して実行する姿勢は高く評価したい。		A	機械式駐輪機の導入等により、効率的で均質なサービス提供に努めている。鍵の紛失事故はあつたが、仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市営駐車場	公募	交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
公益財団法人東京都道路整備保全公社	平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書に基づき管理運営を行い、周辺の交通渋滞緩和に貢献した。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月、各駐車場責任者が集い管理運営に関する情報や意見交換を行い、それを職員に指導・伝達し、職員の意識向上に取り組んでいる。	A	公の施設の役割と、市の代行者の立場であることへの理解は深く、適切に業務を行っている。	
利用者の公平・公正利用の確保	各駐車場への管制機器等により、公平・公正に利用できる環境を整備している。	A		
事業の継続性の担保	業務に精通した職員を配置しているほか、前年度と同じ職員の継続配置、研修等による専門知識の向上等により、事業継続性の確保に努めている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:366日 営業時間:24時間利用 契約社員 日給8,000円 合計16名	A		
利用状況(利用台数)	【時間貸】()内は対前年度比 合計308,478台(96.4%) 北口第一:222,321台(92.9%) 緑川第四:33,985台(111.4%) 緑川第五:18,275台(116.8%) 緑川第六:11,734台(105.3%) 南口第一立体:6,899台(85.6%) 南口第二立体:15,264台(98.0%) 【定期利用】()内は対前年度比 合計1,772台(102.0%) 北口第一:525台(96.5%) 緑川第六:945台(99.8%) 緑川第七:164台(98.2%) 南口第一立体:82台(256.3%) 南口第二立体:56台(119.1%)	A	基本的事項は事業計画のとおり実施された。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
運営企画	夜間限定定期料金の開始、定期台数見直しによる時間制利用確保、障害者割引対応時間の拡大、オートバイの機械化、駐車場提携サービスの拡大、スマートフォン精算・ポイント還元・法人会員の導入、オートバイ収容台数の拡大、荷捌き駐車の受入、パーク&レンタサイクルの実施、EV充電器の設置、エレベーター・エレベーター・エレベーター・エレベーター・エレベーター・エレベーターの設置、グリーン電力証書発行	A	利用台数は、前年度を下回った。 これは、南口第一立体の定期契約を増やすなどにより定期貸は増加したが、近隣の民間駐車場の運営等により時間貸が減少したため。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況(前ページからの続き)				
事業収支 経営状況分析指標	収入:240,026,890円、支出:283,957,347円 事業収支:▲43,930,457円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:31.3% 1台あたり管理コスト:915円 市への納付金(基本納付額)140,000,000円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	自動車管理者責任賠償保険、施設管理者賠償責任保険、現金動産・機械動産保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	さまざまな新たな取り組みを意欲的に行い、利用者サービスの向上に結び付いている。	
第三者への委託状況	清掃、機械警備、諸設備管理・点検、消防設備点検、精算機保守点検、駐車機器保守点検、交通誘導、売上金回収、駐車場管理システムの保守・運用支援、定期料金の収納代行	A	収支は対前年度で大きなマイナスとなった。次年度以降の改善を望む。	A
新たな取り組みの状況	駐車場提携サービスの拡大、パーク&レンタサイクルの実施	A	市への納付金は、基本分のみにとどまった。	
提案の実施状況	夜間限定定期料金の開始、定期台数見直しによる時間制利用確保、障害者割引対応時間の拡大、オートバイの機械化、駐車場提携サービスの拡大、スマートフォン精算・ポイント還元・法人会員の導入、オートバイ収容台数の拡大、荷捌き駐車の受入、パーク&レンタサイクルの実施、EV充電器の設置、エレベーターへのレスキュー・チェア設置、グリーン電力証書発行	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	場長が各駐車場を巡回しチェック・指導を行い、挨拶、接遇、服装、利用者説明等について、高い意識で取り組んだ。	A		
マニュアルの整備	利用者対応、事故・事件対応、防犯対策等の各種マニュアルを整備し、業務を行っている。	A		
研修・教育の実施状況	接遇、個人情報取扱、管制機器操作、不具合時の緊急対応等、各種研修を実施した。	A	駐車場の案内だけでなく、近隣施設に関する問合せにも対応できるよう、情報把握に努めた。	
所管部署との連携・連絡	毎月の業務調整会議により情報共有している。緊急時の連絡体制も整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、各駐車場で結果を公表している。	A	職員の対応については、利用者アンケートでも高い評価となっている。	A
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレット、ホームページ、駐車場案内サイト等により、PRに努めた。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出し、閲覧できる状況である。	A	仕様書や業務マニュアルに基づき、適切に業務を行った。	
公平・公正利用の確保	全駐車場に管制機器を設置し、公平・公正に利用できる環境を整備している。	A		
業務の点検	毎月モニタリングチェックシートを作成し、市へ提出している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画等に基づき、適切に実施された。	A		
施設及び設備の保守・点検	事業計画等に基づき、適切に実施された。	A		
保安・警備	事業計画等に基づき、適切に実施された。	A	適切に実施された。	A
小規模修繕	非常誘導灯の修繕、管理室エアコンの修理、管理室照明灯、防鳥対策工事、駐車機器の修繕、水受け板交換工事、消防設備工事、オートバイ車室コーナークッション修繕、オートバイ車室の区画線、場内照明灯の交換・設置(LED照明)	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報保護の重要性を十分に認識し、事故防止を徹底している。	A		
個人情報等秘密の保持	条例等の規定に基づき、適正に管理されている。	A		
適正な管理	契約者情報等は、専用サーバーによるシステムにより、厳重に管理されている。	A	職員への意識づけ、システム面での対応ともに高い水準で徹底されている。	
再委託の禁止	市の承諾に基づき、適正に実施している。	A		A
研修・教育の実施	毎年、全職員が研修に参加するとともに、管理職による個別の指導も行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規程に基づき作成した、個人情報保護・情報セキュリティハンドブックを全職員が所有している。	A		
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	非常誘導灯、移動式粉末消火設備、車両出入口テントに車両が接触し破損する事故が4件、無人管理制度への要望が1件あったが、適切に対応された。	A		
事故の予兆に対する対応	・オートバイ区画の衝撃緩衝マットの交換 ・一部腐食した鉄柵を除去し、トラ色ロープで応急措置		事故への対応や事故防止への取り組みは良好に行われた。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	出庫後の車と自転車が接触しそうになったことから、自転車及び歩行者の往来の多い時間帯は職員及び誘導員が誘導を行っている。			
事故防止対策の取り組み状況	各種マニュアルに基づき、事故防止に努めている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	(一社)立川南環境改善まちづくり協議会に加入するなど地域の団体と連携し、立川駅周辺の交通環境改善に取り組んでいる。	A	地域との連携に積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	9,000,000円の削減。(人件費のみ平成17年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>第3期目の指定管理者として5年間の管理運営の2年目に当たり、クレジットカード・電子マネー決済やインターネットでの駐車場情報の提供など前指定管理者が実施していた主要なサービスを継続したほか、北口第一駐車場での夜間定期貸しや荷捌き車両の受入れ、緑川駐車場での障害者减免の24時間対応化やオートバイ出入庫の機械化による24時間利用化などの新たな施策も開始し、利用者サービスの向上を図ってきた。</p> <p>効率的な運営については、北口第一駐車場と緑川駐車場でのレイアウト変更によるバイク収容台数の増設や緑川駐車場での定期貸しスペースへの時間貸し需要の取り込みなどの新たな方策を講じ収益の向上にも努めたが、低料金の民間駐車場などの影響もあり利用料金は減収となった。</p> <p>公の施設であることをよく認識し、接遇の向上をはじめ個人情報の保護、危機管理対応、災害時対応、環境対策などにも積極的に取り組んでおり、地域との連携にも努める姿勢が見て取れた。</p> <p>以上のことから総合評価としてはA評価としたい。</p>		A	<p>定期貸の拡大等の努力は行ったが、民間駐車場の運営等により利用台数は前年度を下回った。</p> <p>安全管理や個人情報保護、地域貢献など、特に公の施設に期待される項目について、高い水準で取り組んでいる。</p> <p>職員の対応は、利用者アンケートでも高い評価となっている。</p> <p>マイナスの外部要因もあり収支改善が課題であるが、管理・運営は良好に行われたと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市ハケ岳山荘	公募	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
株式会社レストラン・ピガール		平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年間)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	市条例、規則、基本協定書を遵守し営業に努めた。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎日、店長が朝礼を行い、教育に努めるとともに、月に1回以上本社の役員が山荘において教育指導を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	法令遵守し、公平・公正利用を確保した。	A		
事業の継続性の担保	繁忙期等に他店舗の職員を派遣し研修しており、仮に山荘職員に欠員が生じても対応できるようにしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:366日 開館時間:24時間 職員配置:正社員9名、嘱託2名 給与単価:年収238万円～567万円 嘱託 日給15,000円	A		
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 12,811人 (100.7%) 〔内訳〕 一般利用者 8,439人 (106.0%) 学校利用 3,356人 (90.2%) ※小学校3,356人、中学校0人 青少年団体 1,016人 (99.4%) 日帰り 0人(皆減)	A		
運営企画	フェイスタオル・歯ブラシ・バスタオルの提供、バスツアーやハイキングの実施(4回)、小学校のハイキングに道案内ガイドを無料提供、送迎、駅・ドライブイン等での宣伝活動、木工教室・星を見る会等のイベント実施、トマト等の収穫体験、お誕生日プレゼント	A	平成21年度の指定管理者制度導入以降、毎年一般利用者を増加させている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:79,398,920円、支出:77,090,732円 内訳 指定管理料:57,178,000円 利用料金収入:10,913,500円(施設使用料) その他事業収入:8,954,420円(食事・売店等) 事業収支:2,308,188円 人件費比率:54.9% 外部委託費比率:10.6% 指定管理料及びその他の収入で適正に事業を行なうことができた。	A	基本的事項については、実施計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償保険・旅館施設保険 支払限度額:10億円 旅館・施設賠償保険に自主的に加入したほか、協定の水準を超えて必要な経費は支出した。	A	バスツアーやイベントの実施など、好評を得ている。 一般宿泊者については、フェイスタオルや歯ブラシセットなどのアメニティーを提供している。	
第三者への委託状況	施設保守点検・定期清掃、定期消毒、ごみ処理、自家用電気工作物保安検査	A	設備修繕を積極的に行い、施設の安定的な運営に努めている。	
新たな取り組みの状況	マジック、うどん打ち等の参加型イベントの実施 大学の学園祭での宣伝活動	A		
提案の実施状況	アメニティーの提供、自炊棟の鍋の購入、小学校のハイキング時の道案内ガイドの派遣、閑散期割引、バスツアーやハイキングの実施、各種イベントの実施、送迎、夕食のバーべキューへの変更、緊急時対応、宿泊棟の整備	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	研修、日々のミーティングでチェックし取り組んでおり、93%以上の利用者から良い評価があった。	A		
マニュアルの整備	衛生管理、災害時対応、消防、接客の各マニュアルに基づき業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	各分野の講習を実施した。	A	各種マニュアルを整備し、マニュアルにそつて業務を実施している。	
所管部署との連携・連絡	定期的に、また隨時、速やかに連絡を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、公表している。	A	施設の性格上、接客には特に力を入れている。 利用者アンケート結果は非常に高く、利用者から見た評価は高い。	A
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレット・チラシを作成し配布している。ホームページに利用案内や空室情報を掲載している。	A	事業計画・報告書の公表も行っている。	
事業計画・報告書の公表	市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	条例等をよく理解し、公平利用に努めた。	A		
業務の点検	毎日ミーティングを行いチェックしている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	トコジラミ、レジオネラ菌等に対する予防消毒を行うなど、衛生管理にも努めている。	
小規模修繕	ばっ気プロア交換、軒先コンクリート修繕、排気ファン交換、FFストーブ修理、非常用バッテリー交換	A	小規模修繕についても、適切に行われている。	A
備品管理	備品台帳を作成し適切に管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、職員を指揮監督している。	A		
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	支配人により、適正に管理している。	A	適切に個人情報が遵守されている。	
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	必要な研修を実施した。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価		
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項						
事故・苦情対応状況	特に事故・苦情はなかった。	A				
事故の予兆に対する対応	各種訓練を実施し、敷地内及び館内の見回りに努めている。		事故を未然に防ぐ取り組みがなされている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	FFストーブの油漏れ、異常燃焼		マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A		
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みを行った。災害発生時の連絡体制も確立されている。 避難訓練を2回実施したほか、緊急時の炊き出し訓練を実施。	A				
(7)地域貢献に関する事項						
地域及び地域住民との連携	清里学校寮地区での長年の受託実績により、地域や各種機関との関係を構築している。	A	地域との関係は良好である。	A		
(8)コンプライアンスに関する事項						
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A		
(9)その他特記事項・追加評価項目						
優良申告法人 学校法人への寄付 全日本司厨士協会表彰 エコ活動	・管轄税務署から優良申告法人として表敬状 ・会社収益の一部を学校のキャンパス整備として寄付 ・全日本司厨士協会から名誉功労賞を授与 ・使用済み割りばしのNPO法人への提供	A	事業活動について各団体より評価を得るとともに、エコ活動に取り組んだ。	A		
(10)立川市のコスト削減状況						
導入前の決算額との比較	8,828,525円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減されている。	A		
施設担当課評価		2次評価	2次評価			
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等			
◆ 総合評価						
<p>平成21年度の指定管理者導入以降、毎年一般利用者数を増加させていることは評価に値する。</p> <p>小学校のハケ岳自然教室に於けるハイキングの道案内ガイドを1名増員し、児童の安全確保に努めている。引率の教諭も若手が多く、自然環境での活動に不慣れであることから、ガイドの役割は大変重要である。ハイキング中の事故もなく、児童の安全・安心に十分な配慮がなされている。</p> <p>衛生管理面でも、昨今多発するアレルギー食材に起因する事故や、ウィルスによる食中毒などの事故を受けて、衛生管理に関する研修、食材仕入れ先の確認、利用者への手洗い等の呼びかけにより、より一層強化が図り、堅実に運営を行っている。</p> <p>経年劣化する施設の維持管理に対して、速やかな対応がなされている。日々施設の点検を行い、所管課への連絡も敏速に行われ、限られた予算の中で適切に努めている。協定の範囲を超える修繕についても、施設の安全な運営のため、自主的に負担し対応している。</p> <p>利用者アンケートでは、「食事」「施設」「サービス」のすべてにおいて、「非常に良い」「良い」以上の評価が95%以上であり、評価は高い。リピータの利用者が年々増え、着実な一般利用者の増加もみられることから、指定管理者制度の目的である、「民間の活力を利用して、より良い市民サービスの提供」が達成されていると考えられ、高く評価できる。</p>						

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市滝ノ上会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市滝ノ上会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:323日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):62,308円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:18,718名(92.3%) 利用件数:1,207件(97.1%) 平均施設使用率:39.5%(95.9%)	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
運営企画	利用者懇談会、広報発行、委員研修会、会館まつり、新年懇談会、ふれあいコンサート	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。
事業収支	収入:3,851,433円、支出:3,851,433円 * 指定管理料3,717,081円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれたり組みが行われており、27年度から「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	立川市ひと涼み声かけプロジェクト	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	特になし。	—		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A		
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が図れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>滝ノ上会館は、地域の住民にとって学習、また趣味や娯楽といった活動の拠点となっており、開館以来、利用者の方々や地域の諸団体と一緒にながら、富士見町の文化を盛り上げてきた。また、平成27年度は、「地域に密着した文化拠点としての管理運営」「子どもの居場所づくり」「コミュニティステージ(地域密着行事)開催による地域文化の向上」「第二次防災避難所としての機能の充実」を会館の事業計画とし、運営・事業企画を行った。とりわけ「子どもの居場所づくり」に力を入れ、小学校PTA等との連携のもと、子どもが参加しやすい企画を数多く実施している。</p> <p>その成果もあってか、会館は子どもをはじめ幅広い年代の参加者が集まる場として、地域にすっかり定着している。例えば会館まつりでは、地元中小学生と地域サークルによる演奏会や、子ども連合会によるゲームコーナー、アクセサリー作り等、意欲的な取り組みも行われている。また、立川市地域文化振興財団との共催で行う「富士見町ふれあいコンサート」では、プロの演奏家のステージを身近に楽しめる貴重な機会として、子どもから大人まで約200名に及ぶ大勢の地域住民が来館し賑わう。こうした地域に密着した事業を軸に、会館は世代間を超えた地域住民の交流の場としての役割を果たしている。</p> <p>なお、長年会館利用者を悩ませていた雨漏り解消のため、平成27年度には屋上防水工事を実施したこと、会館の快適な利用の促進につながった。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こんぴら橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市こんぴら橋会館管理運営委員会		平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。 A
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:331日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時3名 月給(平均):81,435円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:23,583名(103.4%) 利用件数:1,822件(104.0%) 平均施設使用率:51.0%(104.7%)	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
運営企画	広報発行、会館まつり、講演会、地域懇談会、新年賀詞交換会、会館利用者アンケート、管外研修会	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。 A
事業収支	収入:3,779,414円、支出:3,779,414円 * 指定管理料3,736,871円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれたり組みが行われており、27年度から「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	立川市ひと涼み声かけプロジェクト	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	A
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、広報にて結果を公表している。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	駐輪場塗り替え	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A		
事故の予兆に対する対応	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみい入れている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>こんぴら橋会館は、砂川地域のコミュニティセンターとして、地域の住民、また各種団体と多面にわたって協力しながら、会館の管理運営を行っている。</p> <p>例えば施設管理の面では、毎年5月連休の休館日を利用して、管理運営委員を中心に、地域のボランティアの力を借りて施設内の整備・清掃を行っている。また、24年度から予算化された指定管理料の修繕費を活用した軽微な修繕等も積極的に実施し、管理運営委員、地域の利用者とが協力して施設の維持保全に努めている。</p> <p>さらに、コミュニティ事業についても、会館まつりでは利用者団体による芸能発表のほか、子ども向けの無料の模擬店など、地域のお祭りならではの企画を用意し、毎年大勢の来館者で賑わいを見せている。この他にも、砂川地域の歴史をテーマとした講演会や、地元選出市議を迎える地域の課題について意見交換を行う討論会など、地域や時事を意識した事業を積極的に展開している。</p> <p>一方、開館から30余年を過ぎ、会館の老朽化に関する指摘は利用者・管理人双方から挙がっており、今年度も修繕や調査を要する事態が複数発生した。安心・安全な利用のためにも今後もきめ細やかな維持管理が必要といえる。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市高松会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、隨時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:316日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):55,484円	A	
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:18,045名(106.2%) 利用件数:1,151件(105.3%) 平均施設使用率:38.3%(106.7%)	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
運営企画	広報発行、会館まつり、高松町文化祭、高松町合同防災訓練、利用者懇談会	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。
事業収支	収入:3,504,290円、支出:3,504,290円 * 指定管理料3,441,041円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、27年度から「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	立川市ひと涼み声かけプロジェクト	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	食器棚、下足入れ改修	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A		
事故の予兆に対する対応	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。 条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>高松会館は、地域コミュニティの拠点施設として、地域に密着した会館運営や企画づくりを心がけている。そのため地域の諸団体とは様々な面で協力しており、会館まつりなど会館が主催する行事に対して支援を受けているほか、会館としても自治連高松町支部、競輪場周辺対策協議会等、地域の各種団体が実施する行事に協力・協賛している。また定期的に開催している管理運営委員会では、各団体間の情報交換の場としての役割も兼ねており、このように会館が地域の諸団体と連携し、一体となりながら、高松町の地域活動を盛り上げている。</p> <p>また、施設の2階は高松児童館となっており、平成24年度より指定管理者による運営が行われている。高松会館では、他の学供施設には無いこの特徴を生かし、積極的に児童館との連携を図っている。例えば会館広報には児童館の行事案内等を積極的に掲載しているほか、会館まつりでは児童館職員及び地域の子どもたちによる模擬店、ゲーム企画等が実施され、児童館との連携により、会館を拠点に世代を超えた交流が生まれている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市若葉会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、隨時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時5名 月給(平均):52,408円	A	
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:31,704名(97.4%) 利用件数:1,859件(99.0%) 平均施設使用率:47.7%(100.0%)	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。
運営企画	広報発行、講座(健康セミナー・スポーツ吹き矢・肉の選び方)、管外研修、利用者懇談会、会館まつり	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
事業収支	収入:3,660,903円、支出:3,660,903円 * 指定管理料3,658,611円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	多くの企画を行い参加が多く、地域に開かれた取り組みが行われている。
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	30周年記念式典・祝賀会	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	トイレ天井補修、エレベーターホール塗装	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価		
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項						
事故・苦情対応状況	特になし	A				
事故の予兆に対する対応	特になし					
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A		
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A				
(7)地域貢献に関する事項						
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。 条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A		
(8)コンプライアンスに関する事項						
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A		
施設担当課評価		2次評価	2次評価			
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等			
◆ 総合評価						
<p>若葉会館では、会館広報の発行、講座の開催、会館まつりの実施を、会館三大事業と位置づけており、地域の各種団体と協力しながら、管理運営委員会を挙げてこれらの事業に取り組んでいる。</p> <p>毎年7月に発行する各種団体との合同広報では、会館のみならず自治会、文化会、体育会、青少健、子ども会など、地域の各団体の情報を掲載し、手配りで町内全戸配布を行っている。</p> <p>また、主催講座を年3回実施しており、いずれも地域住民の好評を博している。今年度は「わかば健康知っ得セミナー」「スポーツ吹き矢体験」「プロが教えるおいしいお肉の選び方」をテーマとする等、意欲的な取り組みを行っている。</p> <p>さらに、若葉会館では、会館まつりを地域の子どもが主体のイベントとしており、地元の小中学校児童・生徒の作品展示や演奏発表をはじめ、子供向けのおはなし会や工作教室などが開催される。また1階の若葉図書館の協力による古本の頒布や、地域の各種団体による模擬店、地元野菜の販売も人気企画として定着しており、子どもはもちろん、大人も存分に楽しめる、地域交流の場となっている。</p> <p>平成27年度は会館設立30周年を迎え、記念式典と記念誌の発行を行った。</p> <p>こうした精力的な取り組みを通して、若葉会館は子供から大人まで、地域の誰もが集える場として、地域コミュニティの要として機能している。</p>						

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容		
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている		
A	仕様書等で定められた水準に達している		
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない		
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である		

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こぶし会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こぶし会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、隨時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。 A
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:333日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):71,987円	A	
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:39,619名(97.7%) 利用件数:2,284件(98.2%) 平均施設使用率:40.9%(97.6%)	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 A
運営企画	会館まつり、利用者懇談会、広報発行、教養講座(自転車のルール、フリップ漫談)、賀詞交換会	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 A
事業収支	収入:4,195,236円、支出:4,195,236円 * 指定管理料4,187,071円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。 A
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	多くの企画を行い参加が多く、地域に開かれた取り組みが行われている。 A
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	特になし	—	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、結果を館内掲示して公表している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、結果を館内に掲示した。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	給湯器修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価		
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等			
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項						
事故・苦情対応状況	特になし	A				
事故の予兆に対する対応	特になし					
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A		
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A				
(7)地域貢献に関する事項						
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。 条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A		
(8)コンプライアンスに関する事項						
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A		
施設担当課評価		2次評価	2次評価			
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等			
◆ 総合評価						
<p>こぶし会館は、幸町と柏町の二町にまたがる会館であり、それぞれの地域の各種団体から選出された委員により運営されており、この二町の地域活動に様々な形でかかわっている。</p> <p>加えて、学習等供用施設11館の中で施設規模が最も大きく、また立川駅からモノレールもしくはバスでのアクセスが可能で、交通の便が良い施設であることから、市外を含む他地域からの利用や、行政事業のための利用も多い。また、施設1階の一部は、指定管理者が運営する幸図書館となっている。</p> <p>こうした事情により、こぶし会館には毎日多数の方が出入りしている。そのため施設の安全管理には特に気を配っており、利用者や図書館も交えての避難訓練を実施するなどして、安全意識の向上に努めている。開館から30年近くが経過し施設の老朽化がみられ、今年度も空調・給湯設備等に修繕を要した。このため、管理人がこまめに館内の施設・設備の状況を確認し、不具合を発見した際には早急に対応するよう心がけている。</p> <p>一方で、二町にまたがるという規模の大きさを生かして、会館の各種事業も大変盛大に行われている。例えば5月の会館まつりは2日間にわたって開催され、利用者の芸能・作品発表や模擬店等で、毎年大盛況となっている。また、立川市地域文化振興財団との共催で「守っていますか自転車のルール」「フリップ漫談」をテーマに教養講座を実施し、大勢の来場者で賑わった。</p>						

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣中央会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市羽衣中央会館管理運営委員会		平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:344日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時3名 月給(平均):88,504円	A	
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:27,447名(103.0%) 利用件数:1,580件(106.4%) 平均施設使用率:40.2%(105.5%)	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
運営企画	利用者懇談会、広報発行、管外研修、会館まつり、賀詞交換会、講演会	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。
事業収支	収入:4,370,989円、支出:4,370,989円 * 指定管理料3,935,601円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、27年度から「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	立川市ひと涼み声かけプロジェクト	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	特になし	—		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A		
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。 条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>羽衣中央会館は、羽衣町の地域活動の拠点として、地域内の各種団体と連携しながら、地域に密着した管理運営を行っている。実施事業については、会館の主要なコミュニティ事業である会館まつりを文化会の文化祭と合同で2日間にわたり盛大に実施する等、地域内の各種団体との共催というかたちで事業を行うことが多く、より多くの地域住民に会館を知っている、また参加してもらえるよう取り組んでいる。さらに会館管理運営委員会としても、地域内の各種団体が主催する様々な行事に積極的に協力、参加しており、多方面にわたって地域に密着した活動を行っている。</p> <p>また、フルカラーの会館広報を発行し、会館の情報のみならず、地域で開催される様々な事業について案内を掲載しており、地域の情報発信源として、会館が各種団体を繋ぐ役割を果たしている。</p> <p>一方、施設管理の面についても、利用者懇談会で寄せられる様々な要望に対し、設備機器の買い換えや軽微な修繕、市への対応依頼を迅速に行っている、このように、地域のあらゆる活動の拠点である会館を少しでも快適に利用してもらえるよう、常に利用者の声に耳を傾けながらの管理運営を心がけている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市天王橋会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市天王橋会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:326日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):51,432円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:20,033名(98.7%) 利用件数:1,258件(106.2%) 平均施設使用率:42.4%(101.4%)	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
運営企画	利用者懇談会、広報発行、会館まつり、16ミリ映画会、防災訓練講習会、カラオケ団体交流会、みんなのコンサート、わいわい教室	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。
事業収支	収入:3,283,267円、支出:3,283,267円 * 指定管理料3,194,921円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、27年度から「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	立川市ひと涼み声かけプロジェクト	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	机・書棚修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A		
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。 条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>天王橋会館は、一番町地域のコミュニティ拠点として、多くの地域住民に親しまれている。管理運営委員会の活動にも地域の住民が自主的に参加・協力し、特に施設管理の面においては、個人の特技を活かして軽微な修繕や植木の世話などをボランティアで行っており、会館はこうした善意により支えられている。</p> <p>また、コミュニティ事業についても、地元の小中学校から多くの児童・生徒やPTAが組織的に参加しており、こうした地域のボランティアの協力を受けて運営されている。毎年6月に行われる会館まつりでは、表の駐車場など広い敷地を活かして、地域の諸団体による多数の模擬店が並び、また館内では利用者による作品展示や芸能発表が行われ、世代を超えて多くの来館者で賑わっている。また立川市文化振興財団との共催で11月に行われている「一番町みんなのコンサート」では、地元小・中学校吹奏楽部や和太鼓クラブによる演奏や、プロの奏者による演奏も行われ、子どもから大人まで地域の誰もが楽しめるイベントとなっている。会館が所有する映写機を使った「16ミリフィルム上映会」や合唱・体操・餅つき等を実施する「わいわい教室」、カラオケ団体合同による自主交流会(発表会)等、特色ある自主事業は数多く、会館が様々な場面で地域の住民が集う場として定着しており、ここ数年は利用者数も2万人台を維持している。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市柴崎会館管理運営委員会		平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:333日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):69,722円	A	
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:30,672名(149.6%) 利用件数:2,312件(152.0%) 平均施設使用率:56.2%(100.0%) 26年度は設備工事に伴う休館期間あり	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
運営企画	広報発行、会館まつり、利用者懇談会、消防訓練、合同賀詞交換会、健康講座、柴崎ふれあいまつり	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。
事業収支	収入:4,082,353円、支出:4,082,353円 * 指定管理料4,073,211円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われており、27年度から「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	立川市ひと涼み声かけプロジェクト	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	障子貼り替え	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A		
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。 条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>柴崎会館の管理運営委員会には柴崎町内すべての自治会の代表が参加しており、地域住民の活動の場として、会館は地域の施設として認知されている。したがって、地域内の様々な情報は会館に集約され、言わば会館が地域諸団体の事務局として、情報発信・伝達の機能を兼ね備えている。</p> <p>このように地域団体の結束に支えられた柴崎会館は、コミュニティ事業の実施においても、会館まつりなど、管理運営委員会を中心に各団体の協力のもと行っている。逆に自治連柴崎町支部が主催する柴崎ふれあいまつりにも管理運営委員会として全面的に協力するなど、他団体の事業に対しても積極的に支援するようにしている。</p> <p>柴崎会館は26年度、10～12月にかけて大規模な空調機改修工事を行い、これに合わせて各種施設修繕も行った。また、これまで柴崎学童保育所であった1階フロアについて会館の多目的室としての利用が始まった。会館を挙げて地域コミュニティの拠点としての施設使用率の向上に取り組んでおり、その成果もあって、近隣に柴崎学習館があるという立地状況の中、会館の使用率は他の学習等供用施設と比較しても高水準を維持している。</p> <p>このように地域の全面的な協力のもと、地域に密着した管理運営を行っている柴崎会館は、名実ともに地域にとって不可欠な施設となっている。</p>		A	<p>地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。</p>	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市さかえ会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市さかえ会館管理運営委員会	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:247日(7~9月は空調機改修工事のため全館休館) 営業時間:9:00~22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00~17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):58,403円	A	
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:22,482名(75.3%) 利用件数:1,542件(73.0%) 平均施設使用率:60.3%(100.5%) 27年度は改修工事に伴う休館期間あり	A	本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
運営企画	利用者懇談会、会館まつり、広報発行、委員研修、AED講習・避難訓練、「志民講座」	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。
事業収支	収入:3,907,955円、支出:3,907,955円 * 指定管理料3,564,011円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	多くの企画を行い参加が多く、地域に開かれた取り組みが行われている。
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	特に無し		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	特になし	—		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A		
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。 条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>さかえ会館は、栄町のほぼ中心に位置し、また近隣に学習館等のサークル活動ができる施設がないこともあり、栄町における各種活動の拠点として、多くの地域住民に利用されている。定例的に会館を利用している団体も多く、会館の利用率、利用者数、利用件数のいずれも、学供施設全11館の中で上位に位置している。会館としても更なる利用率、利用者数の向上に努めている。</p> <p>また、実施事業が多いこともさかえ会館の特徴であり、毎年6月の会館まつりを皮切りに、料理教室、講演会(志民講座)等、多種多様な事業を企画し、いずれも好評を博している。とりわけ会館まつりでは、地元の小学校金管バンドの演奏やフリーマーケットなどが開催され、地域の誰もが楽しめるお祭りとしてにぎわいを見せている。</p> <p>なお、さかえ会館は今年度、7~9月にかけて大規模な空調機改修工事を行い、これに合わせて各種施設修繕も行っており、会館の快適な利用の促進につながっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市西砂会館管理運営委員会		平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:335日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):44,837円	A	
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:13,723名(117.8%) 利用件数:787件(115.7%) 平均施設使用率:36.7%(118.4%)	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
運営企画	お茶作り教室、管外研修、広報発行、そうめん流し、利用者懇談会、まゆだま飾り、手打ちうどん作り大会、会館まつり	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。
事業収支	収入:3,236,647円、支出:3,236,647円 * 指定管理料3,138,681円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれたり組みが行われており、27年度から「立川市ひと涼み声かけプロジェクト」にも取り組んでいる。
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	立川市ひと涼み声かけプロジェクト	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	特になし	—		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A		
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。 条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>西砂会館は、その立地条件から他地域の利用者は少ない反面、地元利用団体の作品等が常設的に展示されているなど、西砂地域に密着した会館として親しまれている。管理運営委員会も西砂の地域色を活かし、広報誌への歴史コラムの掲載や会館事業としての伝統食文化教室の開催などを通じて、地域の各種団体とも協力しながら西砂地域の文化の継承に重視的に取り組んでいる。</p> <p>とりわけ伝統食文化についての取り組みは、他館には見られない西砂の特色と言え、そうめん流し、まゆだま飾り、手打ちうどん作り等をそれぞれ開催している。手打ちうどんについては、地元の小学校とも連携して、子どもたちにうどん作りを体験してもらう機会を提供している。こうした西砂ならではのコミュニティ事業を積極的に展開することが、地域の子どもやファミリー層の利用者を取り込むことにつながっている。</p> <p>また、会館を「地域の安全の拠点」とするため、利用者懇談会と防災訓練を同時に開催し、利用者団体と一緒に訓練に取り組んだり、館内に避難路の掲示を自主的に行うなど、事故や災害への備えについても重点的に取り組んでいる。</p> <p>このように、地域住民及び諸団体と一体となった自主事業を数多く展開するとともに、近年は各地域団体に対し管理運営委員長自らが会館のPR活動を行う等、稼働率を上げるための取り組みを続けており、西砂会館は地域コミュニティの拠点としての機能を果たしている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂会館	非公募・特命	生涯学習推進センター
指定管理者名		指定管理期間
立川市上砂会館管理運営委員会		平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み			
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。
利用者の公平・公正利用の確保	条例等の遵守に加え、公平・公正な利用の更なる促進のため、「受付の手引」(業務マニュアル)の改定に、市及び他会館と取り組んでいる。	A	
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A	
(2)業務の履行状況			
基本的事項	開館日数:336日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日及び夜間については利用者がある場合のみ勤務。 管理人配置:臨時4名 月給(平均):70,351円	A	
利用実績	()内は対前年度比 利用者数:38,683名(92.5%) 利用件数2,699件(100.1%) 平均施設使用率:48.5%(97.4%)	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。
運営企画	広報発行、会館まつり、クリスマスリースづくり、管外研修、新年会、利用者懇談会、講演会	A	賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。
事業収支	収入:4,107,433円、支出:4,107,433円 * 指定管理料4,107,341円 【うち、500,000円はコミュニティ事業委託料】	A	27年度から指定管理者に特化した新たな施設賠償責任保険に加入した。
損害保険等加入状況	第三者賠償費用、施設賠償責任 1名1億円、1事故1請求または1補償最大10億円	A	多くの企画を行い参加が多く、地域に開かれた取り組みが行われている。
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A	
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A	
新たな取り組みの状況	特になし		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識し、利用者目線に立った対応を心掛けている。	A		
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、適切に対応されている。	
研修・教育の実施状況	管理運営委員会や実務を通じて、研修・教育を実施している。	A	「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。	
所管部署との連携・連絡	年3回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A	利用者懇談会を年1回開催し、定期総会で利用状況等を報告している。	A
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、定期総会において利用状況等の報告を行った。	A	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。	
広報・PR等の利用情報の提供	会館広報等を通して、施設利用案内を行っている。市のHPで施設概要を公開している。	A	定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A		
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	蛍光灯定期交換修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A		
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし		管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営にくみいれている。 条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、生涯学習及び地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価			2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>上砂会館は、平成12年に開館した、学習等供用施設11館の中で最も新しい施設である。当館の特徴として、学習等供用施設で唯一の音楽室(防音設備完備)や広いホール(集会室)を備えていることもあるてか、地域外からの利用や有料団体による利用も比較的多く、利用料収入につながっている。さらに、図書館(2階)・児童館(1階)・学童保育所(1階)・福祉事業所(1階)・一般住居(3階以上)との複合施設であり、また会館の出入口を図書館と共有していることから、会館利用者以外の来館者が会館窓口を訪れることが多い。こうした事情もあり、毎日多くの会館利用者・来館者を迎える上砂会館では、日頃から窓口での接客対応については意識的に取り組んでおり、窓口では会館利用者・来館者と丁寧にコミュニケーションをとるよう心がけている。</p> <p>また、地域にある団地住民を中心に地域活動への関心が強く、会館実施事業もこうした地域の各種団体から協力を受けながら、地域住民の誰もが参加しやすいよう企画している。とりわけ、毎年9月末に2日間にわたって開催される会館まつりでは、前夜祭として今年度は地元音大のジャズオーケストラによる演奏が行われたほか、翌日の利用者団体による芸能発表では、他館と比較しても出演者数が非常に多く、限られた時間で一人でも多くの方が発表の場を持てるよう工夫されている。さらに館内には所狭しと利用者による作品が展示され、また児童館では子ども向けに無料の模擬店も催されるなど、子どもから大人まで、地域の誰もが集い楽しめる場となっている。</p> <p>このように上砂会館は年間4万人近くが利用する生涯学習活動の場として、また同時に上砂地域のコミュニティセンターとして、多くの利用者、また地域住民に親しまれる施設となっている。</p>				

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
幸図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年6月1日～平成30年3月31日(4年10か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 7人(1月8人) うち司書有資格者5人(71%) 臨時職員賃金: 4～9月 司書資格無890円以上、有900円以上 10～3月 一般職930円以上、総合職950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 37,512人(100.3%) 【貸出冊数】 115,124冊(97.5%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A	事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となってい	A
事業収支 経営状況分析指標	収入:26,767,894円、支出:26,645,271円 (うち指定管理料26,761,044円) 事業収支:122,623円 人件費比率 77.3%	A	る。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	規模から考えても、利用・貸出については一定の水準に達しており、その水準を維持できている。	
第三者への委託状況	なし			
新たな取り組みの状況	貸出促進の取組	A	提案事項は着実に実施されている。	
提案の実施状況	栄町地域公共施設を利用した行事の開催による図書館利用促進、調べ学習支援行事の開催、特色ある蔵書構成の構築、パスファインダー作成、高齢者への接遇向上と認知症サポーター活動の普及啓発、地域のガイドマップ作成と関連展示、市民参加型展示、近隣自治会との連携	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A		
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した。	A	利用者からも、職員の接客応対等についての評価は高い。	
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行なった上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A	マニュアルに沿って業務を実施している。	A
利用者アンケート等の実施	平成28年1月～2月に実施、報告済み。 独自ホームページで結果概要を公表している。	A	市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—		
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。	
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行なっている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—	その他は適切に実施されている。	
備品管理	適切に管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	警察からの要請により中学生を保護。	A		
事故の予兆に対する対応	特になし。		特に大きな事故や苦情はなかった。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	こぶし会館の行事参加、利用者懇談会等の機会での情報交換、こぶし会館との連絡調整を密に行い、連携に努めている。	A	こぶし会館や自治会を中心に、業務上必要な連携体制を十分に構築している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>幸図書館の利用者数は前年度からほぼ横ばいの値となった。ただし利用者数については導入前比較33%増と、これまで着実に増加しており、指定管理者の努力不足やサービス低下というよりは、既に利用者開拓を十分に進めてきたことが要因として大きく、指定管理者となって6年目という状況からも、直営時から一定の利用を伸ばした後、ある程度の水準を維持しながら、質や満足度での評価を高めていく段階に入っているものと考えている。</p> <p>その意味では、限られた書架・新刊を効果的に紹介するための案内表示の刷新を行ったほか、昨年度から開始した子育て広場への出前おはなし会や近隣中学校と共に催の展示・講座など、地域連携を重視した試みを通常業務とバランスをとりながらも継続しており、利用者アンケートの接遇項目の高い数値からも、地域に密着した図書館として適切な運営が行われているといえる。</p> <p>スタッフの教育・研修についても充実した研修体制を構築しており、27年度も多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。</p>		A	利用者数は前年度に着実に増加している。 提案事項は着実に実施しており、成果を得ている。 接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価につながった。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
西砂図書館	公募	図書館
指定管理者名		指定管理期間
株式会社 図書館流通センター		平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 9人 (10月は10人、2～3月は8人) うち司書有資格者7人(78%) 臨時職員賃金: 4～9月 司書資格無890円以上、有900円以上 10～3月 一般職930円以上、総合職950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 50,940人(107.4%) 【貸出冊数】 176,864冊(106.0%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A	事業収支は、指定管理5館のそれぞれプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入:31,545,145円、支出:29,876,492円 (うち指定管理料31,519,045円) 事業収支:1,668,653円 人件費比率75.3%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	周辺地域のガイドマップを作成するなど、地域に根付いた図書館を目指して取り組んでいる。	
第三者への委託状況	なし	A		
新たな取り組みの状況	国立国語研究所、「立川民俗の会」・地域住民と連携した行事の開催	S	提案事項は着実に実施されている。	
提案の実施状況	調べ学習支援行事の開催、各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダー作成、高齢者への接遇向上と認知症サポーター活動の普及啓発、周辺地域のガイドマップ作成と関連展示、市民参加型展示、近隣自治会への図書館だより配布、危機管理マニュアルの作成	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価			2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A		
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A	利用者からも職員の接客対応等についての評価は高い。	
所管部署との連携・連絡	毎月定例会議を開催。連絡・調整は十分に行つた上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A	マニュアルに沿って業務を実施している。	A
利用者アンケート等の実施	平成28年1月～2月に実施、報告済み。 独自ホームページで結果概要を公表している。	A	市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—		
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。	
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		A
小規模修繕	評価対象外	—	その他は適切に実施されている。	
備品管理	適切に管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		A
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に大きな事故や苦情はなかった。	
事故の予兆に対する対応	特になし。		「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会へのチラシ配布による情報提供、意見箱設置による意見・要望の把握を行うとともに、併設の西砂学習館との連携に努めている。	A	近隣施設や自治会を中心に、業務上必要な連携体制を十分に構築している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>西砂図書館の利用者数は、大きく利用を伸ばして前年度からさらに7.4%増となり、導入前との比較でも既に33%増と非常に大きな伸びを見せていく。利用増の背景には近隣市との相互利用開始や西砂町の住民増加もあるが、そうした背景を的確に捉え、案内周知や地域連携に意識的に取り組んだからこそその結果といって間違いない、高く評価できるものと考えている。</p> <p>地域連携講座では「立川の方言」をテーマに取り入れたことで、参加者同士・参加者から講師へのやりとりも見られ、生涯学習の観点からも非常に充実した企画となった。また他館に先駆けて作成している「地域案内マップ」も毎年情報を更新し、常に新鮮な情報を利用者に提供するよう心掛けている。アンケートの接遇項目は他館に比べると若干低いながらも高い水準は維持しており、地域に密着した図書館として着実に評価されてきている様子がうかがえる。</p> <p>スタッフの教育・研修についても充実した研修体制を構築しており、27年度も多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。</p>		A	近隣市との相互利用、地域の人口増をうまく捉えたことから、利用者数は前年度より大きく増加した。	
			提案事項は着実に実施し、成果を上げている。	A
		A	接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートの評価を向上させた。	
			特に地域との連携・交流に力を入れ、地域に親しまれる図書館として認知されており、良好に運営されていると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
高松図書館	公募	図書館
指定管理者名		指定管理期間
株式会社 図書館流通センター		平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 7人 うち、司書有資格者5人(71%) 臨時職員賃金: 4～9月 司書資格無890円以上 有900円以上 10～3月 一般職930円以上、総合職950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 29,350人(105.7%) 【貸出冊数】 96,832冊(106.6%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A	事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入:27,781,659円、支出:27,346,217円 (うち指定管理料27,757,359円) 事業収支:435,442円 人件費比率76.2%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	新たな取り組みに努め、利用者増につながっている。	
第三者への委託状況	なし	A	健康会館と連携し、子育て支援事業の支援に取り組んでいる。	
新たな取り組みの状況	高松学習館との連携によるブックリスト作成及び配布、開館35周年記念講演会	A	提案事項についても着実に実施されている。	
提案の実施状況	栄町での行事開催による図書館利用促進、調べ学習支援行事の開催、健康会館と連携した子育て支援事業、パスファインダーの作成、高齢者への接遇向上と認知症サポーター活動の普及啓発、周辺地域のガイドマップ作成と関連展示・市民参加型展示、ボランティア、スキルアップ講座の開催、危機管理マニュアルの作成	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(3) サービスの質に関する事項			
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A	
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A	利用者からも、職員の接客応対等についての評価は高い。
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行なった上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A	マニュアルに沿って業務を実施している。
利用者アンケート等の実施	平成28年1月～2月に実施、報告済み。 独自ホームページで結果概要を公表している。	A	市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A	
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A	
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A	
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A	
(4) 施設・設備の維持管理状況			
清掃業務	評価対象外	—	
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行なっている。	A	
小規模修繕	評価対象外	—	その他は適切に実施されている。
備品管理	適切に管理している。	A	
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項			
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A	
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A	
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A	
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A		
事故の予兆に対する対応	特になし。		特に大きな事故や苦情はなかった。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			A
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A	「TRC危機管理マニュアル」等に基づき、事故防止対策に取り組んでいる。	
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	図書館だより、行事のチラシ等の配布などを通し、自治会等との情報交換を行っている。高松学習館や高松児童館、健康会館と、合同行事などにより密接な連携を図っている。	A	近隣施設と連携し、事業を実施している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価			2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>高松図書館の利用者数は前年度から5.7%の増加となった。導入前との比較では18.1%増で西砂・若葉に比べると若干伸び率は少なくなるのだが、中央図書館に近い環境でありながら、導入後3年間、着実に利用者数を増やし続けていることを考えると、指定管理者として地域住民に密着したサービス・企画を心掛け、工夫してきたことが少しずつ伝わり、継続的な利用につながってきているのではないかと考えられる。</p> <p>既に配布している高松図書館・読書手帳や健康会館ブックスタート事業に合わせた利用案内を継続するほか、学習館イベントと連携したブックリストの作成・配布や、利用者ニーズに合わせた文学講座の実施からも、そうした地域密着型図書館としての取り組みの様子が伝わり、アンケートの接遇項目でもわざわざながら昨年度より評価を上げていることも、それらの結果が数字に出てきたのではないかと思われる。</p> <p>スタッフの教育・研修についても充実した研修体制を構築しており、27年度も多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。</p>		A	<p>地域の特色を生かした展示などにより、地域に根差した図書館づくりに取り組み、利用者増につながった。</p> <p>学習館の企画と連携した取り組みなど、併設施設、近隣施設との連携が進んでいる。</p> <p>提案事項は着実に実施しており、新たな取り組みも行っている。</p> <p>接遇には特に力を入れており、アンケートでは引き続き高評価を得ている。</p> <p>以上から、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
錦図書館	公募	図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年6月1日～平成30年3月31日(4年10か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 11人(4～5月は9人、6月は10人、7～8月は12人) うち、司書有資格者7人(78%) 臨時職員賃金: 4～9月 司書資格無890円以上 有900円以上 10～3月 一般職930円以上、総合職950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 56,392人(97.1%) 【貸出冊数】 185,774冊(98.4%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A	事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。	A
事業収支 経営状況分析指標	収入:30,856,098円、支出:32,669,650円 (うち指定管理料30,822,708円) 事業収支:▲1,813,462円 人件費比率77.5%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	規模から考えても、利用・貸出については一定の水準に達しており、その水準を維持できている。	
第三者への委託状況	図書運搬リフト点検	A		
新たな取り組みの状況	展示コーナー新設、開館30周年記念行事、小学校立川市民科授業への協力	A	提案事項は着実に実施されている。	
提案の実施状況	調べ学習支援行事の開催、各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダーの作成、高齢者への接遇向上と認知症サポート活動の普及啓発、周辺地域のガイドマップ作成と関連展示、市民参加型展示、近隣自治会との連携、関連機関との連携	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A		
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した。	A	利用者からの、職員の接客対応等についての評価は高い。	
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行なった上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A	マニュアルに沿って業務を実施している。	A
利用者アンケート等の実施	平成28年1月～2月に実施、報告済み。 独自ホームページで結果概要を公表している。	A	市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—		
施設及び設備の保守・点検	図書運搬リフト保守点検。適正に実施された。	A	清掃業務、施設設備保守(一部を除く)、修繕は対象外である。	
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行なっている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—	その他は適切に実施されている。	
備品管理	適切に管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A		
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	—		
事故の予兆に対する対応	特になし。		特に大きな事故や苦情はなかった。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		「TRC危機管理マニュアル」に基づき、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、館独自の危機管理マニュアルを策定している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	図書館だより、行事のチラシ等の配布などを通し、自治会等との情報交換を行っている。 錦学習館や子ども未来センター、都立多摩図書館との連携を務めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価			2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>錦図書館の利用者数は前年度から2.9%の微減となった。ただし利用者数については導入前比較20%増と、これまで着実に増加しており、指定管理者の努力不足やサービス低下というよりは、既に利用者開拓を十分に進めてきたことが要因として大きく、指定管理者となって6年目という状況からも、直営時から一定の利用を伸ばした後、ある程度の水準を維持しながら、質や満足度での評価を高めていく段階に入っているものと考えている。</p> <p>その意味では、周年行事による地域団体の伝統芸能公演や学校からの依頼に基づいた授業支援の取り組みなど、地域連携を重視した試みを通常業務とバランスをとりながらも継続しており、利用者アンケートの接遇項目の高い数値からも、地域に密着した図書館として適切な運営が行われているといえる。</p> <p>スタッフの教育・研修についても充実した研修体制を構築しており、27年度も多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。</p>		A	<p>利用者数は、規模から考えても一定の水準に達しており、その水準を維持できている。</p> <p>提案事項は着実に実施しており、成果を得ている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価につながった。</p> <p>以上から、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
若葉図書館	公募	図書館
指定管理者名		指定管理期間
株式会社 図書館流通センター		平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を遵守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 13人～17人 うち、司書有資格者11人(73%) ゼネラルマネージャー 1人 臨時職員賃金: 4～9月 司書資格無890円以上、有900円以上 10～3月 一般職930円以上、総合職950円以上	A		
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 69,179人(101.1%) 【貸出冊数】 218,137冊(97.8%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:55,043,848円、支出:55,457,104円 (うち指定管理料54,985,328円) 事業収支:▲413,256円 人件費比率67.2%	A	事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計では適正な収支となっている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保守点検、消防設備保守点検、機械警備、清掃、空調設備点検、樹木剪定、エレベーター保守点検、建築設備定期検査、学校への図書配達	A	5館の統括館として、様々な取り組みを推進している。	
新たな取り組みの状況	展示コーナー新設、独自ホームページでのおすすめ本紹介、多目的トイレ内の荷物台新設	A	提案事項は着実に実施されている。	
提案の実施状況	栄町での行事開催による図書館利用促進、教員・一般・児童向けにそれぞれ調べ学習講座を実施、学校図書館サポート事務局の設置、各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダーの作成、高齢者への接遇向上と認知症サポート活動の普及啓発、市民参加型展示の実施、避難訓練の実施、図書館だよりの発行	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(3) サービスの質に関する事項			
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A	
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A	利用者からも職員の接客応対等についての評価は高い。
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行なった上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A	マニュアルに沿って業務を実施している。
利用者アンケート等の実施	平成28年1月～2月に実施、報告済み。 独自ホームページで結果概要を公表している。	A	市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A	
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A	
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A	
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A	
(4) 施設・設備の維持管理状況			
清掃業務	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	
施設及び設備の保守・点検	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	業務仕様書に従い、適切に実施された。
保安・警備	業務仕様書に従い、適正に実施された。 館内および周辺の見回りも適切に行なった。	A	
小規模修繕	支障木強剪定、消防設備修繕、ブックポスト鍵穴修繕、電話配線修繕、空調設備修繕	A	小規模修繕についても適切に実施された。
備品管理	適切に管理している。	A	
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項			
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A	
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。
再委託の禁止	第三者への再委託は行っていない。	A	
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A	
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者の自動車のフェンス衝突、予約確保連絡票(個人情報帳票)の処理誤り	A		
事故の予兆に対する対応	特になし。		事故への対応や事故防止への取り組みは良好に行われた。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。若葉会館、東部連絡所と連携して自衛消防訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域の行事に積極的に参加し、住民との交流を深めているほか、新規に北東部わかば地域包括支援センターと連携を始めた。近隣公共施設との連携に努めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民や近隣施設との連携は進んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	幸・西砂・高松・錦・若葉の5館合計で、11,234,557円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価			2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>若葉図書館の利用者数は前年度から1.1%の微増であった。ただし利用者数については導入前との比較で23%増と大きな伸びを見せており、もともと立地・規模に恵まれ、直営時から地区館内で最も利用が多かったことも踏まえれば、十分に評価できるのではないかと考えている。若葉図書館については、従来から他館に比べ利用者の読書意欲・学習意欲が高い様子が見られており、この水準を維持できるかどうかという点での評価を行いつつ、さらにサービスの質や利用者満足度を高めていくよう期待している。</p> <p>5館の統括業務・大家としての施設維持管理業務を行いつつも、利用者ニーズにこたえた新コーナーの設置や「本屋大賞」と連動した参加型展示の開催などにも積極的に取り組む様子が見られた。アンケートの接遇項目は前年度に比べるとやや数値に減少が見られたが、相互利用開始に伴う市外利用者の評価が中間よりになったことが原因とみられており、他館と比べても特段悪い値ではないことから、むしろ今後の利用増加につながる可能性もあると考えている。</p> <p>スタッフの教育・研修についても充実した研修体制を構築しており、27年度も多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。</p>		<p>サービス向上に取り組み、前年度に引き続き利用者数が増加した。</p> <p>提案事項は着実に実施し、成果を得ている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上委取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価に繋がった。</p> <p>地域包括支援センターと相互の企画で連携するなど地域住民との交流を図っている。</p> <p>地域のニーズに応えながら、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>		

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
柴崎図書館	公募	図書館
指定管理者名		指定管理期間
株式会社 ヴィアックス		平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	事業計画、基本協定書、業務仕様書に従い、適正に管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務について、日々の朝終礼、連絡ノートにおいて共有し、館内整理日等に研修や再確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	協定書・業務基準書を遵守し、業務の継続性を維持している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 6人～8人 うち、司書有資格者5人(71%) 臨時職員賃金:910円以上	A		
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 31,258人(154.7%) 【貸出冊数】 94,497冊(148.1%) 26年8月に改裝移転	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:25,256,890円、支出:23,656,288円 (うち指定管理料25,245,000円) 事業収支:1,600,602円 人件費比率69.5%	A	事業収支は、指定管 理3館すべてでプラス が出ている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償保険、受託者賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	併設の第一小学校とは、意見交換により、 綿密な連携がとれている。	
第三者への委託状況	図書配達業務	A		
新たな取り組みの状況	各種講座の実施、温湿度計の設置、柴崎学習館 事業関連展示、複合施設運営協議会への参加、 書架・表示の工夫、1小との意見交換会	A	提案事項は着実に実施されている。	
提案の実施状況	各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パス ファインダーの作成、ミニ展示と文献リストの作 成、手話研修の実施、大活字本等のコーナー設 置、WEB図書館の提供、図書館だよりの発行、職 場体験等の学校との連携、ボランティア連絡会の 開催、地域団体等の連携、クリーンキャンペーン 参加、ペットボトル回収、防火・防災マニュアル作 成、普通救命講習の実施、個人情報の保護、自 主事業等ポスター制作、黒板を活用した情報提 供、資料持ち運び用力ゴ袋設置	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価			2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3) サービスの質に関する事項				
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A		
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社・館内での専門研修のほか、市図書館・外部研修にも参加した。	A	利用者からも職員の接客応対等についての評価は高い。	
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行なった上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A	マニュアルに沿って業務を実施している。	A
利用者アンケート等の実施	平成28年2月に実施、報告済み。 独自ホームページで結果概要を公表している。	A	市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケートや懇談会など様々な手法で自己点検を行い、業務改善を実施。	A		
(4) 施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—		
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。	
保安・警備	鍵は管理キャビネット等で保管されている。館内および周辺の見回りも適切に行なった。	A		A
小規模修繕	評価対象外	—	その他は適切に実施されている。	
備品管理	適切に管理している。	A		
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内のチェックリスト等を基に、本社が適正に指揮監督を行なっている。	A		
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。	
再委託の禁止	市の承諾なしでの第三者委託は無い。	A		A
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規定に加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	利用者に入口自動扉が反応せず、扉に衝突したが、適切に対応した。	A		
事故の予兆に対する対応	来館者や併設小学校児童の下校時の安全確保のため、夕暮れ時に入口エントランス及び外灯を早期に点火		事故への対応や事故防止への取り組みは良好に行われた。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		「危機管理対策マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故防止対策の取り組み状況	危機管理対策マニュアルを通じて、事故防止対策に取り組むとともに、消防訓練、避難・誘導場所の確認を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	柴崎学習館、自治会支部との情報交換を行っている。 併設施設との打合せなど連携に努めている。 館周辺の清掃を実施。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制を十分に構築している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	柴崎・上砂・多摩川の3館合計で、15,998,956円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価		2次評価	2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>柴崎図書館の利用者数は前年度(直営時)から54.7%増となった。実際は直営時4~8月の間は移転前の旧柴崎図書館の数字であり、移転後のみの比較では利用者18.4%増程となるが、その値で見ても導入初年度として十分な数字だと考えており、設置場所・サービス内容・スタッフと大きく環境が変わりながらも既存・新規どちらの利用者に対しても丁寧に案内・応対を行い、様々な事業をおこなった結果が数値にあらわれたものと思われる。</p> <p>併設の第一小学校との関わりにおいては、特に年度後半において密に情報交換を行い、移転当初に取り決めた利用ルールから運用の中での細かな作業手順まで、学校側の要望も踏まえつつ、市と相談しながら調整し、複合化のメリットが活かされるよう対応している。接遇の面でもアンケートでは高い評価を得ており、指定管理者として利用者に受け入れられている様子が伺える。</p> <p>スタッフの教育・研修についても充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。</p>		<p>指定管理導入に伴いサービス向上に取り組み、大きく利用者数が増加した。</p> <p>第一小学校等、併設施設との連携が進んでいる。</p> <p>以上から、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A	

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
上砂図書館	公募	図書館
指定管理者名		指定管理期間
株式会社 ヴィアックス		平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	事業計画、基本協定書、業務仕様書に従い、適正に管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務について、日々の朝終礼、連絡ノートにおいて共有し、館内整理日等に研修や再確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	協定書・業務基準書を遵守し、業務の継続性を維持している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 9人～12人 うち、司書有資格者7人(58%) 臨時職員賃金:910円以上	A		
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 54,197人(110.3%) 【貸出冊数】 194,285冊(105.5%)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:43,077,570円、支出:40,965,295円 (うち指定管理料43,050,000円) 事業収支:2,112,272円 人件費比率55.2%	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償保険、受託者賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	事業収支は、指定管理3館すべてでプラスが出ている。	A
第三者への委託状況	自家用電気工作物保守点検、消防設備保守点検、機械警備、清掃・受水槽清掃、空調設備点検、樹木剪定、エレベーター保守点検、簡易専用水道検査	A	児童館やみのーれ立川など近隣施設と連携がとれている。	
新たな取り組みの状況	各種講座の実施、上砂児童館、上砂第三学童保育所への出張おはなし会、上砂会館まつりへの参加、みのーれ立川との連携	A	提案事項は着実に実施されている。	
提案の実施状況	各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダーの作成、ミニ展示と文献リストの作成、手話研修の実施、大活字本等のコーナー設置、WEB図書館の提供、図書館だよりの発行、職場体験等の学校との連携、ボランティア連絡会の開催、地域団体等の連携、クリーンキャンペーン参加、ペットボトル回収、防火・防災マニュアル作成、普通救命講習の実施、個人情報の保護、自主事業等ポスター制作、黒板を活用した情報提供、資料持ち運び用力ゴ袋設置	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(3) サービスの質に関する事項			
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A	
研修・教育の実施状況	本社・館内での専門研修のほか、市図書館・外部研修にも参加した。	A	利用者からも職員の接客応対等についての評価は高い。
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行なった上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A	マニュアルに沿って業務を実施している。
利用者アンケート等の実施	平成28年2月に実施、報告済み。 独自ホームページで結果概要を公表している。	A	市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A	
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A	
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A	
業務の点検	アンケートや懇談会など様々な手法で自己点検を行い、業務改善を実施。	A	
(4) 施設・設備の維持管理状況			
清掃業務	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	
施設及び設備の保守・点検	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	業務仕様書に従い、適切に実施された。
保安・警備	業務仕様書に従い、適正に実施された。 館内および周辺の見回りも適切に行なった。	A	
小規模修繕	排水不良修繕、蛍光灯安定器交換、空調修繕、電灯電源遮断工事、フラッシュバルブ修繕	A	小規模修繕についても適切に実施された。
備品管理	適切に管理している。	A	
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項			
受託者の義務	社内のチェックリスト等を基に、本社が適正に指揮監督を行っている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A	
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。
再委託の禁止	市の承諾なしでの第三者委託はなし	A	
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A	
個人情報に関する取り扱いについて	社内規定に加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	エレベーターが動かないとの通報、閉館時に利用者に気づかず施錠したことがあったが、対応は適切だった。	A		
事故の予兆に対する対応	特になし。		事故への対応や事故防止への取り組みは良好に行われた。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		「危機管理対策マニュアルを通じて、事故防止対策に取り組むとともに、消防訓練、避難・誘導場所の確認を行った。	A
事故防止対策の取り組み状況	危機管理対策マニュアルを通じて、事故防止対策に取り組むとともに、消防訓練、避難・誘導場所の確認を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会支部、会館管理人との情報交換を行っている。 近隣施設との打合せなど連携に努めている。 館周辺の清掃を実施。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制を十分に構築している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	柴崎・上砂・多摩川の3館合計で、15,998,956円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価			2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>上砂図書館の利用者数は前年度(直営時)から10.3%増の増加となつた。上砂図書館は直営時から利用が多かったが、移行当初から毎月利用増となっており、指定管理者となってからも高い利用者需要にうまく応えることができたものと考えている。</p> <p>直営時より一部実施していた児童館等への出張おはなし会についても、業務負担とならないようバランスを取りながら拡大し、多くの子どもの利用につなげたほか、市産業観光課の紹介で「みのーれ立川」とコントクトを取り、立川農業をテーマにした企画展示・情報発信を行い、今後も継続的に取り組めるような関係を作ることができた。接遇の面でもアンケートでは高い評価を得ており、指定管理者として利用者に受け入れられている様子が伺える。</p> <p>スタッフの教育・研修についても充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。</p>		A	<p>指定管理導入に伴いサービス向上に取り組み、大きく利用者数が増加した。</p> <p>接遇においてもアンケート結果では高い評価を得ている。</p> <p>児童館等への出張お話会による乳幼児の利用促進、みのーれ立川との連携による企画展示等、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成27年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
多摩川図書館	公募	図書館
指定管理者名		指定管理期間
株式会社 ヴィアックス		平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年)

評価の視点及び項目	施設担当課評価	2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等

(1)施設の設置目的達成に関する取り組み

施設の設置目的の達成状況	事業計画、基本協定書、業務仕様書に従い、適正に管理を行った。	A		
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務について、日々の朝終礼、連絡ノートにおいて共有し、館内整理日等に研修や再確認を行っている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	協定書・業務基準書を遵守し、業務の継続性を維持している。	A		

(2)業務の履行状況

基本的事項	開館日数:331日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員 8人～9人 うち、司書有資格者6人(67%) 臨時職員賃金:910円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。	
利用状況	()内は対前年度比 【利用者数】 28,390人(102.2%) 【貸出冊数】 91,515冊(99.3%)	A	賃金単価については、法令等遵守されている。	
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:30,231,120円、支出:27,964,459円 (うち指定管理料30,221,000円) 事業収支:2,266,661円 人件費比率63.1%	A	利用者数は微増、貸出冊数は微減だが、施設工事等の影響によるものと考えられる。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償保険、受託者賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A	事業収支は、指定管理3館すべてでプラスが出ている。	
第三者への委託状況	自家用電気工作物保守点検、消防設備保守点検、機械警備、清掃、空調設備点検、樹木剪定	A		
新たな取り組みの状況	各種講座の実施、利便性向上・特徴を出す書架位置のレイアウト変更、和室の有効活用、たちかわ創造舎との連携	A	学童と連携したおはなし会等により、児童書の貸出が増えるなど、取り組みが図書館の利用促進につながっている。	
提案の実施状況	各館の特徴を活かした蔵書構成の構築、パスファインダーの作成、ミニ展示と文献リストの作成、手話研修の実施、大活字本等のコーナー設置、WEB図書館の提供、図書館だよりの発行、職場体験等の学校との連携、ボランティア連絡会の開催、地域団体等の連携、クリーンキャンペーン参加、ペットボトル回収、緑のカーテン設置、防火・防災マニュアル作成、普通救命講習の実施、個人情報の保護、自主事業等ポスター制作、黒板を活用した情報提供、資料持ち運び用カゴ設置	A	提案事項は着実に実施されている。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	
(3) サービスの質に関する事項			
職員の対応	アンケートでの評価も高く、全般的に良好に対応されている。	A	
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A	
研修・教育の実施状況	本社・館内での専門研修のほか、市図書館・外部研修にも参加した。	A	利用者からも職員の接客応対等についての評価は高い。
所管部署との連携・連絡	毎月の調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行なった上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A	マニュアルに沿って業務を実施している。
利用者アンケート等の実施	平成28年2月に実施、報告済み。 独自ホームページで結果概要を公表している。	A	市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A	
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A	
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A	
業務の点検	アンケートや懇談会など様々な手法で自己点検を行い、業務改善を実施。	A	
(4) 施設・設備の維持管理状況			
清掃業務	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	
施設及び設備の保守・点検	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	業務仕様書に従い、適切に実施された。
保安・警備	業務仕様書に従い、適正に実施された。 館内および周辺の見回りも適切に行なった。	A	
小規模修繕	特になし	—	小規模修繕についても適切に実施された。
備品管理	適切に管理している。	A	
(5) 個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項			
受託者の義務	社内のチェックリスト等を基に、本社が適正に指揮監督を行なっている。	A	
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A	
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が保護されている。
再委託の禁止	市の承諾なしでの第三者委託はなし	A	
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A	
個人情報に関する取り扱いについて	社内規定に加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A		
事故の予兆に対する対応	特になし。		特に大きな事故や苦情はなかった。	
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。		「危機管理対策マニュアルを通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故防止対策の取り組み状況	危機管理対策マニュアルを通じて、事故防止対策に取り組むとともに、消防訓練、避難・誘導場所の確認を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会支部、みらいぱーくとの情報交換を行っている。 近隣施設との打合せなど連携に努めている。 館周辺の清掃を実施。	A	近隣施設や自治会を中心に業務上必要な連携体制を十分に構築している。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目なし。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
		—		—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	柴崎・上砂・多摩川の3館合計で、15,998,956円の削減。	A	導入前と比較し、経費削減されている。	A
施設担当課評価			2次評価	
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>多摩川図書館の利用者数は前年度(直営時)から2.2%増となり、指定管理者制度導入初年度としてはやや控えめな伸び率となった。ただし多摩川図書館は移行当初から併設の都営住宅耐震工事が行われていたほか、直営時からの課題となっていたテラスや電気設備の工事が行われた事情があり、休館こそせずにすんだものの、道路の通行止めや工事期間中の作業音の発生などが利用抑制の要因となっていたものと思われる。</p> <p>むしろそうしたやむを得ない状況の中、様々な取り組みを行い利用者数を伸ばしてきていることは十分に評価できる点であり、館運営にも慣れてきた年度後半、従来活用しきれていなかった和室の活用やたちかわ創造舎との協力関係の構築を行ったことは、次年度以降の更なる展開にも期待が持てる良い取組であったと考えている。接遇の面でもアンケートでは高い評価を得ており、指定管理者として利用者に受け入れられている様子が伺える。</p> <p>スタッフの教育・研修についても充実した研修体制を構築しており、多くのスタッフが市図書館・社内・外部問わず多様な研修に参加してスキルアップに努めている状況が見られた。また個人情報保護や危機管理についても、社内監査の実施やマニュアルの作成、体制の強化など様々な取り組みが行われており、高く評価できると考えている。</p>		A	<p>指定管理導入に伴いサービス向上に取り組んだが、施設工事の関係から利用者数は微増であった。</p> <p>接遇においてもアンケート結果では高い評価を得ている。</p> <p>たちかわ創造舎主催のイベントと連携するなど、良好に運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

平成28年度(平成27年度実施分)指定管理者管理運営状況評価表

平成28(2016)年9月発行

発行 立川市公の施設指定管理者評価委員会

編集 立川市総合政策部行政経営課

〒190-8666 立川市泉町1156-9

電話 042-523-2111(代表)